

臨時物資需給調整法案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案

臨時物資需給調整法案

昭和二十一年九月二十五日（水曜
日）午前十時九分開會

○委員長（男爵古市六三君） シレデハ
一昨日ニ引續キマシテ、臨時物資需給
調整法案ノ特別委員會ヲ開キマス、何
卒御質問ガオアリデシタラ

○子爵京極高親君 私ハ今直グデナク
テモ結構デスガ、御願ヒシテ置キタイ
紙、新聞用紙及ビ印刷用紙、ソレカラ
映書用「フィルム」、ソレカラ「ラ
デオ」ノ受信機、其ノ真空管資材ノ今
ノ生産狀態ト、ソレカラ現在ノ保有量
ソレカラ配給、所謂需給、配給ノ方法
ヲ一ツ、成ルベク詳細ニ、適當ノ機會
ニ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員（吉田樗二郎君） 「ラデオ」
受信機及ビ資材デスカ

○子爵京極高親君 資材部品、ソレノ
狀況

○政府委員（吉田樗二郎君） 午後ニ、
取調ベマシテ御答ヘ申シマス

○川上嘉市君 御尋ネシマスガ宜シウ
ゴザイマスカ

○委員長（男爵古市六三君） ドウゾ

○川上嘉市君 此ノ「臨時物資需給調
整法」によつて配給統制を實施せんとす
る物資（案）、「之ノ「甲現に法規統

制實施中のもの」ト云フ中デ、例ヘバ
終ヒノ二枚目ノ野獸原皮トカ、皮革
原料タル水産動物、ソレカラ蔬菜種苗
食糧品罐詰用空罐、斯ウ云フモノハ是
ハ元ノモノガ残ツテ居ルノデ、其ノ儘
掲ゲタノデハナイカト云フ感ジガスル
ノデスガ、コンナモノハ如何デセウカ
政府ノ方デハ、戰時中必要ダツタガ、
今必要デヤナイデヤナイカト云フヤウ
ナ氣ガスルノデスガ

○政府委員（吉田樗二郎君） 御話ノヤ
ウナ例ノモノモ矢張り現在非常ニ必要
デゴザイマシテ、矢張り或程度、ソレ
ゾレノ生産者ノ方ニ大體ノ能力ニ依リ
マシタ割當ヲ致シマセス爲ニ、自由ニ
任セマスルト、其處ニ非常ナ競争ガ起
ルト云フヤウナコトデ、モウ少シ是ハ
續ケテ行キタイ、斯ウ云フ意味デゴザ
イマス

○川上嘉市君 ソレカラ乙ノ方ニ「今
後新たに法規統制を實施せんとするも
の」ノ中ニ木材ト云フモノガアリマス
ガ、此ノ木材ト云フモノハ、日本社ヲ解
散シテ今後ドナ風ナ機構デオヤリニ
ナル積リデゴザイマセウカ

○政府委員（吉田樗二郎君） 木材ニ付
キマシテハ、農林省デゴザイマスカラ
農林省ノ政府委員カラ御答辯致スヤウ
ニ致シマス

○侯爵廣幡忠隆君 配給デゴザイマス

○政府委員（吉田樗二郎君） 今後ノ物
ネ、配給ハ輸送迄入リマスカ

○政府委員（吉田樗二郎君） 配給ハ現
實ニ輸送ノ面ハ此ノ法律ノ中ニ入ツテ
參リマセス、是ハ矢張り運輸省ノ方デ
方針ヲ致シマシテハ、配給ノ「ルート」
何處カラ何處ニ流スト云フ方向デ示
シテ、現實ノ輸送ハ之ニ入ツテ參リマ
セヌ

○侯爵廣幡忠隆君 輸送ヲ入レマセヌ
デ、配給迄ヤラナクテ、ウマク行キマ
スデスカ

○政府委員（吉田樗二郎君） 仰セノ通
リニ、現實ノ物ガ到着致シマセスト、物
ノ實際ノ配給ニナラヌノデアリマス、
其ノ點ハ、只今ノ御話ノ通りデゴザイ
マスケレドモ、此ノ法律ノ對象ト致シ
マシテハ、矢張り別ノ系統ニナリマス
モノデスカラ、此處ニ入ツテ居リマセ
ヌガ、勿論輸送ガ伴ヒマセスト、物資
ノ需給調整ト云フコトデ、是ハ重要物
資ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ運
輸省ニ中央輸送協議會ト云フモノガゴ
ザイマシテ、ソレノ「計畫ヲ立テマ
シテ、實行ニ當ツテ居ルノデゴザイマ
ス

○長岡半太郎君 是ハ此ノ期間ニ輸入
品ガナイモノトシテオヤリニナルノデ
スカ、輸入品ガ來タラ、又分配スルト
云フコトニナリマスカ

○政府委員（吉田樗二郎君） 今後ノ物
資ノ需給計畫ハ、勿論輸入品ガ或程度
入リマセヌト、用途ガ立タヌノデアリ
マス、本當ニ正直ニ申シマス、現在
ノ國內ノ資材ダケデハ、例ヘバ石炭ヲ
復興致シマスニ致シマシテモ、ナカ
ナカ急速ニ今ノ増産ガ出來ナイコトニ
ナツテ居リマス、從ヒマシテ、相當ノ
輸入ト云フモノハ私共ト致シマシテハ
今懇請中デゴザイマス、恐ラク或程度
聯合軍ノ方モ、其ノ事實ヲ認メテ置イ
テ戰ケマスノデ、實現スルコト思ヒ
マスガ、唯現實ニドレ位ノ數量ガ入ル
カト云フコトハ、是ハマダ確定致シテ
居リマセヌノデ、私共ノ計畫ノ中ニ今
日入ツテ居リマセヌ、併シナガラ成ル
ベク早く、殊ニ復興用ノ資材ノ輸入ヲ
圖リマシテ、此ノ計畫ヲ立テテ行キタ
イ、斯フ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○長岡半太郎君 チョット伺ヒマスガ
「ソーダ」工業藥品ト云フモノモ非常
ニ今缺乏シテ困ツテ居ルノデス、鹽酸
ナント云フモノモ、此ノ爲ニ出來ズ、
人絹ノ如キハ、「ソーダ」工業ニ俟ツ所
ガ大部分アリマスルノデ、是ガ迅速ニ
ドウカ配給ヲシテ戴カヌト、工業ガ止
ツテシマフ譯デアリマシテ、幾ラ石炭
ガ出來テモ、意味ヲ成サナイノデアリ
マスカラシテ、サウ云フ場合ニ於テ、
此ノ原料デアアル鹽ノ増産ト云フコトガ
眞先ニ必要デアルト思フ、其ノ方ハ

○政府委員（吉田樗二郎君） 「ソーダ」
工業ガ今後ノ日本ノ生キテ行キマスル
上ニ、非常ニ重要ナ産業デアアルコトハ
仰セノ通りデアリマス、其ノ原料デア
リマス鹽、是モ我が國ハ御承知ノ通り
非常ニ貧弱ナ生産シカナイ譯デアリマ
ス、今後色々開發ノコトヲ考ヘマシテ
モ、ドウモ工業鹽ト致シマシテ、大量
ニ造ルト云フコトハ困難ダラウト考ヘ
テ居リマス、從ヒマシテ、矢張り是ハ
輸入ニ仰ガナケレバナラヌト考ヘテ居
リマシテ、其ノ點モ色々輸入ヲ御願ヒ
致シテ居リマス、聯合軍ノ方モ、鹽ハ
矢張り入レテヤラウト云フコトヲ言ツ
テ下サイマシテ、現在モボツノ「臺灣
其ノ他ノ方面カラ入ツテ居リマス、勿
論今日ノ「ソーダ」工業ヲ十分ニ賄フ
ニ必要ナ程度ノ數量ハマダ入ツテ居リ
マセヌ、今後中國方面、或ハ臺灣方面
關東州等ニ於キマスル鹽ハ勿論、遠イ
方面ノ鹽モ必ズ是ハ矢張り戰前ノヤウ
ナ輸入ヲ圖リマシテ、此ノ「ソーダ」
工業ト云フモノヲ回復シテ行カケレ
バナラヌト考ヘテ居リマス、仰セノ通
リ、人絹等ノ輸出ノ問題ニモ終ミマス

ルシ、國民ノ生キテ行ク上ニ、一番必要ナモテダラウト思フノデアリマス、唯、鹽ハ御承知ノ通り、專賣制ヲ執ツテ居リマシテ、民間デ之ヲ扱ツテ居ラヌノデアリマス、總テ大藏省デ、輸入致シマシタモノモ、又國內デ出來マシタモノモ買上ゲマシテ、專賣ト云フ「ルート」デ配給ヲ致シテ居リマスノ

デ、直接此ノ法案デドウスルト云フコトニ相成ツテ居ラヌノデアリマス大藏省ニ其ノ實情ヲ商工省カラ、連絡ヲ執リマシテ、ドウ云フ工場ニ如何程ノ鹽ヲ分ケテ賣ヒタイ、其ノ數ノ計畫ニ付キマシテハ、從來商工省モ關係ヲ致シテ居リマシテ、今後ハ恐ラク經濟安定本部ガ中心ニナリマシテ計畫ヲ立テテ行クコトト考ヘテ居リマスガ、其處ラ邊大梓ヲ立テマシテ、箇々ノ工場別ノ割當ニ付キマシテハ、商工省デ割當テル、斯ウ云フ風ニナラウト考ヘテ居リマス

○長岡半太郎君 次ニ御伺ヒ致シタイソハ、「カリ」鹽デゴザイマスガ、「カリ」鹽ハ戰前四十萬「トン」位、多クハ「ドイツ」カラ輸入サレテ居ツタノデアリマスルガ、日本ニモ無イコハナイ、併シソレヲ採ルニ可ナリノ費用ガ掛ルト云フノデ、伊豆ノ萬藏山ナドト云フヤウナ所ニハ、硫酸「カリ」ガ澤山アルノデゴザイマスアレドモ、之ヲ利用シナイト云フコトハ、矢張り石炭ノ不足ト云フ點デアリマスルカ、ソレトモ何カ、又ソレヲ利用シテ肥料ニ轉

化スルト云フヤウナ研究デモヤツタラ宜カラウト私ハ思フノデスガ、必ズシモ是迄ノ「カリ」鹽デナクとも、外ノ形ニ日本産ノ「カリ」ヲ少シク變化シテ、肥料ニ適スルヤウニ致シタナラバ宜イノデハナカラウト思ハレマスノデスガ、サウ云フコトハ此ノ中ニ含ンデ居ラヌ譯デセウカ

○政府委員(吉田樫二郎君) 只今仰セノヤウナコトハ、此ノ法律ノ施行ト致シマシテハ考ヘテ居リマセヌ、勿論サウ云フコトハ、日本ト致シマシテ、御研究ヲ各方面カラ御願ヒスル譯デゴザイマスルガ、一應此ノ法律ト致シマシテハ、依然「カリ」鹽ノ輸入ヲ考ヘテ居リマシテ、輸入致シタモノヲ、之ニ依ツテ分ケテ行クト云フ方法ヲ考ヘテ居リマス

○長岡半太郎君 餘リ續カヤウデゴザイマスガ、此ノ石綿ハドウモ日本産ノモノモ幾ラカハアルマスアレドモ、之ヲ糸ニスルコトガ甚ダ困難デアリマス、此ノ糸ニナラナイ石綿デヤ、チヨツト仕事ニ困ルコトガアリマスルガ、之ヲ糸ニスルト云フ研究モ必要デハナイカト思ハレノデス、若シ出來ナケレバ、ドウシテモ外國品ニ俟タナケレバナラス、サウ云フモノガ輸入出來ルヤウニ、一ツ即急ノ場合ニ應ズル爲ニハ必要ダラウト思ヒマスルガ、此ノ中デ、多少サウ云フ意味ヲ持ツテ居ルモノ御選ビニナツテ、一ツ至急ニ需要ニ應ズルダケノ少額デモ宜シウゴザイ

マスガ、輸入スルコトヲ御願リニナツテ戴ケバ、餘程工業界ハ喜ブダラウト思ヒマス

○政府委員(吉田樫二郎君) 石綿ハ御承知ノ通り、國內ノハ非常ニ短イ纖維デゴザイマシテ、長纖維ノモノハゴザイマセヌ、從ヒマシテ、ドウシテモ「カナダ」製ノ品物ヲ得タイト思ヒマシテ只今輸入ヲ御願ヒ致シテ居リマス、大體輸入ヲ御願ヒ致シテ居リマスル品物ハ、ドウシテモ日本ニ無イ物、而モ緊急ニ産業ガ復興致シマスルニ必要ナ資材ト云フコトニ限定致シマシテ、金額モ日本カラ輸出シ得ル品物ノ金額ニ大體押ハラレテ居リマスルカラ、最モ重點的ナモノヲ取入レマシテ、最小限デハゴザイマスルガ、ソレデ數重ヲ押ヘマシテ、輸入ヲ御願ヒ致シテ居ルノデゴザイマス、石綿モ十分デハゴザイマセウガ、長纖維ノモノヲ入レルヤウニ懇請中デゴザイマシテ、何トカハ實現致シタイ考トヘテ居リマス

○長岡半太郎君 石綿ト一緒ニ出ル蟹母ノヤウナモノモ、ドウシテモ電氣事業者ハ不足ヲ感ジテ居リマスルカラシテ、是レモ是非一ツ、御願ヒシナケレバナラスト思ヒマス

○三橋四郎次君 今、長岡委員カラ、「ソーダ」工業ノ鹽ノ問題ニ付テノ質問ガアリマシタガ、之ニ對スル政府委員ノ御答デハ、「ソーダ」工業ノ生産ノ上ニハ、是ダケノ分量ガ必要デアル、「カリ」鹽ニ對シテハ是ダケノ分量ガ必要デアルト云フコトヲ大藏省ノ方ニ要求シテ、コチラトシテハ大藏省ノ方カラ受ケルダケデアル、斯ウ云フ風ニ承知致シタノデスガ、而モ此ノ部分ニ付テハ、輸入鹽ニ俟タナケレバ、内地製鹽デハ之ニ困カヌト云フ風ニ伺ツタノデアリマスガ、若シサウデアルトスルト、外カラ入レテ賣フコトニ付テノ案ハハッキリ立ツテ居ルノカ、此ノ大事ナ工業モ、内地産ハ考ヘナイデ、一切他ニ依ルト云フコトガ、果シテ將來ノ日本ノ「ソーダ」工業「カリ」鹽ニ取ツテドウデアルカ、其ノ邊ハドウ御考ヘデアリマスカ

○政府委員(吉田樫二郎君) 大藏省ノ所管ハ鹽ダケデゴザイマシテ、アトノ品物ハ、大藏省ノ所管デハゴザイマセヌ、鹽ノ供給關係、國內ニ於テ、其ノ大部分ノモノガ生産ガ出來テ、足ラヌモノヲ輸入ニ仰グト云フコトガ出來マスレバ、一番宜シイノデゴザイマスルガ、日本ノ色々ナ狀況カラ考ヘマシテ、非常ニ高イ鹽ニナルノデゴザイマス、現在ノ電氣事業其ノ他ニ付テ考ヘテ見マシテモ、非常ニ高イ鹽ニナリマシテ是ガ輸出産業デアリマス所ノ人綱、其ノ他「ソーダ」等ニ使フ所ノモノトシテハ、迎モ立チ行カヌト云フコトニナルト考ヘマス、從ヒマシテ、サウ云フ點ヲ考ヘマス、矢張り安イ輸入鹽ヲ考ヘナケレバ、日本ノ工業トシテ成立タヌノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ノミナラズ、絕對數量モ

足ラヌノデゴザイマシテ、段々我が國ノ纖維産業ガ是カラ回復致シマシテ、消費量ガ殖エテ參リマスレバ、到底國內デ造ルダケノモノデハ足ラヌコトト考ヘマシテ、輸入ニ御願ヒスルコトニ致シテ居ル譯デアリマス、尙輸入ノ計畫ニ付キマシテハ、モウ既ニ御承知ノコトト思ヒマスルガ、今日ノ我が國ノ貿易ハ、總テ聯合軍ノ管理下ニゴザイマシテ、我が國ノ政府ト致シマシテハ獨力デ之ヲ決定シ得ナイ狀況ニゴザイマス、一々聯合軍ニ輸入ヲ懇請致シマシテ、聯合軍ノ承認下ニ於テ輸入ヲ致スト云フコトニナツテ居リマス、日本ニ於ケル供給計畫ノ大體ノ内容ハコチラデ作リマシテ、輸入ノ基礎ニナリマスル數字ハ出シテ居ル譯デゴザイマスルガ、聯合軍ト致シマシテハ、色々國際ノ情勢、其ノ他ヲ考ヘテ、輸入ヲシ得ルモノヲ今日迄決定シテ居ラル、ヤウデゴザイマス、全般的ニ最小限ニ必要ナモノノ輸入ヲ懇請中デゴザイマシテ、ソレノ決定ハマダゴザイマセヌ、ボツ／＼決ツテ居ルヤウナモノガアルヤウデアリマス、マダ非常ニ品物ト致シマシテハ、今日迄食糧ガ中心デゴザイマシテ、無論食糧ノ意味デ鹽モ入ツテ居リマスガ、其ノ他ノモノモ非常ニ少イ種類シカ輸入サレテ居リマセヌ、今後段々サウ云フモノノ範圍ガ擴ガツテ來ルモノト考ヘテ居リマス

○三橋四郎次君 サウ云フ風ニシマス、内地ノ生産デハ高イ、安イモノデ

ナケレバ工業ノ上ニ於テノ差支ガアル
之ガ爲ニ外輸ヲ使フノ已ムナキニ至ッ
テ居ルコト云フ風ニ今伺ヒマシタガ、是
ハ長イ目で見テ、日本ノ國策カラドウ
云フモノカト云フ危惧ノ面モアル、今
ニ於テハ宜イノデアリマスガ、一ニ之
ヲ外輸ニ依ルト云フ風ナコトハドシナ
モノカ、ソレガ現在高イモノトシテ決
メテ掛ルコトガドウ云フモノカ、是ダ
ケノ海ノ只ノ水ガアルガ、ソレヲ處理
ノ方法ニ依レバ、遠クカラ持ッテ來ル
ヨリ良イモノガ出來ルト云フヤウナコ
トガ考ヘラレヌコトハナイカト思ヒマ
スガ、唯モウ今、日本デヤルモノハ高
イ、ダカラ外輸ニ依ルト云フ考ヘ方ハ
ドウ云フモノカ、非常ニ其處ノ邊ニ何
等カノ場合デ、若シ來ナイ場合ガナイ
ト云フコトヲ誰ガ保證スルノデアリマ
スカ、斯ウ云フ場合ニ對シテ、一應ド
シナ風ナ御考ヲ持ッテ居リマスガ、其
ノ邊ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田樗二郎君) 鹽ハ國民

ノ生活ノ必需品デゴザイマス、食糧ト
シテモ必需品デゴザイマスガ、出來ル
ナラバ國內ニ於テ自給スルコトガ一番
望マシイコトト考ヘマスガ、終戦少シ
前カラ鹽ノ輸入ガ止リ掛ッテ居リマシ
タノデ、是ハ大藏省ガ中心ニナリマシ
テ自給製鹽ト云フモノヲ色々ト計畫致
シテ居リマス、今日迄電氣ヲ使ヒ、或ハ
石灰ヲ使ヒ、薪ヲ使ヒ、海岸ニ於テハ
色々ナ自給製鹽ノ計畫ガ實施サレマシ
テ、相當出來テ居リマスガ、マダ其ノ

數量ハ國內ノ消費ニ對シマシテ微々タ
ルモノデアアルノデゴザイマス、從ヒマ
シテ、國內デ自給シ得ルト申シマシテ
モ、其ノ限度ハ非常ニ少イモノデゴザ
イマス、一面、工業鹽トナリマス、
非常ニ多イ數量ヲ豫定セネバナリマセ
ヌノデ、ソレ等ヲ造ルト云フコトハ實
際ニ困難ト思ヒマスノミナラズ、今後
ノ電氣ノ價格、或ハ石灰ノ價格ト云フ
モノハ、マア、サウ長イ將來ハ別ト致
シマシテ、コ、十年、二十年先ヲ考ヘ
マシテモ、サウ安クナリ得ルト云フ見
込ガナイノデアリマス、サウ云フ熱源
ノ價值、動力源ノ價值ト云フモノガ高
イ日本ニ於キマシテハ、ドウモ鹽ト云
フモノガ安クナリ得ナイノデアリイカ
ト考ヘルノデアリマス、今後日本ハ武
裝解除致シマシテ、實力、自ラ護ル力
ハナクナツタノデゴザイマスケレドモ
鹽ヲ自給シ得ルト云フ狀況ニハ、恐ラ
ク困難ナコトデアラウト考ヘマス、矢
張り近イ中國ナリ、或ハ臺灣カラ、是
ハモウ非常ニ安ク出來ル鹽ガアルノデ
アリマスカラ、之ニ供給ヲ仰グト云フ
以外ニ方法ガナカラウカト考ヘテ居ル
ノデアリマス

○三橋四郎次君

サウシマス、戰前
ニ於テ工業鹽ノ原料トシテ、大體一年
ニドノ位ヅ、人ツテ來マシタカ、ソレ
ガ戰爭ガ始マツテ全然ナクナツテシマ
ツタノデアリマスガ、現在「カリ」
工業其ノ他ノ復興ニ從ツテ、二十一年
度ニ於テドノ位要リ、二十二年度以降

ニ於テドノ位要ルト云フコトデ、今輸
入計畫ガ一々許可ヲ得ナケレバナラヌ
ト思ヒマスガ、其ノ邊ハ許可ヲ得ル手
續ノ上ニ於テ或ハ必要量ガチャント出
シテアルト思ヒマスガ、其ノ邊ノ斯フ
云フ計畫豫想ハドシナモノデアリマス
カ、チヨツト數字的ニ伺ヒタイト思ヒ
マス

○政府委員(吉田樗二郎君) 只今鹽ノ

細カイ數字ヲ持ッテ居リマセヌノデ、
孰レ是ハ大藏省ノ政府委員ガ來テ御説
明ヲ致スコトト思ヒマス、鹽ノ輸入ガ
一番多イ時ハ百萬「トン」、少イ時ハ六
十萬「トン」位從來致シテ居ツタヤウ
デゴザイマス、最近ノ狀況ハ、チヨツ
ト數字ガ令分リマセヌノデ、後程御答
ヘ致シタイト思ヒマス

○河端作兵衛君

礫砂ノコトニ
付テチヨツト御伺ヒシタイノデスガ、
現在國內ニアリマスル量ハドノ位アリ
マスガ、サウシテ何時頃再日本ニ入
ル見込ガアリマスガ、尙現在ノ在庫ト
現在ノ想定消費量トヲ比較シテ是ハド
ノ位アルカト云フヤウナコトヲ御聴キ
シタイト思ヒマス

○政府委員(吉田樗二郎君) 是モ一ツ

取調ベマシテ、御答ヘ致シタイト思ヒ
マス

戰時中話シテ居ツタノデアリマス、是
ハ專門ノ方ニ聽クト事實サウダト思ヒ
マスガ、斯ウ云フ風ナ問題ガ日本ニ於
テ革ヲ糲メスコトヲ始メテカラ何十年
デスカ、或ハ何百年ト云フカ、其ノ間
殆ド顧ミラレズニ居ツタト云フコトハ
日本全體トシテ非常ナ損失ダト思フ、
ソレデコンナコトハ外國デハ何處ノ國
デモ皆持ッテ居ルノデスカラ、外國ノ
技術ヲ採入レテ倍ニシマスレバ、革ガ
皆倍ニナツタト同ジ結果ニナル、是非
是ハ一ツ實行シテ觀キタイ、序ニ申上
ゲマスガ、例ヘバ内地製鹽ヲヤルト云
フ時ニ、此ノ技術ノ指導ハ、唯大藏省
ガ作ルト云フダケデアリマスガ、何カ
商工省ノ關係ハアリマセヌデスカ

○政府委員(吉田樗二郎君) 商工省ノ

方ト致シマシテハ、特別ナ今日迄ノ技
術ヲ持ッテ居リマセヌノデ、電力ヲ使
ツテ電氣製鹽ヲヤリマスル場合ニ、電
力設備ノ方カラ色々ト御指導ハ致シテ
居リマスガ、マダ是モ私共技術ヲ致シ
マシテ、十分熟シテ居リマセヌ、アツ
チヨツチ試驗ヲヤツテ居ルト云フ程度
デゴザイマシテ、其ノ結果ニ依ツテ、
又御互ノ相互啓蒙ガ出來ルト云フ程度
デゴザイマシテ、最後のナ最モ良イ體
驗ノ方法ト云フモノヲマダ持ッテ居リ
マセヌノデ、研究ヲ致シテ居ル程度デ
ゴザイマス、マダ其ノ外ノ方面、電氣
以外ノ方法ニ依ル製鹽モマダ決定シテ居
リマセヌ、ソレデ實ハ製鹽ノ技術ニ付キ

マシテモ製革以上ノ、革糲メシ以上ノ
非常ナ幼稚ナ點カラシテ、初メカラ申
シマス、生ノ海水ヲ煮詰メテ鹽ヲ作
ツテ居ル、海水ノ中ニハ三「パーセン
ト」ノ鹽ガアリマスケレドモ、併シナ
ガラ、之ヲ其ノ儘ニ煮詰メルト云フ方
法ハ私ハ始終言ツテ居ツタノデスガ、
十萬年前ノ野蠻人デモヤツテ居ナカッ
タヤウナ、ソレヲ今日日本デハヤツテ居
ル、其ノ後ニナツテ、電氣製鹽デ電氣
ヲ煮詰メル、是モ殆ド生ノ海水ヲ其ノ
儘煮詰メテ居ル、化學ヲ知ツテ居ル者
ハソナナ方法ハ連モ行ハレベキモノデ
ナイト云フコトハ重々承知デアラウト
思ヒマス、例ヘバ此ノ水ノ蒸發量ハ表
面積ニ比例スルトカ或ハ溫度ニ比例ス
ルトカ、或ハ壓力ニ反比例スルトカ云
フヤウナ其ノ化學ノ原則ハアリマス
ケレドモ、一ツモ利用シナイデ以テ、
其ノ儘ヤツテ居ル、實ハ今迄ヤツテ居
リマシタ電氣製鹽デハ大抵「トン」
造ルノニ五萬「キロワット・アワー」
要ツテ居ツタ、ソレガ常人ガ代表シテ
日本ノ人協會社全部ノ合同デヤリマシ
タラ、廣島縣ノ三原デハ二千五百「キ
ロワット・アワー」デヤツタ、ソレハ
今迄ノ二十分ノ一デアリマス、是ハ初
メカラ分ツテ居ルノデ、私ハ其ノ主張
ヲシテ居ツタガ、例ヘバ粉「ミルカ」
ヲ造ルノニ「アメリカ」カラ來タツツ
クリ其ノ儘ノ方法デスガ、初メ煮詰メ
ル時ニ、低壓蒸溜ヲヤル、眞空蒸溜ヲ
ヤル、サウシテ出來マシタモノハ非常

ニ蒸發ノ「エフイシエンシー」ガ好クナリマス、ソレヲ溫カイ部屋ヘ持つテ行ツテ霧ニ吹クノデアリマス、霧ニナルト、普通ノ液ニ固ツテ居ルノニ比べテ面積ハ殆ド無限大ニナリマス、其ノ爲ニ吹キマスト其ノ部屋デ粉ニナツテ下ニ落チルト云フ方法ガアル、私ハ必ズサウナルベキモノダ、サウデナケレバ、今ノヤウナ、全部デドレダケ電力ガ足ラナイデ損シテ居ルカ分ラスト云フコトヲ始終言ツテ居ルノデス、ソレガ二月カ三月カ、廣島縣ノ三原デハ眞空蒸溜ヤツテ霧ニ吹クト云フコトデソレデ電力ガ二十分ノ一ニナツテ居ルノデス、斯ウ云フヤウナコトハ、國全體トシテ考ヘルト、折角政府ガ色々工業試驗所ヲ持つテ居リナガラ、大藏省ハサウ云フモノヲ持つテ居ラナイガ、國全體デハ、唯造レタスト言ツテ居ツテ、ソレデ二十倍ノ電力ヲ使ツテ居ル此ノ頃ハ電力ノ制限デ工場ハ、私共ノ方ハ一週間ニ四日シカ來ナカッタヤウナコトデアリマシテ、是モ全體トシテ一ツ御考ニナツテ、斯ウ云フヤウナ色々ナ物資調整法トカヤリマシテモ、元ノ方ガ抜ケテ居ルト、倍、三倍、五倍ノ努力ヲ費シテ、結果ハ一向學ヲムト云フコトニナリハシナイカ、之ニ付テハ御注意願ヒタイ

末期デゴザイマシテ、何トカシテ無理矢理ニモ造ジウト云フコトカラ致シマシテ、ドウモ不十分ナモノモ御認メ願ツタ譯デアリマスガ、今後ハ矢張り能率ノ好イモノダケシカ電氣ノ供給モ出來ナクナツテ參リマス、電力ガサウ餘力ガゴザイマセヌ關係上、サウ云フコトデ自然惡イモノハ淘汰シテ行クト云フコトデ、優良ノモノヲ殘スヤウニシタイト思ヒマス、併シナガラ製鹽ノ爲ニ從來政府ノ指導ハ必ズシモ良クナカッタト思ヒマス、今後ハ何トカ改メテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘデ居リマス

○長岡半太郎君 此ノ法案ヲ拜見致シマスルト、恰モ復興産業ト云フモノハ元ノ儘ノ戰前ノ方法ヲ以テ實行スルヤウナコトニ御考ニナツテ、此ノ法案ガ出來タモノデナカラウカト考ヘル所ガゴザイマス、併シ戰後ニ於テハ、大分戰爭中シクシリナダガゴザイマシテ、大イニ示唆スル所モアツタシ、又教ヘラレル所モアリマシテ、ソレデ幾分カ需給ノ方ニ變化ヲ來シマシタノデヤナイカト思ヒマス、一ツノ例ヲ申上ゲマスト、是ハ或ハ速記ヲ暫ク止メテ戴カストイカメカモ知レカセヌガ

○委員長(男爵古市六三君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(男爵古市六三君) 速記ヲ始メテ

○長岡半太郎君 只今御話ノ製鹽法ノ如キニ於テモ、諸方面デ研究ヲ進メテ

居リマスガ、元ノ海水ヲ蒸發シテヤルト云フ蒸發ノ方法、或ハソレヲ凍ラシテ鹽ダケ取ツテシマフト云フヤウナ方法モ考ヘテ居ルヤウデアリマス、色々ノヤリ方ガアリマス、依ツテ、是等ノ「ソーダ」工業ヲ基本トシテ居ル會社ナドノ方面ニ於テモ、此ノ點ハ特ニ研究餘力ガアレバ御努力願ヒタイ、四方海ヲ以テ圍マレテ居ル日本デ鹽ガ不足スルト云フコトハ、如何ニモ外國ニ對シテハ言ヒニクイ境デアリマスカラ、ドウゾ此ノ點ハ十分御研究ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス

○男爵田中龍夫君 先程チヨット他ノ委員カラ御話ガゴザイマシタガ、大體此ノ法案ヲ拜見致シマス、國家總動員法ノ中ノ物ノ關係ダケヲ抽出シテアルヤウナ感ガ致スノデアリマス、國家總動員法ノ場合ニハ、有ラユル生産要素ト云フモノヲ全部包括的ニ攝ゲテアツタノデアリマスガ、其ノ他ノ方、例ヘバ資金ノ關係デアリマス、努力ノ問題、輸送ノ問題トカ輸入計畫、貿易計畫、サウ云ツタ他ノ色々ナ「ファクター」ニ付テハ、別途ニ何カ立法ヲナサルノデセウカ、如何デセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 御話ノ通り、戰時中ノ總動員法ハ、生産ノ有ラユル要素ニ付テ何ト申シマス、戰争目的ニ之ヲ集中スル規定ガアツタノデアリマス、物資需給調整法ハ、此ノ物資ノ面ダケノ統制デ産業ノ回復及ビ振興ヲ圖ツテ行カウト云フコトヲ考ヘ

テ居リマスノデ、嚴密ニ申シマスナラバ、確カニ不十分デアルト考ヘルノデアリマス、要スルニ物資ヲ重點的ニ配給シテ、今荒廢シテ居ル産業ヲ活キ返ラセテ行カウト云フダケデアリマスカラ、勞務ノ點、資金ノ點、輸送ノ點、總テハ關係ノアル問題デアリマス、ソレニ付テハ此ノ法律ハ何モ言ツテ居リマセヌ、從ヒマシテ不十分ダト考ヘマス、他ノ法律デドウ云フコトヲ考ヘルカト云フト、資金ノ點ニ付キマシテハ御承知ノ通り軍需補償打切ノ問題ニ絡ミマシテ、是ハ金融臨時措置令ガ出マシテ、一應今日迄ノ資金ト云フモノハ、極ク少額ノモノヲ除キマシテ、全部打切ラレシマツタノデアリマス、之ノ對策ト致シマシテ、御承知ノ通り復興金融庫ト云フ新ラシイ金融機關ヲ設ケマシテ、是デ資金ノ繋ギヲヤツテ行カウ、三年間ノ施行期限ヲ以テ、重要ナ産業ノ復興ノ爲ニハ、此ノ金融ヲ通ジマシテ資金ヲ流シテ行カウト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ運用ニ當リマシテハ、産業ノ復興ト云フコトニ重點ヲ置イタ運用ノヤリ方ノシテ參リタイト考ヘテ居リマス、即チ資金ヲ貸出シマス場合、中央及ビ地方、ソレト「ニ」資金ヲ運用致シマス場合ノ協議會ト云フモノヲ作りマシテ、ソレニ關係各省並ニ民間ノ産業界ノ方々、或ハ他ノ金融業者ノ方々等ヲ入レマシテ協議會デ、重點的ニ資金ノ流れ方ヲ決定シテ行ク、斯ウ云フコト

ニナツテ居リマシテ、大體戰時中ノヤリ方ト同ジヤウナ方法ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、尙資金調整法等マダ殘ツテ居リマシテ、重點的ニ新ラシイ事業計畫ノ場合ノ資金ノ面ニ付テモ、政府トシテハ調整ヲシ得ル途ヲ殘シテ居リマス、次ニ輸送ノ問題デアリマスガ先程廣幡委員ノ御話ニゴザイマシタヤウニ、直接ハ特別ノ法規ヲ今度設ケテ居リマセヌ、併シナガラ輸送ノ大部分ノモノハ、現在國方陸毛船モ實施ヲ致シテ居リマス關係上、運輸省ノヤリ方如何ニ依ツテ、是ハ要附出來ルモノト考ヘテ居リマス、特別ノ法律ヲ要セズニ、大體ノ輸送ト云フモノガ産業回復ノ線ニ沿ツテ行キ得ルモノト考ヘテ居リマス、次ニ勞務ノ問題デアリマス、戰時中ノ勞務動員ニ關スルヤウナ規定ト云フモノハ、今日ノ狀況カラ致シマスレバ、勿論新ラシイ法規ヲ作ルコトハ不可能ナ狀態デアリマス、又一面勞務ガ非常ニ剩ツテ居ル狀態デモゴザイマスノデ、其ノ方面ニ付キマシテハ、特別ノ法規ヲ要セズ、勞務者ヲ集メルト云フコトハ、マア今日ノ狀態カラ申シマシテ可能デハナカラウカ、斯ウ云フコトデ、特別ノ手ヲ打ツテ居ンヌノデアリマス、要スルニ資材ヲ重點的ニ配給シ、之ニ資金ノ裏附ケヲ致シテ參リマスレバ、産業ノ回復ト云フモノハ望メルノデハナカラウカ、是ガ此ノ法案ノ狙ヒ所デアリマス

○男爵田中龍夫君 只今ノ詳細ナ御説

明ニ依リマシテ、大體了承致シタノデ
アリマスガ、當面ノ生産ノ關係ヲ見マ
ス場合、資金ノ問題、勞働問題ト云フ
風ナモノガ生産ヲ阻害シテ居ル大キナ
要素ノヤウニ思ハレマス、只今ノ復興
金融ニ關スル運用協議會ノ資金面ノ御
話ガゴザイマシタガ、是ハ例ヘバ、本
ニ依リマシテ、各會社工場等ニ付テ、第
一條ノ生産命令ガ發令サレマスヤウナ
場合ニハ、自動的ニソレガ行ハレルヤ
ウニナツテ居ルノデゴザイマセウカ、
其ノ點ト、モウ一ツハ、先般ノ財政金
融措置デ、生産關係ハ、一方ハ第二封
鎖ニ、他方ハ棚上げト云フヤウナ恰好
ニナツテ居リマシテ、生産ヲ再開スル
ニ當リマシテハ、ドウシテモ相當多額
ノ先行資金、運轉資金ガ放出サレマセ
ヌト「スター」ガ切レナイデヤナイ
カト思ヒマス、其ノ二點ニ付キマシテ
伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 第一條ノ

第三號デ、生産命令ヲ出シマス場合ニ
金融ノ措置ガ伴ハナケレバイカスデハ
ナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、其
ノ通りデゴザイマス、私共ト致シマシ
テハ、第三號ノ規定ハ餘リ容易ニ動カ
ス積リデゴザイマセス、普通ハ生産ニ
相當スル資材ヲ割當テマシテ、ソレニ
依ツテ生産ヲ御願ヒスル譯デアリマシ
テ、之ヲ命令ト云フ形デ生産ヲ御願ヒ
スル積リハナイノデゴザイマスガ、特
ニ緊急ナモノデ、ドウシテモソレガナ
クテハイカヌモノ、或ハ需給ガ「アンバ

ランス」ニナツテ居リマシテ、ドウシテ
モ其ノ物ヲ造ラネバナラスト云フヤウ
ナ場合、一例ヲ舉ゲマシレバ、最近ノ鋼
材ノ中デ、薄板ト云フモノガ非常ニ需
給ガ逼迫シテ居リマス、建築用其ノ
他ニ使ヒマスルニハ、薄鐵板ト云フモ
ノガ非常ニ足ラヌノデアリマス、サウ
云フ場合ニ、一應ハ資材ノ割當ノ際ニ、
鐵ノ會社ニ對シテハ、薄板ヲ造ルヤウ
ニ御願ヒ致シマスルガ、ソレデ十分デ
ナイ場合ニハ、薄板ヲ幾ラ造ルト云フ
命令デ行ク場合ガアルト豫想サレルノ
デアリマス、サウ云フ場合ニ、特ニ資金
ガ必要ナ場合ニハ、勿論其ノ金額ニ依
ツテ地方々々孰レカノ協議會ニ掛ケマ
シテ、資金ノ供給モ考ヘテ行ク、斯ウ
云フ豫定ニナツテ居ルノデアリマス、
ソレカラ新ラシク事業ヲ再開スル場合
ハ之ニ先行スル所ノ資金ガ要ルト云フ
御話、是モ御尤モデゴザイマス、併シ
ガラズウ云フ場合ニハ、所謂第二封鎖
ト云フモノヲ使フコトハ、今日考ヘテ
居リマセス、第二封鎖ハ企業ノ整理ガ
出来マシテ、金融機關等ノ現實ノ損失
ガハツキリ分リマシテ、サウシテ幾
殘リカト云フコトガ確定致サナケレ
バ、此ノ封鎖ハ解ケナイコトデアルト
考ヘテ居リマス、從ヒマシテ、サウ云
場合ニモ、總テ此ノ新ラシイ資金ト云
フモノハ、復興金融庫ノ資金ヲ使フ
コトダケニナツテ居リマス、從ヒマシ
テ、其ノ産業ガ重要デアル限リニ於テ
ハ、今日ノ事態ヲ考ヘマシテ、不可缺

ノ産業デアルト云フコトガハツキリ致
シテ居リマスル限リニ於テハ、復興資
金ヲ豫メ融通シテ行ク、斯ウ云フコト
デ行キタイト考ヘテ居リマス
○男爵田中龍夫君 整理ニ入りマセ
會社ノ場合デアリマシテモ、八月十一
日以降ハ金融機關ト一般産業トガ同時
ニ處置ヲサレタモノデアリマスカラ、
何處ノ會社ニ參リマシテモ、當面ノ運
轉資金ニ付テハ非常ニ逼迫シテ居ル
ヤウナ聲ヲ聞クノデアリマスガ、只今
ノ御話ノヤウニ、整理ガ終リマシテカ
ラト云フコトデハ、或産業ニ於キマシ
テハ、又現在活動シテ居リマス生産企
業デアリマス場合ニハ、寧ろ折角此ノ
泰以降、上リ掛ケタ「カー」ガ止ツテシ
マフト云フ風ナ場合モ多アルト思フ
ノデアリマスガ、サウ云フ風ナ本格的
ナ整理會社デナイ一般ノ生産企業ニ對
シマシテ、何等カ商工省ト致シマシテ、
金融機關ニ對シテ、一方ハ棚上げヤリ、
一方ハ第二封鎖ニナツタヤウナ場合ニ
運轉資金ノ供給ニ付キマシテ、特ニ御
考ノ所ガゴザイマシタラバ、伺ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 今後モ生

産ガ續ケ得ル會社ニ於キマシテ、所謂
第二封鎖ニナリマシタ爲ニ、資金トシ
テ使ヒ得ル金ガナクナツタト云フ場合
ニハ、勿論是ハ新ラシイ金融ヲ致シマ
シテ、其ノ仕事ヲ繼續スルヤウスル積
リデアリマス、第二封鎖ノ點ハ、先程
モ御話ノ中ニアリマシタヤウニ、是ハ
整理ノ爲ノ棚上げデゴザイマシテ、整理

ガ附ク迄ハ、是ハドウモ之ヲ擔保ニド
ウスルスト云フ譯ニハ行カヌモノデ
ゴザイマシテ、矢張り第二封鎖ニナリ
マシタ爲ニ資金ノ非常ニ窮乏ニナツ
ト云フ場合ニ於キマシテハ、新ラシイ
資金ヲ普通銀行ナリ、普通銀行デ融通
ガ困難ナ場合ニ於キマシテハ、復興金
融庫ノ資金ヲ、新規定ノ方ニ貸付ケ
テ行ク、斯ウ云フ形デ行クコトニナツ
テ居リマシテ、此ノ點ハ能ク大藏當局
トモ連絡ヲ致シマシテ、從來程度ノ資
金ト云フモノハ當然ニ貸付ケテ行ク
云フ方針ヲソレノ金融機關ニ指示
ヲ致シテ居ル譯デアリマス、大體ハ、
從來ノ通り仕事ヲ續ケテ居レマス所
ニ於テハ、資金ガサウ困難デナク動キ
得ルヤウニ指令ガ行ツテ居ル筈デアリ
マスカラ、若シサウ云フ、非常ニ不便ヲ
感ジテ居ラレマス所ニ對シマシテハ、
ソレノ地方ノ商工局、或ハ財務局
等ニ御連絡下サレバ、是ハ或程度解決
ガ附クノデハナイカト考ヘテ居リマス

○男爵田中龍夫君 先程勞務關係ノコ

トニ付キマシテ、戰時中ノヤウナ不安
定デハナイ、大分勞働力ト云フモノハ
餘裕ガアルト云フ御話デゴザイマシタ
ヤウナ、所謂頭割リノ問題デアリマセ
ヌデ、新ラシイ勞働問題ト云フ風ナモ
ノガ非常ニ大キナ要素ニナツテ居ルト
思フノデアリマス、處ガ、一方政府ノ
勞働關係ニ於ケル態度カラ申シマシテ
モ、積極的ニ生産ノ指示德應ヲシタ場

合ニ、其ノ數量ニ付テ、積極的ナ御立
場ヲ執レナイデナイカト思フノデアリ
マスガ、サウ云ツタ場合ニ、矢張り生
産指示ナリ德應ヲ受ケマシタ會社ニ取
リマシテハ、事實上、所期ノ生産ガ出
來ナイト云フヤウナ面ガ多アルト思
フノデアリマス、サウ云フ關係ニ付キ
マシテ、矢張りソレヲ生産計畫ナリ、
生産量ニ豫定サレコトハ、非常ナ制
限ガ來ルヤウナ結果ニナルト思フノデ
アリマスガ、如何デス
○政府委員(吉田悌二郎君) 勞務ノ關

係ニ付キマシテハ、強制力ヲ用ヒル所
ノ法制ヲ今回ハ作ツテ居リマセス、從
ヒマシテ、人ガ足ラヌ、或ハ人ガ働カ
ナイト云ツタヤウナ場合ニ、生産命令
ヲ出シマシテモ所期ノ生産ガ起ラヌデ
ハナイカト云フ御話ハ、成ル程起リ得
ルコトガアルト考ヘマス、唯過去ニ於
キマシテ、肥料等ニ付テ執ツタ政策デ
ゴザイマスガ、御承知ノヤウナ狀況デ、
國內トシテ肥料ハ非常ニ重要デアルノ
デゴザイマスガ、各肥料會社ニ對シマ
シテハ、生産ノ豫定數量ト云フモノヲ
決メテ、是ハ命令デハゴザイマセヌガ、
指示ヲ致シマシテ、其ノ目標達成ノ爲
ノ御努力ヲ御願ヒシテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ際ニハ、實ハ併セマシテ勞働
組合ノ方ニモ御願ヒシテ居ル、政府ト
致シマシテモ、此ノ肥料ハ是非必要ナ
モノダカラ、其ノ工場ハ何「トン」ト
云フヤウナ確安ナラ確安、石炭要素ナ
ラ石炭要素ヲ造ル豫定ニナツテ居ルカ

ラ、協力シテ賈ヒタイ云フコトヲ御願ヒシマシテ、非常ニ此ノ方面ノ支持ガ強ウゴザイマシテ、資材方面等ハ存外ノ十分デブツタニモ拘ラズ、マア「バーセント」迄ハ参リマセズデシタケレドモ、非常ニ好イ成績ヲ舉ゲタ工場ガ多クアツタノデゴザイマシテ、今後ハ矢張り義務ノ方面ニ於テモ現狀ヲ能ク認識理解シテ賈ツテ、協力シテ賈フ、サウ云フ方法デ行クコトガ一番賢明デアリ、又實際ノ效果ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○男爵田中龍夫君 ソレカシ他ノ生産要素ノ問題デアリマスガ、電力ハ電力石炭ハ石炭デ、先般單行法ガ出テ居リマシタノデアリマスガ、今後ハ逐次、斯ウ云ツタ包括的ナ委任立法デナク、單行法ニ逐次振替ヘテオイデニナル御豫定デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○政府委員(吉田樗二郎君) 今日ノヤウナ經濟ノ非常ニ不安定ナ狀況ニ於キマシテハ、一ツノ物資ガ足りナクナルト、次ノ物資ニ直グ影響ガアルト云フヤウナ關係デゴザイマシテ、已ムヲ得ズ斯ウ云フ包括的ナ立法ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、勿論斯ウ云フ立法ハ、特別ナ經濟狀態ノ際ニ設ケルモノデゴザイマシテ、此ノ施行期限モ後ニゴザイマスヤウニ、一年半ヲ最長ト致シテ居リマス、其ノ内ニ經濟ガ大體安定ヲシテ參ルコト思ヒマス、サウ致シマスレバ、ドウ云フモノダケハドウ

シテモ最後迄法制的ナ統制ヲ殘スベキカドウカト云フコトガ段々判明シテ來ルコトト思ヒマス、サウ致シマスルトソレバ矢張り此ノ法律ニ係ル場合ニ於テハ、單行法ト致シマシテ設ケテ行キタイ、サウシテ一般ノ包括的ナ法制ト云フモノハ、成ルベク早ク止メタイ、斯ウ云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○男爵田中龍夫君 次ニ、物資ノ割當配給等ノ根源ニナリマス供給力ノ中ノ今後大キナ要素ニナルト思ヒマスガ、先程御話ガ出マシタ貿易關係、就中、輸入ノ問題デアリマススケレドモ、貿易關係デハ物資ノ諸統制、ソレカラ輸出業者ニ對スル或程度ノ統制ト申シマスモノハ、事實貿易廳ガ絕對ニ力ヲ持ツテ出來ルカモ知レナイト思ヒマスガ矢張り臨時物資需給調整法ノ關係ヲ適用サレルノデアリマス

○政府委員(吉田樗二郎君) 貿易ハ先程申上ゲマシタヤウニ、聯合軍ノ完全ナル管理下ニゴザイマス、從ヒマシテ物ノ出入レニ付キマシテハ、完全ニ民間ノ手ニナイノデゴザイマスガ、一且是ガ國內ニ入ツテ參リマスト、矢張り民間ノ團體ニ流シテ行ク譯デアリマス、其ノ際ニハ、勿論此ノ需給調整法ノ適用ノ下ニ、重要ナ資材ハ流レテ參ルノデアリマス

ガ、其ノ末端ノ下部機構ハ矢張り集荷機關ナリ何ナリノ貿易業者ト云フモノガ相當活躍シナケレバナシナイト思ヒマス、其ノ所謂貿易業者ト云フモノガ今後相當、我ガ國ガ見返リ物資ノ供給ヲ爲シソレニ基キマシテ、更ニ不足物資ヲ輸入スルト云フヤウナ關係ニ當然立ツテ參ルト思フノデアリマス、サウ云ツタ時ニ見返リ物資ノ生産ヲシテ居リマス各工業組合傘下ノ「メーカ」ガアルト思フノデスガ、サウ云ツタモノハ各地ノ事業ノ關係デ、銘柄ガ非常ニ難多デアリ、逐次變化シテ來ルヤウナ狀況ニナツテ居ルト思フノデアリマスケレドモ、サウ云フモノニ付テハ原材料ガ、過去ニ於テハ問屋ト云フ風ナモノカラ支給サレテ運營サレタト思ヒマス、處ガ本法ニ依リマスト、茲ニ大體産業團體トシテアリマスガ、其ノ産業團體ト云フモノノ内容ハ、主トシテ、例ヘバ鐵鋼統制會トカ、石炭ハ石炭統制會トカ云フ風ナ、其ノ物資ヲ生産スル産業團體ト云フ風ニ取レルノデアリマスケレドモ、其ノ所謂過去ノ問屋ノヤウナ貿易業者ガ、物資ヲ「メーカ」ノ方ニ供給シテ、急速ナ生産ヲサセルトカ何トカ云フ風ナコトハ御考ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(吉田樗二郎君) 輸出品ノ場合ニ於キマシテ、從來ノ貿易商ナリ問屋ト云フモノノ地位デゴザイマスガ從來ハ仰セノ通り、其ノ邊ハ原材料ヲ買ツテ加工サセテ、買入レテ輸出シテ居ツタト云フ狀態デゴザイマシタ、今後ニ於キマシテ矢張りサウ云フ形ガ復活シテ行クモノト思ヒマスガ、今日ハ先程申シマシタヤウナ聯合國ノ管下ニゴザイマスノデ、此ノ形ハ執レズノデアリマシテ、輸出入ニ付キマシテハサウ云フ問屋ノ方々、貿易業者ノ方々ヲ以テ組織シタ原材料ノ統制會社カラソレハノ原材料ノ工業組合、其ノ他ノ工業業者ノ方々、一手ニ供給致シマシテ、其處デ加工サセテ、ソレヲ政府デ買上ゲテ行ク、斯ウ云フ形ヲ取ツテ居ルノデアリマス

○男爵田中龍夫君 今私ノ申上ゲマシタノハ、貿易廳ト云フモノガ、モツト強イ力ヲ益シ御持チニナルヤウニナツテ、貿易廳自體ガ相當程度ニ資材ノ配當ナリ、何ナリニ關與シレルト云フ風ナ恰好ニナツテ行クノデヤナイカト思フノデアリマスガ、ソレト今迄アリマシタ物資ノ配給ナリ、何ナリノ統制ノヤリ方ト云フモノトガ、一方ハ貿易業者ト云フモノハ、矢張り飽タ迄モ商業機構ト云フ風ナ恰好ニナツテ居リマスノデ、其ノ關係ガ二元化シヤシナイカト云フコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田樗二郎君) 貿易ノ統制團體トシテ、嘗テ交易營團ト云フモノガアリマシタガ、現在ハ解散ヲ致シマシテ清算中デアリマス、從ヒマシテ今日ニ於テハ、貿易廳ガ主ナルサウ云フ割當ノ實權ヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯サウ云フ民間ノ統制團體ヲ使ツテ居リマスルガ、實際ノ割當ニ付キマシテハ、貿易廳ガ完全ナ指示權ヲ持ツテヤツテ居ルノデアリマシテ、仰セノ通り貿易ノ關スル關係ニ於テハ、貿易廳ノ力デヤツテ居ル譯デアリマス、從來ノ商業機構ト云フモノハ、唯其ノ技術的ナ方面ヲ、言葉ガ惡ウゴザイマスガ、利用スル、活用スル、斯ウ云フ形ニナツテ居ルノデアリマス

○男爵田中龍夫君 ソレハ從來ノ統制ノ關係カラシマシテモ、過去ノ活潑ナ貿易ガ行ハレタ時代ト戰時中ニナリマシテカラノ變化ガ起ツテサウナツテ居ルト思ヒマスガ、矢張り今後ハ相當我ガ國ノ見返リ品ノ製造業ト云フモノガ零細ナ中小規模ノ産業ニナツテ參ルト思フノデアリマス、サウ云ツタ場合ニ戰時中ノ大軍需工業會社等ニ割當ヲシタヤウナ割當方法デハ、非常ニムヅカシイコトニナリハセウカ、諸リ地域のニモ、又銘柄カラ言ヒマシテモ、複合生産ガ多クナツテ、各工場ノ規模モ小サクナツテ行ク、地域のニモ分散サレ同時ニ下請ノ關係モ複雑化シテ居ル、斯ウ云フ場合ニ、矢張り資材ナリ何ナリト云フモノハ、從來戰前ニアリマシタヤウナ問屋ト云フ風ナモノヲ使ハナケレバ結局出來ナイノデヤナイカト云フ氣ガスルノデアリマス、ソレハ勿論國家計畫トシマシテハ、貿易廳並ニ其ノ傘下ノ諸團體ガ總括シテ援フヤウニナリマスケレドモ、今度ハ「メーカ」

ニ對スル實際ノ力ト云フモノハ、矢張リ問屋方面ガ握ツテ行クノデヤナイカ又握ラセナケレバ、迅速ニ市況ニ應ジテ銘柄ノ難多モノヲ作レナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ將來ノ問題トシテ、チヨツト意見ニナルヤウデアリマスケレドモ、考ヲ申上ゲタ次第デアリマス、次ニ今迄ノ統制ノ缺陷デアリマスガ、今迄ノ統制ニ色々缺陷ガアツタトシマシテモ其ノ一番大キナ要素ハ、何ト云フデモ商業機構ト云フモノヲ輕視シタコトデヤナイカト思フノデス、當時ハ作戰其ノ他ノ機密ガアリマシタシ、サウ云フ色々ノ關係デ特ニ商業ト云フモノガ排斥サレタノデアリマスケレドモ、其ノ結果ハドウナリマスカト云フト、結局矢張り「メーカ」ガ本當ニ能率ヲ發揮スルヤウナ恰好ニナラナイノデヤナイカ、本當ニ良イモノヲ作ル所ニ物ガ流レテ行クト云フ風ナ恰好ニナリマスニハ、ドウシテモ商業就中、問屋ト云フ風ナモノノ活用ガ考ヘラレルノカト思ヒマスガ、此ノ臨時物資需給ノ調整法ガ出來マス、矢張り戰時中ト同ジヤウニ其ノ生産ヲ振ツテ居ルモノノ商業團體デアリ、ソレガ余下ノ「メーカ」ニ對シテ資材配當ヲスルト云フコトハ、結局能率ト云フ問題デ非常ニ低イコトニナルヤウニ思フノデアリマス、ソレニ付テ、此ノ商業團體ト云フ解釋デアリマスガ、此ノ中ニ、所謂商業關係ノ團體ヲ含メテ御考ヘニナツテ戴ケル

ノデアリマスカ、ドウデアリマセウカ
○政府委員(吉田三郎君) 商業者ガ物ノ流レナリ、生産ノ上ニ於テ非常ナ重要ナ地位ヲ占メテ居リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、今後モ其ノ力ヲ復活サシテ參リマスコトガ、我が國ノ商品ノ品質ヲ高め、又色々ナ效率ヲ舉ゲル上カラ申シマシテ好イコトハ仰セノ通りデアリマス、唯物ガ非常ニ極端ニ逼迫シテ居リマス今日ハ、物ノ流レヲ正スコトニ急デゴザイマシテ、商業者ノ力ヲ取入レルコトガ非常ニ少ナクナツテ居リマスノデゴザイマスガ此ノ新ラシク臨時物資需給調整法ヲ施行致スニ當リマシテ、少シ其ノ點ヲ變ヘテ行キタイト思フノデアリマス、尙第二條ノ商業團體ト申シマスノハ、チヨツト誤解ガアルトイケマセスカラ申上ゲマスガ、是ハ所謂問當ヲ致ス機關デアリマシテ、假ニ鐵鋼業者ノ方ハ鐵鋼協會ト云フモノヲ作ツテ居リマス、是ガ商業團體ニナルノデアリマス、是ハ鐵ヲ造ル場合ニ於ケル適當ヲ致ス機關デアリマス、併シナガラ鐵ヲ流シマスモノハ、別ナ鐵鋼販賣會社ト云フ配給會社ガアリマシテ、ソレヲ通ジテ物ガ流レテ行ク、斯ウ云フノデアリマシテ、問屋ノ方ハ、此ノ配給會社ノ方ノ側ニナツテ居ルノデアリマス、御手許ノ資料ノ中ニアリマスヤウニ、現實ニ物ノ流レマス「ルート」ト致シマシテ、配給業者デ行キマスモノト、配給協議會デ行クモノト二色ニナツテ居リマス、

從來ハ配給統制會社ト云フ形デ一本デヤツテ居マシタモノヲ、大分配給協會ト云フ形ニ引直シテ居ルモノガ數箇アルノデアリマス、此ノ配給協議會ト云フモノハ、ドウ云フモノカト申シマス、是ハ主トシテ問屋ノ方ガ中心ニナリマシテ、生産業者、或ハ消費者ヲ入レマシタ「ツ」協議會デアリマシテ、是デ物ノ流レヲ決メテ行クノデアリマス、即チ第二條ノ商業團體デ工場別ノ資材ノ制當ヲ致シマス切符ヲ其處デ切ルノデアリマス、假ニ「セメント」ヲ千「トン」ト云フ切符ヲ工場ニ切リマス、配給協議會デハソレヲ小野田「セメント」ニ何袋、或ハ秩父「セメント」ニ何袋ト云フ、此處デ問屋サンガ從來ノ機能ヲ復活致シマシテ、輸送ノ關係ナドヲ見テ、合計千「トン」ニナルヤウニ、物ヲ分ケテ、ドノ工場ノ關係ノ問屋サンカラ幾ラ出荷スルト云フヤウナコトヲ計畫致ス譯デアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ、問屋ノ機能ヲ一部復活シテ行ク形ニシテ居ルノデアリマス、原則ト致シマシテ、斯ウ云フ配給協議會ヲ作ルモノハ「メーカ」モ消費者モ割合ニ數ガ少イ場合ニ、之ヲ作ルコトニ致シテ居リマシテ、「メーカ」消費者ガ共ニ多イヤウナ場合ニハ、サウ云フ「コンビネーション」ガムツカシイ關係デ、サウ云フ情勢ノ許ス限リニ於テハ、配給協議會ト云フ形ヲ問屋機能ヲ一部活カシナガラ行キタイト、斯ウ云フ風ニ致シテ居ルノデ

アリマス
○男爵田中龍夫君 第二條ノ今御説明デ、配給協議會ト云フモノガ具體的ナ制當權ヲ持ツト云フコトデアリマスカ
○政府委員(吉田三郎君) 物ノ流レ方ニ付テハ、配給協議會ガ指示ヲスルト云フコトニナル譯デアリマス、甲ノ工場二千「トン」ナラバ千「トン」ノ制當ヲスル、鐵鋼協議會、或ハ肥料ノ團體ガ致シマス、昭和電工二千「トン」ノ鐵ヲ入レルト云フコトニナルト切符ヲ持ツテ行ツテ鐵鋼販賣會ヲ買ツテ來ル譯デアリマス、サウ云フ問屋ノ團體ハ、配給統制會社ノ方ニ參リマシテ、物ノ制當團體ト云フノハ、其ノ生産ノ計畫及ビ配給ハ商業者ノ團體ガ之ニ當ル、制當機關ト配給機關ハ別デゴザイマスカラ、工場別ノ資材制當機關ト現實ノ物ノ流レマス「ルート」ト云フモノハ別デゴザイマスカラ、別ノ機關ニナツテ居ルノデアリマス、第二條ハ資材ノ制當切符ヲ切ルダケノ團體デアリマス
○男爵田中龍夫君 サウ致シマス、從來モ矢張り鐵鋼販賣會中ニ協議會ガゴザイマシテ、又其ノ下部ニハ、各「メーカ」指定ノ問屋ト云フモノガアツテ、其ノ形ハ今度ノ形ト變ツテ居ナイ制當權ハ矢張り從來ト同様ニ生産業者ノ團體ガ、余下ノ團體ニ對シテ制當ヲシ、所謂其ノ指示ニ從ツテ現物ヲ供給スルト云フダケガ問屋ヲ使フノダ、斯ウ云フコトニナレバ、商業團體ノ直接

商業者ト云フモノハ擴張解釋デ含マナイト云フコトニナリマセウカ
○政府委員(吉田三郎君) 鐵鋼ニ付テハ從來通りノ機構ニナツテ居ルノデスガ、其ノ他ノモノハ御手許ニ只今差上ゲマシタ資料ニアリマスヤウニ、配給協議會ノ形ニ引直シタノデアリマス此ノ表ニゴザイマスヤウニ、配給協議會配給ノ指示機關ト云フ欄ガゴザイマシテ、配給協議會ト云フノガ四ツ、五ツ、六ツ程ゴザイマス譯デゴザイマスガ、是ガ從來モヤツタモノモゴザイマスガ、成ルベク問屋機構ヲ斯ウ云フ形デ活カシテ行カウト云フコトニナツテ居ルノデアリマス
○男爵田中龍夫君 只今ノ御話デ大體分ツタノデゴザイマスガ、尙マア、結局此ノ本條ニゴザイマスヤウニ、物資ガ極度ニ不足ヲシタカラ統制ヲスルノダト云フコトデアリマシテ、サウ云フ風ニナツテ居リマスケレドモ、物資ガ不足シタ場合ニ、統制ガ必要ニナツテ來ルト云フコトハ、大體原因ガ二ツアルノデハナイカト思フノデアリマス、一ツハ主要食糧トカ、其ノ他消費物資ノ關係デアリマシテ、是ハ所謂足ラザルヲ憂ヘズ、均シカラザルヲ憂ヘルト云フ風ナ思想カラ、ドウシテモ物が足リナイカラ統制ヲ必要トスルノダ、斯ウ云フ風ナ思想ガ起ツテ來ル、併シモウ一方ニハ、矢張り先程來御説明ガデアリマシタヤウニ、急速ニ復興ヲシナケレバナラス、ソレカラ特定ノ商業ヲ政

府ガ助成スルノダ、斯ウ云フ風ニ國家意思ヲ強力ニ出シテ、斯ウ云フ風ナモノガ重點のニナツテ來ルト云フ意味合デ統制ノ必要論ト云フモノガ矢張り起ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、其ノ場合ニ一ツハ今迄ノ統制物資、終戦後ノ統制物資ヲ見マシテモ左様デアリマスガ、消費物資ガ大部分デアリマシテ、是ナラバ矢張り分配量、配給ノ公平ト云フコトガ主眼デアリマスカラ宜イト思フノデアリマスガ、以下追加サレヨウト思フ物資ト云フモノハ、寧ロ生産資材、生産財ノ關係デアリマシテ此ノ關係ノ所謂統制ノ狙ヒト云フモノハ、飽ク迄モ生産増強ナリ、急速ナ復興ナリデナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ云ツタ場合ニ、現在ノ機構デ行キマス、ドウシテモ所謂社會工場ノ能率ノ向上ト云フヤウナコトガ主ナル狙ヒニナツテ居ルコトト思フノデアリマス、ソレデ本法ニモゴザイマシヤウニ、特ニ産業ノ民主化ヲ圖ルト云フコトハ、結局産業ノ民主化ト云フモノヲ引換ヘテ考ヘテ見マスレバ、能力ノアル「メーカー」ニ優秀ナ製品ヲ造ラセ、又技術ノ向上ヲサセル、サウ云フ風ナ自由ナ機會ヲ與ヘテ行クト云フコトト、モウ一ツハ、需要者ニ欲シイモノヲ得ルヤウナ自由ナ機會ヲ與ヘテ行ツテ、ソレガ又同時ニ「メーカー」ヲ批判シ刺戟シテ行ク、生産ヲ刺戟シテ行クト云フ風ナコトガ結局産業ノ民主化ノ根本デアリ、生産財ノ配當、割

當ト云フモノモ、サウ云ツタ線ニ沿フベキモノデナイカト思フノデスガ、サウ云フ際ニ、所謂需要家ノ代辯デアル商業機構ト云フモノガ、是非トモ此ノ際ハ活動シテ、同業ノ團體ガ傘下ノ「メーカー」ニ對スル所謂總花ノ實績主義ト云フコトニナラナイヤウニ、常ニ「カット・アウト」ヲスルト云フヤウナ方向ニ行カナケレバナラナイモノダト云フ風ナ氣ガスルノデアリマス、ソレニ付キマシテ、今ノ此ノ産業ノ民主化ニ關シマシテハ政府御當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(吉田三郎君) 今後ノ此ノ法律ノ狙ヒト居リマス所ハ、第一條ニモアリマスヤウニ産業全般ノ回復、振興、復興ト云フコトデゴザイマス、從ヒマシテ、苟モ基礎の産業ト云フモノニ先ヅ重點ヲ置キマシテ、是ガ間復致シマヒス時ハ、一般ノ國民ノ消費財ト云フモノノ生産ハ起ツテ參ラス譯デアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、急速ニ産業ノ回復ヲ圖リマス爲ニハ、重點のニ能率ノ宜シイモノニ資材ヲ分ケテ行ツテ、サウシテ生産財ノ増産ヲ圖ツテ行クト云フコトガ狙ヒノ一ツデアラウト思ヒマス、從ヒマシテ産業團體等ニ於テ資材ヲ分ケテ載ク譯デアリマスガ、サウ云フ場合ニハ、矢張り能率ト云フモノヲ御話ノヤウニ考ヘマシテ、一番能率ノ好イ工場、又製品ノ品質ノ良イ工場ト云フモノニ資材ガ餘計ニ參リマシヤウナ割當基準ト

云フモノヲ作ツテ戴キタイト考ヘテ居リマス、民主的の割當ヲスル譯デゴザイマスケレドモ、割當ノ基準ハ、飽ク迄經濟安定本部總裁ガ決メタ方策ニ依ツテ、最も能率好ク資材ヲ使フト云フ所ヘ資材ヲ流シヤウナ矢張り基準ト云フモノヲ作ツテ戴キマシテ、其ノ基準ヲ構成員ノ議決ニ依ツテ決メテ戴イテ各團體デ分ケテ戴ク、斯ウ云フコトニナルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、同業者ガ良イモノヲ的確ニ流スト云フコトハ、御話ノ通り、サウ云フ機能ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、唯此ノ法律ノ施行シテ居リマスル期間デアリマスルコ、一年間ト云フ程度ノモノニ於キマシテハ、物資ノ需給ト云フモノハ、依然逼迫シタ狀況デゴザイマセウシ、事業者モサウ云フ良イ所ヲ活躍サセル爲ニハ、他ノモノヘノ資材ノ供給モナカク、困難ドラウト思ヒマスノデ、此ノ法律ト致シマシテハ、サウ云フ風ナ程度デ産業團體、同業者ノ方ノ組織サレテ居リマス産業團體、其處デ能率の割當ヲ行ヒ、能率ノ好イ所ヘ出スト云フヤウナ割當基準ヲ作ツテ行クト云フコトデ、能率ノ好イ工場ヲ伸バシテ行ツテ、サウシテ増産ヲ圖ルト云フコトニ重點ヲ置イテ居リマシテ、同業機能ノ復活ト云フコトニ付キマシテハ別途考ヘテ行カナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、只今ノ配給協議會ト云フヤウナ程度デアマ復興シテ行ツテ、此ノ法律ノ施行ノ終ル頃ニハ、

逐次増産モ或程度出來ルコトト思ヒマスノデ、事業者ノ活動ノ範圍モ擴メテ行クト、斯ウ云フコトニシタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵田中龍夫君 戰時中企畫院ガアリマシテ、團體令ガ出來マシタ場合ニ矢張り同ジヤウナコトガ言ハレタノデアリマス、結局ソレガ戰時中ハ先程來申シマシヤウニ、特ニ軍需工業ヲ振興シテ、民需ヲ抑制シナケレバナラヌ又軍ノ作戰用兵ノ秘密ガアルカラシナドウシテモ官ノ割當ガ必要デアリマシテ、其ノ爲ニ工業組合ガ中心ノ割當ノ機構ガ出來上ツタノデアリマス、其ノ時ニ、矢張り能率ノ問題ガ主トシテ起ツタ際ニ、ソレヲ補フ手段ト致シマシテ、結局最初ハ統制官廳ニ「フェーラ・システム」デ、絕對ノ權能ヲ與ヘテ行ク、サウシテ同業者ノ中カラ選バレタ者ガ、利害ヲ超越シテ余下ノ「メンバー」ニ對シテ資材割當ヲヤツテ行ク、斯ウ云フヤウナ方法ヲヤツタト思ヒマスガ、其ノ際ニ結局「フェーラ・システム」ヨ執ツテモ、矢張り其ノ同業團體ト云フモノハ、職員其ノ他全部ノ給與ハ協議會カラ出テ居ルカ何トカ云フコトデ、高能率ヲ發揮シ得ナイデ了ツタノデアリマス、處方就中終戦ニナリマシテカラ、今日此處ニ本法ニアリマスヤウナ合議制ヲ採ツテ行クヤウナ場合デアリマス、其ノ面ガ更ニ強クナツテ、結局同業團體ハ高能率ノ重點化ガ出來ナイト云フ風ナ懸念

ガスルノデアリマス、尙工場別ノ割當ノ場合ニハ、其ノ程度デ宜イカモ知レマセスガ、今後陸海軍ニ居リマシタ優秀ナ技術者ガ、矢張りサウ云ツタ小サナ中小工業ノ會社工場ニ入ルヤウニナリマス、サウスルト工場單位デハ分ラナイ、結局何々會社ノ「オイル・ポンプ」ハ良イノダトカ、ドノ會社ノ「ダイヤ・グラフ」ハ良イノダト云フヤウナコトニナツテ來ルデハナイカト思ヒマス、サウシタ場合ニ、誰ガ重點のナ配當ヲスルカト云フコトニナリマシテ具體的のニ考ヘマシタ場合ニハ、殆ド甲乙ガナイト云フヤウナ結果ニナルノデヤナイカ、結局産業ノ民主化ハ、前ノ戰時中ノ統制會ヨリモ、モツト合議制ヲ採ルダケニ重點化ガ出來ナイト云フ結果ニナルト思ヒマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○政府委員(吉田三郎君) 此ノ第二條ニハ民主的の組織サレタト云フコトガ書イテゴザイマス爲ニ、合議制ニナルコトハ仰セノ通りデアリマス、構成員ノ議決ニ依ツテ基準ヲ決メマシテ割當ヲスル譯デアリマスカラ、構成員ノ方ノ御同意ヲ得ナケレバ、能率本位ノ割當ト云フコトハ出來ナイ譯デアリマスガ、併シナガラ總動員法ガ施行サレテ居リマシタ時代ト、今日ノコトヲ考ヘマス、斯ウ云フコトガ多少違フデハナイカト思ヒマス、過去ニ於ケル統制ト云フモノハ物資ガジリ貧ニナツテ行シタ時代ノ統制デアリマシテ、若

千「ボート」に取ツテ、ソレヲ優秀ナル工場ニ割當テヨウトシマシテモ、割當會議ヲ開ク度ニ資材ガ減ツテ參リマシテ、サウ云フコトヲ開ク餘裕ガナカツタノデス、今日ハ非常ニ少イモノデハアリマス、是ガ因トナリマシテ、是カラ恐ク仲ビテ行ク統制デアルト思ヒマス、從ツテ毎期々々、若干ゾノ餘裕ヲ生ズルデハナイカト思ヒマス、其ノ餘裕ノアリマス物ノ中ノ若干ヲ「ボート」ニ取ツテ行キマシテ能率ノ良イモノニ分ケテ行クト云フ形ヲ取リマスノデ、多勢ノ方ノ解釋デハアリマス、其ノ處ニ過去ヨリモヤリ易イヤウナ情勢ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ノミナラズ、經濟安定本部デ數字ナドノ基礎的ナモノヲ定メル譯デアリマシテ、日本ノ經濟ガドウ云フ風ニ行クベキカト云フヤウナコトハ、從來ノヤウニ總テ秘密ニ隠サレタ時代トハ違ヒマシテ、我が國經濟ノ建テ直リニ關シテノ色々ナ數字ト云フモノハ、時々刻々公表サレルノデアリマスカラ、前ノ指導者原理ノ時代ヨリ能ク理解セラレテ、サウ云フ物ヲ保留スル、良イ工場ニ對スル特別ナル資材ノ枠ヲ保留スルコトガ出來ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

ガスルノデアリマス、デ、終戦後各色ナ統制機關ガ、或ハ解散セラレタモノガアリマス、又或ハ業務ヲ止メテ居リマスモノモアルカト思フノデアリマス、其ノレドモ、今度新シク組織サレタ民主的ナ團體ト申シマシテモ、結局矢張り元ノ組合ナリ何ナリガ、活用サレザルヲ得ナイデヤナイカト思ヒマス、殊ニ其ノ從來ノ組合ノ終戦後ノ色ナ業績ニ付キマシテハ、再ビ相當ナ割當ノ權利ト云フヤウナモノヲ持ツテ參ルト云フコトハ、非常ニ色々ナ問題デ危懼サレル點ガナキニシモ非ズデアリマス、其ノ問題ハ別トシマシテモ、今ノ新ラシイ統制ヲ御考ニナツテ居ラレマスモノハ、今迄ノ統制トドウ云フ點ニ相違ガアリマス、承リタイノデアリマス

○政府委員(吉田三郎君) 從來ノ統制ト今後ノ統制ト、根本的ニ違ヒマス點ハ、從來ノ總テヲ戰力化スルコトニ集中シテ居ツタ統制デアリマス、無理デアラウガ何デアラウガ、兎ニ角ヤリ遂ゲナケレバナラヌト云フ、切羽詰ツタモノデアリマシタガ、今後目標ハソレゾレノ産業ニ付テ立アラレノデアリマス、恐ク經濟安定本部ガ今後數箇月後ニ於キマシテハ、重要産業ニ付テハ、大體ノ基礎的ナ計畫ヲ御建テニナルト思ヒマス、サウナリマス、其ノ目的ヲ達成サレル爲ニ、斯ウ云フコトヲヤルノダト云フコトガ明カニナル譯デアリマシテ、之ヲ受ケテ立チマスル産業團體モ、其ノ目標ガハツキリ與ヘラレマスノデ、ソレニ合フヤウニ協力ヲ願ヘルト考ヘテ居リマス、從來ノ閣雲ノ統制ト事變リマシテ、此處迄到達スベキモノデアルト云フコトガ明カニサレ、ソレニ配スルニ色々ナ業務、金融等、總テ同ジヤウニ計畫ヲ建直シマシテ、秘密ハ今後ナイ譯デアリマスカラ、公開サレテ行ク譯デゴザイマスカラ、恐ク從來ト違ヒ、明瞭ニ統制ノ内容ガ分ツテ協力シテ戰ケルコトニナルノデヤナイカト思ヒマス

○委員(男爵古市六三君) 田中委員ニチヨツト申上ゲマスガ、只今、川上委員ノ御請求ニ依ツテ、山林局長ガ御見エデスガ、午後二外ニ御用ガゴザイマスノデ、出來マスレバチヨツト、川上委員ニ先ヘ御願ヒ致シタイノデスガ

○男爵田中龍夫君 私人方ハ是デ中斷致シマス

○川上嘉市君 木材ハ從來、日本社、縣本社デ統制サレテ居ツタノデアリマスガ、兎角聯繫ガ十分デナク木材ハ出廻ラナイ、其ノ爲ニ建築モ思フヤウニ行カナイト云フヤウナ狀況ニアツタノデアリマスガ、今度此處ニ矢張り物調法ニ木材ガ人ツテ居リマス、今後ドンナ組織ヲ以テ、ドンナ方法ニ依ツテ木材ガ統制サレマスガ、又本年度ハ非常ニ澤山ノ需要ガ、荷造材等ガ殖エテ居リマスガ、ドンナ見透シヲ以テ御ヤリニナリマスガ

○政府委員(中尾勇君) 木材ノ統制ノ法案ニ付キマシテハ、林業會法案ヲ只今衆議院デ御審議願ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ内容ハ木材統制法ノ廢止並ニ日本木材會社及地方木材會社ヲ今回廢止致シマシテ、ソレニ代ルベキ實績統制機關ト致シマシテ、中央ニ日本林業會ヲ設ケルコトニ致シテ居リマス、尙其ノ下部機構ト致シマシテ、都道府縣ニ都道府縣ノ林業會ヲ構成スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙都道府縣ノ林業會ノ下部機構ト致シマシテハ、只今出來テ居リマス縣ノ森林組合聯合會ト、木材關係業者デ新タニ林産組合ト云フモノヲ作リマシテ、此ノ林産組合ト縣森林組合聯合會トヲ以テマシテ、都道府縣ノ林業會ト云フモノヲ作ルノデアリマス、更ニ其ノ下部機構ト致シマシテハ、縣森林組合ノ方ニハ森林組合ガアリマス、又林産組合ノ方ニハ地區別ニ林産組合ヲ結成スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、統制ノ法規則致シマシテハ、割當ノ方ハ總括的ノ割當ヲ經濟安定本部デ致サレマシテ、ソレヲ先刻申上ゲマシタ日本林業會ノ方ニ諮問致シマシテ、日本林業會デ木材ノ需給計畫ヲ建テマシテ、農林省ノ許可ヲ得マシテ、都道府縣ノ林業會ニ指示ヲ致シマス、都道府縣ノ林業會ハ更ニ農林省ノ指示ニ基キマシテ、今ノ日本林業會ノ指示ニ基キマシテ、更ニ細カク割當ヲ致スノデアリマス、都道府縣ノ林業會ニ於キマシテハ、更ニ

ニ傘下ノ組合並ニ組合員ニ、生産ト配給ノ割當ヲ致スコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、尙其ノ現物ノ需給ノ方式デアリマスガ、現物ノ取引關係ハ只今申シマシタ配給割當ガ決定致シマシタ場合ニ、其ノ配給割當ノ範圍内ニ於キマシテ切符ヲ發行致シマシテ、其ノ切符ニ依リマシテ取引ヲスルコトニ致シテ居リマス、例ヘバ東京都ノ林業會ニ於キマシテ、集荷ノ割當ヲ受ケマシタ業者ガ、生産縣ノ方ノ、例ヘバ秋田ノ方ト取引ヲスル場合ニ、秋田ノ方デハ供出ノ割當ヲ各業者ニ致シテ居リマシテ、集荷ノ割當ヲ受ケタ業者ガ秋田ノ方ニ參リマシテ、秋田ノ林業會ニ、其ノ割當證ニ依リ秋田ノ林業會ノ認證ヲ得マシテ、サウシテ供出ノ割當ヲ受ケタ秋田ノ組合員ト直接取引ヲスルト云フヤウナ、行キ方ニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、尙縣内ノ生産ノモノデアリマスレバ、其ノ割當ノ切符ヲ貰ヒマシタ業者ガ、直接林業會ノ承認ヲ得マシテ、サウシテ縣内ノ生産ヲ致シテ居リマス、組合員カラ直接取引ヲスルト云フヤウナ行キ方ニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ、大體ノ木材ノ取引ハ、以上申上ゲタヤウナ事情ニアルノデアリマス、大體本年度ノ木材ノ見透シニ付テ御考ガアツタノデアリマス、本年度ノ木材ノ生産目標ハ、七千五百萬石ヲ目標ト致シマシテ、只今生産確保ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、第一四半期ノ

實績ハ、大體前年度同期ノ七十四「パーセント」程度ノ實績ヲ示シテ居リマス、數量デ申上ゲマス、一千四百萬石程度ノ生産ヲ確保シタノデアリマス、然ルニ此ノ七月以降、食糧ノ逼迫ノ爲ニ生産モト向キニナリマシテ、相當心配ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、大體只今ノ見透シニ於キマシテハ、六千五百萬石程度ガ確保出來ルデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ一方需要ノ方ハ、御承知ノ通り、最近賠償物資ノ包裝用材等ノ需要モ出テ參リマシタシ、且復興用材ト致シマシテモ、千二百萬石程度ノ數量ヲ必要ト致シマスシ、更ニ又進駐軍ノ宿舍用材、兵舎用材ト致シマシテモ、約一千萬石以上ノ需要ガアル實情ニアリノデアリマシテ、此ノ供給ニ付キマシテハ、政府當局ト致シマシテモ、非常ニ憂慮致シテ居ル次第デアリマスガ、幸ニ只今ノ處ニ於キマシテハ、進駐軍用材ノ宿舍用材、ソレカラ兵舎用材、是ハ大體此ノ九月末ガ期限ニナツテ居リマスガ、大部分完納シ得ル見込デアリマス、尙復興用材ニ付キマシテモ、第一四半期ハ大體七十二「パーセント」程度ノ實績ヲ收メテ居ルノデアリマスガ、是モ豫定致シマシタ數量ハ、年度末迄ニ大體完納ノ見込ガアルノデアリマス、併シ今御質問ニナリマシタ賠償物資ノ包裝用材ノ方ハ、マダ商工省ノ方カラ正式ニ細カイ交渉モアツテ居リマセシ、只今ノ處、計畫モ

立ツテ居ナイ實情「アルノデアリマスルガ、是ハ大體千六百萬石程度ノ二箇年間ニ所要スルト云フ御話モ聞イテ居リマスシ、今年度ノ所要量ハドレ位ニナリマスカ、ハツキリ致シマセヌガ、大體此ノ方面ノ供給ハ出來ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○川上嘉市君 輸入材ヲ御使ヒニナルヤウナ計畫、或ハ見込ハアリマセヌデセウカ、此ノ點ト、ソレカラ木材ノ今後ノ價格デアリマス、實ヲ申シマス、今日既ニ「アルノ價格デハ、殆ド家モ建テルコトモ出來ナイシ、又木工製品ヲ造ツテモ、賣レナイヤウナ價格ニナリツツアルノデアリマス、此ノ價格ヲ今後御下ゲニナルヤウナ御計畫デアルカ、或ハ見透シニ付テ御尋ネ申シタイ思ヒマス

○政府委員(中尾君) 價格ノ方ノ問題ハ、只今物價廳ノ方デ御審議願ツテ居リマスルノデ、私ノ方カラハツキリ御答ヘスルコトハ出來ナイノデアリマス、今一ツハ

○川上嘉市君 輸入材デス

○政府委員(中尾君) 輸入材ノ件ニ付キマシテハ、本年ノ十二月迄ニ約百五十萬石、更ニ來年ノ一月カラ十二月迄ニ二百萬石程度ヲ只今輸入シテ戰クヤウニ懇請中デアリマス

○川上嘉市君 ソレハ見込ガアリマシデスカ、御見込ハ如何デスカ、申出シタダケデスカ、或ハ相當見込ガアリサウデスカ

○政府委員(中尾君) マダ只今ノ所ハツキリシタ何ハ分リマセヌ

○川上嘉市君 別ニ了解ガアツテオヤリニナツタ譯デモナイデスカ

○政府委員(中尾君) サウデアリマセヌ

○川上嘉市君 サウデアリマセヌカ、有難ウゴザイマシタ

○委員長(男爵古市六三君) ソレデハ是デ休憩致シマス、午後一時ヨリ開會致シマス

午後一時五十九分休憩

午後一時三十分開會

○委員長(男爵古市六三君) 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○政府委員(鈴木重郎君) 御質問ノデザイマシタ「フィルム」ニ關スル概況ヲ御説明申上ゲマス「フィルム」ニ付キマシテハ、是ノ「メーカー」ハ大體二社デゴザイマシテ、戰前ト同様デゴザイマス、是ノ大體ノ生産能力ト致シマシテハ、之ヲ分ケテ申上ゲマス、所謂映畫用ノ「フィルム」ト、其ノ他普通ノ「フィルム」、或ハ「エツキス」光線ノ「フィルム」ト云フヤウニ分レテ居ルデゴザイマスガ、此ノ兩者ヲ併セマシテ、現在ノ生産能力ト致シマシテハ、映畫用ノ「フィルム」ニ致シマシテ申上ゲマスルト、約八百十萬「フィルム」ノ生産能力デゴザイマス、ソレカラ「エツキス・レイ・フィルム」、「ロイル・フィルム」ト云ツタヤウナ、其ノ他ノ「フィルム」ノヲ申上ゲマス、

約十萬平方「メートル」ノ生産能力ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ生産ニ付キマシテハ、現在「ジイ・エイチ・キエウ」ノ民間情報教育部ノ方ノ指示ニ依リマシテ、其ノ生産ヲ致シテ居ルノデアザイマスガ、大體今日迄ノ處、毎月向フノ指圖通りノ生産實績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、大體其ノ生産ノ實績ヲ申上ゲマスルト、普通ノ映畫用「フィルム」ニ付テ申上ゲマスレバ、三百六十萬「フィルム」、其ノ他ノ一般「フィルム」ト致シマシテハ、三萬平方「メートル」ニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、操業率デ申上ゲマスルト、大體現在ノ所デハ、約四割ト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマス、在庫量ノ現在ハ大體一箇月分程度ノ在庫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ヲ需要ノ方面カラ考ヘテ見マス、無論正確ニ申上ゲマスト相當ニ多イカト存ジマスガ、我々ノ方ノ生産ヲ擔當致シテ居リマス者ト致シマシテ、大體此ノ程度ガ最少限度デハナカラウカ、所謂推定シテ居リマスル需要量デ申上ゲマスレバ、映畫用「フィルム」デハ約六百萬「フィルム」、其ノ他ノ「フィルム」デハ五萬平方「メートル」ト云ツタヤウナノガ大體各方面ノ御要求ヲ入レマスレバ、此ノ程度デハナカラウカト存ゼラレルノデゴザイマス、唯、今日今申上ゲタヤウナ司令部ノ指示ガゴザイマスルノデ、其ノ限度ニ現在ハ生産ヲ續ケテ居ルノデゴザイマス、其ノ配給ニ付キマシテ

モ、映畫用ノ「フィルム」ニ付キマシテハ總テ「ジイ・エイチ・キエウ」ノ民間情報教育部ノ指圖ノ通りニ從ヒマシテ此ノ二社ノ「メーカー」カラ、ソレゾレノ關係ノ映畫製作社ニ直接配給ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、其ノ他ノ「フィルム」ニ付キマシテハ、矢張り是モ亦大體司令部協同ヲ致シマシテ、現在ハ寫眞感光材料協議會斯ク云フ協議會ヲ作ツテ居リマシテ、此ノ協議會ニ於キマシテ、大體各地區別ノ卸商業組合ニ各「メーカー」カラ配給ヲ致シ、更ニ其ノ卸商業組合率下ノ各小賣業ノ組合ヲ經由致シマシテ、配給ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、唯現在ノ處デハ、此ノ大部分ノ約六、七割ハ御承知ノ進駐軍ノ所謂「ビー・エツクス」用ト致シマシテ、「ビー・エツクス」ニ納入致シテ居リマスノデ、一般民間ニハ三、四割ガ配給サレテ流レテ居ルト云フヤウナ狀況デゴザイマス、今後ノ大體ノ生産ト致シマシテモ、今申上ゲマシタヤウニ、相當ノ生産能力ヲ持ツテ居リマスノデ、關係方面ノ了解ヲ得更ニ燃料其ノ他ノ狀況サヘ緩和出來マスナラバ、相當ノ生産餘力ヲ持ツテ居ルノデアリマス、尙當富リ、チヨット今問題ニナツテ居リマスノハ、此ノ「フィルム」ノ基礎ニナリマス「セルロイド」ノ問題デゴザイマシテ、「セルロイド」ノ生産ノ基礎ノ硝化綿ノ製造工場ガ火藥ノ原料デアルト云フヤウナ關係カラ、今般賠償指定ヲ受ケタ工場ガ

相當ゴザイマシテ、今後此ノ「セルロイド」ノ生産が相當窮乏ニナルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナ豫想ガサレルノデゴザイマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、尙關係方面ト「セルロイド」生産ノ工場ノ存置方、即チ硝化綿ノ生産方ニ付キマシテ、御相談ヲ今致シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、尙之ニ關聯致シマシテ、チョット價格ノ點ヲ申上ゲテ置キタイト存ズルノデアリマスガ、此ノ「フィルム」ノ價格ニ付キマシテハ、現在迄相當ノ物品稅ガ賦課サレテ居リマシテ、相當高價ニ附イテ居ルノデアリマス、今般ノ稅制改革ニ依リマシテ、多少ノ引下ハ見タノデゴザイマスガ、尙相當額十割ト云フ風ニ今回改正サレタノデスガ、從來ハ十二割ノ物品稅ガ附イテ居リマシタノデ、相當ニ消費者負擔ハ稅負擔ノ關係デ可ナリ高價ニ相成ツテ居リマス、唯今般映畫用「フィルム」ノ中デ、「ニュース」映畫用ノモノニ付キマシテハ、特ニ免稅ノ手續ガ今年ノ八月執ラレマシタノデ、此ノ方面ハ、「ニュース」用「フィルム」ニ付テハ、免稅ニ相成リマシタコトヲ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙、次ハ「ラヂオ」受信機並ニ眞空管ノ御質疑ニ對シマシテ御答ヲ致シタイト存ズルノデアリマス「ラヂオ」ノ「メーカー」ト致シマシテハ、是モ部分品ナリ或ハ小サイ「メーカー」ヲ人レマスト、相當ニ多數ニ相成ルノデゴザイマスガ、先ヅ相當ナ

ル、所謂「ラヂオ」組合ニ單獨加入ヲ致シテ居リマスヤウナ主要「メーカー」デケテ申シマスト、現在約三十五社ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、此ノ「メーカー」ノ生産能力ト致シマシテハ、從來ノ戰時中、其ノ他ニ於テ、最高生産ヲ擧ゲマシタノハ、約年間百二十萬臺位ノ生産ヲ擧ゲテ居タノデゴザイマス、現在ノ處ハ約其ノ四分ノ一程度ノ生産ニ相成ツテ居ルノデアリマス、大體、一四半期十五萬乃至十六萬ノ生産ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ「ラヂオ」ノ配給ニ付キマシテハ、現在ノ處、全部各社デ出來マシタ「ラヂオ・セツト」ヲ「ラヂオ」配給株式會社ト云フ、統制會社ガゴザイマシテ此ノ會社ガ現在一手ニ買取ツテ居ル譯デゴザイマス、此ノ「ラヂオ」配給會社カラ、各府縣ニ「ラヂオ」配給組合ガゴザイマシテ、中央ニ於テ適當ノ協議會ヲ開キマシテ、放送協會トカ、逓信省トカ、或ハ其ノ他ノ事業團體ヲ含メマシタ配給協議會ニ依リマシテ、各府縣別ノ大體ノ適當ヲ致シマシテ、其ノ適當ニ基キマシテ、「ラヂオ」配給會社ガ買取ツタモノヲ順次各府縣ノ配給組合ニ配給ヲ申シマシテ、其ノ配給組合ノ傘下ニアリマス各販賣店ガソレゾレ需要者ニ配給スル、斯ウ云フ風ナ徑路ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、今日ノ「ラヂオ・セツト」トシテ、相當聯合軍方面カラ、大體ニ於テ余世帯ノ少クトモ約半數ハ「ラヂオ・セツト」

ヲ備ヘ附ケルト云フヤウナ風ナ指示モゴザイマシテ、出來得ル限リ此ノ増産ニ努メテ居ルノデゴザイマスルガ、現在一番ノ隘路ト相成ツテ居リマスルハ、寧ろ「ラヂオ・セツト」ニ附ケル眞空管ノ球ノ生産ニアルノデゴザイマス從ヒマシテ、今日球ノナイ「セツト」ガ相當ニ手持ニナツテ居リマシテ、在庫ト致シマシテ約十萬臺ノ球ナシ「セツト」ガ今日出來テ居ル狀況デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ極力眞空管ノ生産ヲ促進致シマシテ、之ヲ完全ナモノトシテ配給スルヤウニ努力中デゴザイマス、次ニハ眞空管ノ生産狀況ヲ申上ゲタイト存ジマスルガ、眞空管ノ「メーカー」ト致シマシテハ、約十四社程アルノデゴザイマス、此ノ中御承知ノ東京芝浦電氣ガ大部分、約生産額合ニ致シマスルト、七割乃至八割ハ此ノ東京芝浦電氣ガ供給ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ他ノ各社ハ比較的小サナ「メーカー」デアル譯デゴザイマス、戰前ニ於キマスル大體ノ生産實績カラ申シマスルト、年間約十萬箇位ノ眞空管ヲ造ツテ居タノデゴザイマス其ノ中約半數ガ此ノ「ラヂオ」ノ「セツト」ニ附ケルモノデゴザイマシテ、サウ云フ風ニ新ラシイ「セツト」用トシテ配給ヲ致シタノデゴザイマス、後半數ハ所謂普通ノ一般「ラヂオ」聽取者ノ補修用ト致シマシテ、眞空管トシテ各「ラヂオ」店ニ配給ヲ致シテ居タヤウナ狀況デゴザイマス、今日ノ處

デハ、今申上ゲマシタヤウニ、成ルベク「ラヂオ・セツト」ヲ普及サセルヤウナ意味ニ於キマシテ、出來得ル限リ新シイ「セツト」用ト致シマシテ、配給ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、補修用ノ方ノ眞空管トシテハ、約二割程度ヲ配給ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、現在ノ生産實績ヲ申上ゲマスルト、本年度ノ四月、六月ニ出來マシタ眞空管ハ五十二萬八千デゴザイマス、ソレカラ七月カラ九月ニ出來タモノガ七十一萬一千デゴザイマス、大體サウ云フ狀況デゴザイマシテ、今年ノ大體ノ見込ト致シマシテハ三百七、八十萬箇ヲ生産致シタイト、斯ウ云フ大體目論見デ現在作業ヲ進メテ居ルノデゴザイマス眞空管ノ在庫ハ從ヒマシテ、出來マスルト順次新ラシイ「ラヂオ」ニ附ケテ配給スルナリ、或ハ直チニ下部ノ「ラヂオ」取扱店ノ方ニ配給ヲ致シテ居リマスルノデ、眞空管其ノモノ「メーカー」在庫ト云フモノハ、所謂其ノ日其ノ日ニ出來テ來ルモノガ多少アルト云フコトデ、特に在庫トシテ申上ゲル程ノ數字ハナイヤウデアリマス、眞空管ノ増産ヲ飽ク迄圖ラネバナラナイノデゴザイマスガ、今日相當ノ能力ハアリナガラモ、尙思ハシク生産ガ進ミマセヌ譯ハ、矢張り根本的ニハ石炭問題デアルノデアリマス、是等モ關係方面ト相談ヲ致シマシテ、出來得ル限リ資材ノ配當ヲ御考慮ヒマシテ、此ノ眞空管ノ増産ニ當ルヤウニ致シタイト考

ヘテ居ルノデゴザイマス、尙特別ノ眞空管、特に國際放送、或ハ「ラヂオ」放送用ノ眞空管等ニ付キマシテハ、現在ノ處特ニ不足ハナイヤウナ狀況デゴザイマス、是ハ無論箇數ニ致シマシテ、サウ大シタ數量デハゴザイマセヌノデ、極ク全體ノ生産ノ中ノ精々二三パーセントノ數量デゴザイマシテ、是ハ孰レモ其ノ注文ニ應ジマシテ造ツテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、是モ大部分ハ東京芝浦電氣ガ製作ヲ致シテ居リマシテ、國際通信ノ關係ナリ放送協會ノ關係ノモノハ、現在此ノ大型眞空管ニ付キマシテハ、大體充足ヲ致シテ居ル狀況デゴザイマス、大體以上デゴザイマス

○政府委員(松田太郎君) 紙ノ問題ニ付キマシテ生産狀況、或ハ在庫狀況、其ノ他配給機構等ノ問題ニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタサウデアリマスルガ、紙ノ問題ニ付キマシテハ、全般的ニ申シマスナラバ、御承知ノヤウニ樺太ノ喪失等ノ關係カラ致シマシテ、供給ハ約四割ノ減リ方ニナツテ居ル譯デアリマスルガ、併シナガラ何ト申シマシテモ、言論ノ自由ト申シマスルカ、所謂文化方面ニ寄與スル上カラ申シマシテモ、ソレカラ又教育方面ノ教科書、或ハ「ノート」サウ云ツタヤウナ方面カラ申シマシテモ、或ハ産業關係ノ「セメント」、粉食等ノ包裝用ノ「クラフト」、其ノ他ニ致シマシテモ、孰レニ致シマシテモ、紙ノ需要ハ終戰後特ニ殖

ルバカリデアリマシテ、サウ云フ意味
デ、此ノ生産ノ狀況ニ付キマシテハ、
政府ト致シマシテモ業界ト一致協力致
シマシテ、或ハ大事ナ石炭ノ問題デア
リマストカ、或ハ「バルキー」ノ問題デ
アリマストカ云フコトニ付キマシテ、
創意工夫ヲ凝ラシテ、之ガ供給ニ努メ
テ居リマシテ結果、幸ニシテ順次生産
ハ殖エテ居ルノデアリマス、之ヲ假ニ
昨年ノ終戦當時ノ九月頃ノ生産ニ比較
シテ見マスト云フト、新聞用紙ニ付
キマシテハ、當時九月ノ生産ガ千三百
二十萬「ポンド」程ノ生産デアリマシ
タノガ、今年ノ八月ニハ約千六百萬「ポ
ンド」ノ生産ニ上ツテ居リマス、ソレ
カラ又ソレ以外ノ一般ノ用紙ニ付テ申
シマスナラバ、矢張り昨年ノ九月當時
ガ千萬「ポンド」程度デゴザイマシタ
ノガ、此ノ八月ニハ千九百八十八萬
「ポンド」ノ生産ニ上ツテ居ルノデアリ
マス、「クラフト・バルブ」ニ付テ申シ
マスナラバ、昨年ノ九月當時ガ八萬三
千「ポンド」ガ、此ノ八月ニハ百七萬九
千「ポンド」ト云フヤウニ、其ノ他和
紙ノ關係ニ付テモ、大體同ジヤウナ歩
調デ進ンデ参ツテ居ルノデアリマス併
シナガラ今申シマシタヤウニ、需要關
係ガ有ラユル方面ニ於テ非常ニ多イ爲
ニ、殆ド其ノ日暮シト申シマスカ、其
ノ月ノ暮シヲ致シテ居リマシテ、在
庫ト申シマシテモ、サ程申上ゲル程ノ
今日在庫ハナイノデアリマス、尙ソレ
ダケニ供給ガ少イ所ヘ持ツテ行ツテ、

需要ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、
之ノ配給機構ト申シマスカ、配給方法
ノ問題ニ付キマシテハ、極力善處スベ
ク考ヘテ居ルノデアリマシテ、從來ハ
總テ中央ニ紙統制會社ト云フ一ツノ統
制機關ガゴザイマシテ、其處ガ各「メ
ーカ」ノ方カラ「手」買取リマシテ
之ヲ其ノ機關ニ於キマシテ、需要先ノ
方ニ配給スルト云フ、簡單ニ申セバサ
ウ云フ形ニナツテ居タノデアリマス、
併シナガラ御承知ノヤウニ總動員法モ
今月末ヲ以テマシテ廢止ニナリマス關
係上、統制會社令ノ廢止ニ伴ツテ、今
同其ノ機會ニ從來ノ紙統制會社ト云フ
モノノ缺陷等モ十分是正スルコトニ致
シマシテ、此ノ際中央ニソレ「ノ生
産者配給業者、或ハ需要者ト云フ方々
カラ成リマスル紙配給協會ト云フモ
ノヲ作りマシテ、其處デ、ソレ「メ
ーカ」ノ方カラドレダケ出來タカ、
ドウ云フモノガ出來タカト云フモノヲ
ソレ「ノ需要面ノ要求ニ應ジマシテ
之ヲドウ云フ工合ニ配給スルカト云フ
コトニ付テノ指示ヲ其處デ致スコトニ
致シマシテ、實際ノ物ノ流レト云フモ
ノハ、從來ノ間屋ヲシ、其ノ他或ハ組合
ナリ、サウ云ツタ組織ヲソレ「各地
方ニ作ツテ貰ヒマシテ、サウ云フ方々
ノ從來ノ經驗ナリ手腕ト云フモノヲ活
カシテ貰ツテ、本當ニ欲シイモノガ欲
シイ時期ニ廻ルヤウニ、從來ノヤウナ
間流レト云フモノヲ極力之ヲ防ギ得ル
ヤウニ、サウ云ツタ本當ニ活用シ得ル

處ハ活用スル、ソレカラ又中央ニ於テ
ハ、本當ノアラ方ノ指圖ヲスルト云フ
ヤウナ形ニ致シマシテ、今後配給面ニ
付キマシテモ、極力實情ニ副フヤウニ
關等ニ流レルモノガ「ウ」デモナクナル
ヤウニ、サウ云フ方法ヲ講ジテ參リタ
イ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
簡單デゴザイマスガ、一應實情ダケヲ
御説明申上ゲマシタ
○侯爵廣瀨忠隆君 輸送ノコトニ付テ
チヨツト伺ヒタイノデスガ、配給ガ問
題ニナルノデゴザイマスガ、配給ニハ
輸送ト云フモノハ必ず伴フモノデアリ
マスガ、現状ヲ見マスト、此ノ生産ノ
基礎ニナル石炭ノ輸送ナドガ元來斯ウ
云フヤウナ「バルキー・カーゴウ」デ
總テ運バレル性質ノモノガ汽車運バ
レテ居ル、其ノ他ノモノデモ、當然船
運バレンナケレバナラヌモノガ汽車デ
運バレテ居ルモノガアルノデアリマス
ガ、其ノ實情ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス
○政府委員(長井實行君) 御答申ヲ上
ゲマス、他ニ鐵道總局ノ伊能業務局長
モ參ツテ居リマスノデ、私ノ答デ足リ
マセヌ點ハ業務局長カラ御話申上ゲ
ルコトニ致シマス、海上輸送ト陸上輸
送トノ關係ニ付キマシテ、只今御指摘
ニナリマシタヤウナ事實ガアリマスル
コトハ、私共ト致シマシテモ遺憾ニ存
ジテ居ル處デゴザイマシテ、目下色々
努力ハ致シテ居ルノデゴザイマスルガ
其ノ狀況ニ付キマシテ、少シ申述ベ

テ見タイト存ジマス、戰爭中ニ船舶ガ
非常ニ少クナリマシタ爲ニ、又海上ノ
航行ニ危險ガゴザイマシタ爲ニ、當然
船運ベキ「バルキー・カーゴウ」
等ニ付キマシテ、戰爭中ニ陸運轉移
ヲ致シマシタ譯デアリマス主ニ對象ニ
ナリマシタノハ、九州ノ石炭、或ハ北
海道ノ石炭、サウ云フヤウナモノデゴ
ザイマシタノデアリマス、例ヘテ申シ
マスレバ、北海道ノ石炭ヲ室蘭カラ京
濱ニ運ビマスルノニ、當然ハ船デ直
送致スベキモノデアアルノデゴザイマス
ガ、之ヲ汽車デ京濱迄運ビマスルトカ
或ハ石炭ヲ八戸ニ揚ゲマス、或ハ鹽釜
ニ揚ゲマスト云フヤウナ方法ヲ講ジマ
シテ、後ヲ汽車運バレル、船腹ヲ使フコ
トヲ極力少クスルト云フ方法ヲ執ツテ
參リマシタコトハ御承知ノ通りデアリ
マス、戰爭ガ終リマシタノデ、此ノ方
法ニ付キマシテモ固ヨリ舊ノ狀況ニ復
スベキ筋合ノモノデアルト存ジマスシ
殊ニ今日ノ狀況ヲ見マスト、陸運ノ關
係ニ於キマシテハ、輸送力ハマダ相當
逼迫致シマスルニ反シマシテ、海運ノ
方ニ於キマシテハ、船隻ガ相當剩ツテ
居ル、斯様ナ、謂ハバ跛行ノ現狀デア
リマスル澤デアリマスカラ、此ノ海運
貨物ヲ速カニ陸運カラ海運ニ再復歸ス
ルト云フコトハ、ドウシテモヤラナケ
レバナラス問題デアリマスルシ、陸海
ノ輸送ヲ併セ行ツテ居リマス運輸省ト
シテ當然執ラナケレバナラス方策デア
ルノデアリマス、勿論執レマスル物ニ

付キマシテハ、早速此ノ手段ヲ執リマ
シタ譯デゴザイマス、例ヘテ申上ゲマ
スレバ、先程申上ゲマシタル室蘭カラ
京濱ニ運ビマス石炭ノ如キハ、今日ニ
於キマシテハ京濱ニ船舶ヲ以テ直送ス
ルト云フ方法ヲ執ツテ居リマスシ、其
ノ外木材デゴザイマストカ、紙「バル
ブ」デゴザイマストカ、サウ云フ物ニ
付キマシテハ海運ヲ以テ運ンデ居リマ
ス、又適ニ内地ノ方面カラ北海道ノ方
ニ運ビマス食糧ニ付キマシテハ、是亦
船ヲ利用シテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀
況デアリマス、其ノ外北海道ト表日
本、裏日本トノ間ニ定期ノ航路ヲ開キ
マシテ、之ニ付キマシテ小口ノ雜貨ニ
至リマス迄、成ルベク海運ヲ利用サセ
タイ、斯ウ云フ方法ヲ執ツタノデアリ
マス、其ノ外、例ヘバ鐵道石ニ付キマ
シテモ、釜石ノ鐵道石ノ戰時中ハ直
接鐵道ニ積ンデ運ンデ居ツタノデアリ
マスガ、是等ハ船ニ大部分轉移スル方
法ガ目下行ハレテ居リマス、唯最モ開
顯ニナリマスルノハ、九州ノ石炭デゴ
ザイマス、一時八月ニ百萬「トン」ヲ
越エテ居リマシタ機帆船ニ依リマスル
九州炭ノ輸送モ、今日ニ於キマシテハ
八月ノ實績ヲ見マスト、約十六萬「ト
ン」程度ト云フ、極メテ少イ數字ニナ
ツテ居リマスルシ、汽船ニ於キマシテ
モ八萬「トン」ソコノ數字ニ相成
ツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此ノ
鐵道ノ方面ノ九州方面カラノ輸送狀況
ヲ見マスト、關門「トンネル」ヲ通

過致シマスル數量ノ中デ、石炭ガ非常ニ大キナ割合ヲ占メテ居リマシテ、其ノ爲ニ九州方面カラ參リマス食糧、肥料、雜貨サウ云フ物ガ本州向ケニ送ラルベキ輸送閉鎖サレテ居ルヤウナ狀況デアルトス様ナ工合ニ承知致シテ居ルノデゴザイマス、之ヲ私共ト致シマシテハ、石炭ヲ海運ノ方ニ轉移致シマシテ、陸運ノ方ハ、只今申上ゲマシタ如キ九州方面カラノ本州ヘ送ラレマス雜貨類ニ充テテ賣フコトガ最モ適當デアルトス様ニ考ヘマシテ、色々努力ヲ致シテ居リマスルノデゴザイマスガ、是ガ尙今日ニ於キマシテ、容易ニ實現ガ期待通り參リマセヌノデゴザイマス其ノ原因ハ色々アルト存ズルノデゴザイマスガ、第一番ハ今日ノ石炭ノ狀況殊ニ消費者側ノ手持ノ石炭狀況ガ非常ニ逼迫致シテ居ルコトデゴザイマス、船舶ヲ以テ九州カラ、或ハ阪神方面ニ運ビマスコトニナリマス、九州ニ於キマシテ船舶ニ石炭ヲ積ミマスノニ、相當ノ日數ヲ要シマスルシ、又之ガ阪神迄航海シマス日數モ、相當要スル譯デゴザイマス、處ガ、貨車デゴザイマスルト少量ノ數量ヲ速カニ消費地ニ届ケルト云フコトガ出來マスル爲ニ、今日ノヤウナ、謂ハハ其ノ日暮シノヤウナ狀況ニナリマスルト、鐵道ノ方ガビツタリ當テ候ル、船舶デハ之ヲ待ツ餘裕ガナイト云フヤウナ狀況ニゴザイマスル爲ニ今日海運ヲ利用シテ居リマスルモノハ、比較的餘裕ノアリマスル方

面ノミデアリマシテ、石炭ガ鐵道輸送ニ依存シテ居ル程度ガ今日非常ニ多イト云フ狀況デアルノデゴザイマス、此ノ點ハ、モウ少シ石炭ノ狀況ガ好轉致シマシテ、消費者側ニモウ少シ貯炭ガ出來マスルナラバ、此ノ方法ヲ斷行スルコトガ出來ルノデハナйкаト、斯様ニ存ジテ居ルノデゴザイマス、イマ一ツノ原因ト致シマシテ海陸ノ運賃ニ均衡ヲ失シテ居ル點ガアルト云フ點デゴザイマス、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、石炭ヲ九州カラ阪神ニ運ビマスル場合ニ、汽車ニ依リマスル場合ニ比較致シマスルト、汽船ノ方ガ非常ニ高クナツテ居リマス、機帆船ハ又ソレヨリモ非常ニ高クナツテ居ルト云フヤウナ狀況デゴザイマシテ、是ガ九州ノ、石炭バカリデゴザイマセヌデ、他ノ貨物ニ付キマシテモ、似タヤウナ狀況ガ割合ニ多イノデゴザイマシテ、斯ウ云フ狀況ガ陸運貨物ガ海運貨物ニ容易ニ復歸シナイ一ツノ原因ニナツテ居リマシテ、御承知ノ如ク戰爭中ノ船ガ非常ニ性質ガ惡ウゴザイマスルシ、又海上ノ航行等ノ關係、サウ云フヤウナ點カラ申シマシテ、其ノ外輸送原價ガ高ク附キマスル狀況デゴザイマスノデ、船舶ノ運賃ヲ更ニ引下ゲルト云フコトガ、非常ニ困難ナ狀況ニアルノデゴザイマスガ何カノ方法ニ依リマシテ、陸海ノ輸送費ノ調整ヲ圖ラナケレバナラス、斯様ニ存ジテ居ルノデゴザイマス、若シ鐵道ノ運賃ガ傳ヘラレマスルガ如ク、引

上ガ行ハレマスルコトニナリマスレバ、此ノ點ニ調整ガ餘程緩和サレルノデハナйка、斯様ニ存ジテ居リマス、其ノ外今日、私共海運關係ノ者ガ、荷物ヲ扱ヒマスル點ニ於キマシテ、努力ガ十分デアルカ、或ハサウ云フ組織ガ適當デアルカト云フヤウナコトニ付キマシテモ、問題ハアリ得ルト、斯様ニ存ジマスルノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ、今後十分力ヲ注ギマシテ、陸運貨物ガ本來ノ海運ノ方ニ復歸スルコトガ出來マスルヤウニ努力ヲ致シタイト、斯様ニ存ジテ居ル次第デゴザイマス、簡單デゴザイマスルガ御答ヘ申上ゲマス

○侯爵廣幡忠隆君 今伺ヒマシテ大體分リマシタガ、此ノ海運ノ運賃ノ高クナルト云フ理由デゴザイマスガ、ソレハ集荷ガ非常ニ暇ガ掛ル、ソレハ船ガ惡イカラ缺損ガ出ル、從ツテ保險料ガ高イノドト、色々原因ハアリマセウガ何ガ一體、一番ノ原因デアリマスカ

○政府委員(長井實行君) 運賃ノ一番高イノハ何デアアルカト云フ仰セノヤウデゴザイマスガ、今日一番影響致シテ居リマスルノハ、船ノ廻轉率ガ非常ニ惡イ、此ノ點ガ運賃ガ安ク計算サレナイ最モ大キナモノデアルト、斯様ニ存ジテ居ルノデゴザイマス、御承知ノ如キ船舶デゴザイマスルノデ、船自體モ非常ニ能率ガ惡ウゴザイマスルシ、又今日ニ於キマシテハ餘程緩和シテ參リマシタケレドモ、尙海上ニ航海上ノ危

險ガ殘存致シテ居リマシテ、非常ニ能率的ニ航海スルコトガ出來ナイ狀況デゴザイマス、更ニ今日ノ食糧事情カラ申シマシテ、船ガ食糧ヲ積ミマスル爲ニ、態々用ノナイ港ニ寄港シナケレバナラス、甚ダシイ時ニハ、遠廻リヲシナケレバナライ、斯様ナ狀況ノ爲ニ、船ノ航海ガ思フヤウニ行カナイ譯デアリマス、港ニ入りマシテモ、先程申シマシタ食糧事情等ノ關係カラ致シマシテ荷役ガ私共ノ期待シマスルガ如ク早クハ參ラナイ、サウ云フヤウナ爲ニ、一航海當リノ日數ガ非常ニ餘計ニ掛リマシテ、廻轉率ノ成績ガ惡イト云フ點ガ最モ運賃ガ高クナツテ居リマスル原因ノヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○侯爵廣幡忠隆君 是ハ御説ハ分リマシタガ、一ツハ船ガ惡イ爲ニ、修繕其ノ他デ以テ、働ク時間ガ非常ニ短イノデハナイデセウカ

○政府委員(長井實行君) 今日ノ船ノ働キマスル割合、航海ノ割合等ヲ數字的ニ申上ゲテ見マスルト、侯爵ハ最モ能ク御承知ノ通り、今日迄ハ船ハ一年ノ間ニ十一箇月働キ、一月ハ休ンデ居ルト云フコトヲ私共、常識トシテ思ツテ居ツタノデゴザイマスガ、今日ノ私共ノ計算ノ基礎ニ致シマスルノハ、一年ノ内六割五分程度ノ日數シカ隊ガナイ、三割五分程度ハ修繕ニ入ツテ居ルト、斯ウ云フヤウナ工合ニ考ヘテ居リマス、大體把ニ申シマスルト、八月位シカ隊ガナイ、四月ハ「ドック」、其ノ

他ノ小修理ノ爲ニ休ンデ居ル、斯様ナ工合ノ數字ニ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ一月當リノ航海ノ數デゴザイマスガ、色々考ヘ方モアルカト思ヒマスルガ、今日ニ於キマシテハ、一月ニ大體一・二航海位ノ程度ノ航海シカシテ居ナイノデヤナイイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○侯爵廣幡忠隆君 大體分リマシタノデスガ、將來ノ計算其ノ他ノ點ニ付テ考ヘマス、海運ノ運賃ト云フモノハ陸運ノ運賃トノ關係カラ考ヘマシテモモウ少シ差ガナケレバナライノデヤナイイカ、先程政府委員ノ御説明デ鐵道運賃ガ上レバ海運ト「バランス」ガ取レルノデヤナイイカト仰セラレマシタガ、サウデナクテ、寧ろ海運ノ運賃ヲ下ゲテ掛ラナケレバナライノデヤナイイカト思ヒマスガ、其ノ點ニ對スル政府ノ御見解ハドウナンデアリマスカ

○政府委員(長井實行君) 仰セノ如ク海運運賃ハ陸運ト比較致シマシテ、石炭等ノ如キモノニ付キマシテハ、遙カニ安ク附カネバナラスモノデアルト、斯様ニ存ジテ居ル譯デアリマス、海運ノ運賃ヲ引下ゲルニ付キマシテハ、私共ノ方ト致シマシテモ努力ハ致シテ居ルノデゴザイマスガ、今日ニ於キマシテハ、例ヘバ汽船ニ付テ申上ゲマスルト、船舶運賃會社相當ノ帳尻補助金ヲ貰ヒマシテ、ソレデヤツト、ヤツテ居ル程度デゴザイマシテ、今日ノ狀況カラ申シマスルト、船運賃ヲ是以上下ゲ

ルト云フコトハ、チヨット困難ナ狀況ニアル譯デアリマス、尙、先程來申上デマシタ陸送ノ場合ト海送ノ場合トヲ比ベマシテ、海送ノ方が餘計ニ掛ツテ居ルト、斯様ニ申上デマシタノハ、單ニ鐵道ソレ自體ノ運賃ト船舶ソレ自體ノ運賃ト比較デハナイノデゴザイマシテ、積込地及ビ揚地ニ於キマスル兩端ノ費用追加ヘマシタ場合ニ於キマシテ、海陸ノ相違ガ相當ニアルト、斯様ナ意味デゴザイマシテ、サウ云フ點カラ申シマスルト、單リ汽船、又ハ機帆船ノ運賃デケデゴザイマセデ、港ニ於キマスル荷役賃等ニ付キマシテモ、調整ヲ圖ラナケレバ、海陸ノ間ノ輸送費ノ調整ト云フコトガ出來ナイ次第デゴザイマス、此ノ點ハ、本船ノ側ト兩端ノ荷役ヲヤリマスル側ト、共ニ一緒ニナリマシテ「コスト」ヲ更ニ下ゲテ行クト云フコトニ努力致サナケレバナラヌ次第デアルト、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○僕等廣く忠告 私人質問ハ是デ打切りマスガ、ドウゾ陸運ト海運ノ輸送ノ關係ヲ調整シテ、本道ニ歸ルヤウニ御努力願ヒタイト思ヒマス

○長岡平太郎君 先ニ「ラデオ」ノ御報告ガアリマシタガ、チヨット承リタイノハ、此ノ「ラデオ」ノ「バルブ」ハ相當出掛リッ、アルト云フコトハ、誠ニ喜バシイコトデアリマスルケレドモ、ドウモ多クノ人ノ批評ニ依ルト、「ラデオ・バルブ」ト云フモノハ、近頃、大分戰前ト比ベテ質ガ惡クナツテ不同ナヤツガ澤山アル、之ヲドウモ是正シテ質ハナケレバ工合ガ惡イガト云フ話ガアリマス、是ハ私モ同感デアリマスルガ、何カ其處ニ手ヲ抜クトカ、或ハ材料ガ惡クナツタト云フヤウナコトヲ御突止メニナツテ居ルコトデヤナカラウカト思ハレマス、無論「アメリカ」ノ「レイデオ・コーパレーショ」ノ球ダトカ、或ハ「フイリツプス」ノ球デアルトカ云フモノニ比ベルト落チルコトハ、前カラ我々知ツテ居ツタノデスケレドモ、戰時中ニ於テ、既ニ軍用ニ供セラレルモノデモ、酷ク違ヒガアツテ、或ハ三十ノ「バルブ」ノ中ニ一ツシカ役ニ立ツモノガナイト云ツタヤウナ批評迄蒙ツタノデアリマスケレドモ、其ノ弊害ガ今日モ、平和ニナツテ持續シテ居ル結果デヤナカラウカト思ハレマス、兎ニ角、技術モ向上シ、又材料モ向上シ「ユニフォーム」ナ、均一ノ球ヲ拵ヘテ賣ルヤウニ御努力ヲ一ツ御願ヒシタイト思ヒマス、此ノ點ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 工務局長ガ今居リマセヌカラ、後程御答ヘ申上ゲマス、一番大キナ原因ハ、材料ノ點ガ大キイ原因ニナツテ居ルト思ヒマス最近ノ低下ノ内容ハ、何レ是ハ、詳細ハ工務局長カラ御返事ヲ申上ゲマス

○河崎作兵衛君 電壓ガ非常ニ下ツテ居ルノデ、眞空管ガ働カヌト云フコトニナツテ居ル所ガ、市内ニ多クアリマ

ス、燃料モナイモノデスカラ、電熱器ヲ使フト云フヤウナコトガドウシテモ大キナナルト思ヒマスガ、唯眞空管ヲ増産スルデケデナク、電氣方面ニ十分ノ御注意ヲ願ヒタイト思ツテ居リマスコトヲ希望デケ...

○委員長(男爵古市六三君) 田中委員午前ニ引續イテ御質問ヲ願ヒマス

○男爵田中龍夫君 先程來、詳細ナ政府當局ノ御説明ヲ承リマシタガ、本法ガ終戰前ノ統制ト變ツテ、非常ニ民主化サレタト云フノガ、改正ノ御趣旨ダラウト思フノデアリマスガ、大體戰前ノ統制ニ對シマスル色々ナ非難ナリ、問題ハ、所謂最高ノ國家計畫ノ點ニアリマセヌデ、寧ろ現實ノ末端ノ配給上ノ問題ニ基因スルモノガ多イノデヤナイカト思ヒマス、ソレデ此ノ新ラシイ今回ノ統制ガ、終戰前ノ統制トハ客觀情勢モ非常ニ變ツテ居ルト思フノデアリマスガ、今回ノ此ノ物資需給調整法ニ基キマシテナサイマス統制ガ、今迄ノ統制トドウ云フ點ニ違ヒガアリマスカ、承リタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 戰時中ノ國家總動員法ノ下ニヤツテ居リマシタ所謂戰時統制ト云フモノ、是ハ先程モチヨット觸レタ譯デアリマスガ、戰時目的ノ爲ニ資材ナリ何ナリ集中致シマシテ動員シタ譯デアリマス、ソレノ計畫ハ極ク一部ノコトニダケシカ明カニナツテ居ラナカッタノデアリマス、終戰後、今日ノ此ノ物資ノ需給調整ト

申シマスルモノハ、經濟安定本部ニ於キマシテ、全般的ノ計畫ガ目下立案中デゴザイマシテ、是ハ其ノ案ガ確定サレタ點ニ於キマシテハ、經濟安定會議等ニ諮問セラレル譯デアリマスガ、最後のニハ是ハ一般ニ發表セラレル譯デアリマシテ、國民ハ其ノ内容ヲ大體、ソレニ依ツテ御承知ヲ願ヘルモノデアラウト考ヘマス、即チ大キナ國家ノ計畫ト云フモノガ、國民ノ前ニ總テ明カニセラレマシテ、其ノ計畫ヲ達成スル爲ニ、此ノ法律ヲ運用スルト云フ形ニナルノデゴザイマスカラ、此ノ各産業部門別ノ團體等ニ於キマシテモ、國ノ向フベキ方向ト云フモノハ明カニサレタ所デ、末端迄サウ云フコトヲ承知シタ上デ、統制ノ調整ト云フモノガ行ハレル譯デアリマスカラ、戰時中ノヤウナ、サウ云フコトガ分ラズニ、非常ニ拙カツタト云フ御話デアリマシタガ、其ノ通りデアリマシテ、根本ガ分ラズ爲ニ、末端ニ於テ色々行キ違ヒナリ、摩擦ナリガアツタ譯デアリマスガ、今後ハサウ云フ點ガ能ク御理解ヲ願ヒマシテ、調整ガ出來ルト考ヘマスノデ、先程申シマシタヤウニ民主的ニ組織サレタ團體ニ御委セシテモ、大體ノ目的ハ達成スルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵田中龍夫君 計畫内容ノ發表ノ點ハ誠ニ結構ナコトデアリマシテ、是非トモサウ願ヒタイト思ヒマス、更ニ問題ガ、今迄ノ統制ノ色々ナ問題ハ、

其ノ運営ノ點ニ非常ニ大キナ缺陷ガアツタノデハナイカト思ヒマス、今迄ノ統制ト、今度ノ統制ト比ベテ見マシテモ、大體物資別、産業別ノ制當ト云フモノハ、從來ハ企業院ナリ總動員局デ致シタモノヲ、今度、安定本部デスルト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ、其ノ當該産業内ノ業者別ノ、物資別ノ制當ヲ、今度ノ産業團體ガスル是ハ今迄ノ統制ト同ジ行キ方ト思フノデアリマス、更ニ又第三ニハ、更ニ一歩下リマシテ、各社別ノ、物資別ノ制當ヲ、此ノ時ニ所謂配給協議會トカ何トカ云フヤウナ合議機關ヲ以テヤツテ行クヤウニナルト思フノデアリマスカ、其ノ次ニハ、今度ハ公表ト云フ點モアリマスガ、大體其ノ程度ノ差ト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 具體的ニ表面ニ出テ参リマスコトハ、サウ云フ所デアラウト考ヘマス

○男爵田中龍夫君 サウ致シマス、例ヘバ私ナラ私ガ、電氣冷蔵庫ガ欲シイトスル場合ニ、今回ノ統制デ参リマスト、ドウ云フコトニナリマセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 一般國民ガ消費致シマスル物資ニ對シマシテハ、此ノ臨時物資需給調整法ハ直接ノ規定ヲ持ツテ居リマセヌ、例ヘバ衣料品、纖維品ト云ツタモノヲ、是モ國民必需品デゴザイマスガ、是ハ造リマスコトニ付テ、資材ノ配給ヲシテ参リタイト考ヘテ居リマス、今日アリマスル

其ノ運営ノ點ニ非常ニ大キナ缺陷ガアツタノデハナイカト思ヒマス、今迄ノ統制ト、今度ノ統制ト比ベテ見マシテモ、大體物資別、産業別ノ制當ト云フモノハ、從來ハ企業院ナリ總動員局デ致シタモノヲ、今度、安定本部デスルト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ、其ノ當該産業内ノ業者別ノ、物資別ノ制當ヲ、今度ノ産業團體ガスル是ハ今迄ノ統制ト同ジ行キ方ト思フノデアリマス、更ニ又第三ニハ、更ニ一歩下リマシテ、各社別ノ、物資別ノ制當ヲ、此ノ時ニ所謂配給協議會トカ何トカ云フヤウナ合議機關ヲ以テヤツテ行クヤウニナルト思フノデアリマスカ、其ノ次ニハ、今度ハ公表ト云フ點モアリマスガ、大體其ノ程度ノ差ト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 具體的ニ表面ニ出テ参リマスコトハ、サウ云フ所デアラウト考ヘマス

○男爵田中龍夫君 サウ致シマス、例ヘバ私ナラ私ガ、電氣冷蔵庫ガ欲シイトスル場合ニ、今回ノ統制デ参リマスト、ドウ云フコトニナリマセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 一般國民ガ消費致シマスル物資ニ對シマシテハ、此ノ臨時物資需給調整法ハ直接ノ規定ヲ持ツテ居リマセヌ、例ヘバ衣料品、纖維品ト云ツタモノヲ、是モ國民必需品デゴザイマスガ、是ハ造リマスコトニ付テ、資材ノ配給ヲシテ参リタイト考ヘテ居リマス、今日アリマスル

原材料ヲ以テ是ダケノ布ヲ造リ、是ダケノ布製製品ヲ造ルト云フ計畫ヲ致シマシテ、其ノ物ヲ造リマシテ、最後のニ國民ニ渡シマスル場合ニ付テハ、此ノ法律ハ直接ノ規定ヲ設ケテ居ラヌモ、ナザアリマス、消費統制ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、唯造リマスコトヲ、國民ノ頭ハドレ位ニナルト云フコトデ押ヘマス、從ヒマシテ、一般ニ著物ヲ一枚ナリ、或ハ電氣冷蔵庫ナリヲ欲シイト云フ方ガ、此ノ法律ニ依ツテ如何ニ其ノ個人ニ直結スルカト云フコトハ、此ノ法律ハ直接目的ヲ致シテ居リマセヌ、恐ラク電氣冷蔵庫ハ、非常ニ稀ナ需要デゴザイマスカラ、此ノ法律デハ規定致シマセヌガ、纖維製品等ニ於キマシテハ、例ヘバ學童洋服ナラ學童洋服ト云フモノヲ、服ヲ一ツ造ル、計畫のニ造ル、要スルニ一年ニ一著分ダケハ達ツテ行カウト云フ計畫ヲ立テマスレバ、ソレダケノ數量ヲ造ル譯デアリマシテ、最後ニ之ヲ國民ノ個々ニ渡シマスル場合ハ、恐ラク配給統制會社ノ手元カラ、之ヲ學校當局等ト連絡致シマシテ分ケテヤル、此ノ最後ノ段階ニ於テハ強制力ヲ持タナイ切符制度ヲ執リマシテ、切符ト引換ニ買ツテ戴クト云フヤウナコトニナルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

觸レマシタヤウニ、消費物資ノ場合ノ統制デアリマスレバ、寧ロ負擔ノ衡平トカサウ云フ風ナ關係デ、割合ニ分配ノ點デ、配給ノ點デ、寧ロ技術のニハ簡單カト思フノデアリマスガ、只今私ガ伺ヒマシタ別ナ例、例ヘバ機械類トカ何トカト云フ風ナモノニナリマス、結局統制ト申シマシテモ、生産増強ト云フ點ガ大キナ別箇ノ「ファクタ」ニナリマシテ、結局政府トシマシテハ、各生産企業體ノ能率ノ向上ナリ、品質ノ優秀化ナリ、サウ云フ風ナ點デ有ラユル生産要素ト云フモノヲ面倒見テ、其ノ生産増強ヲナスコトガ大キナ施策ノ「ポイント」ダト思フノデアリマス、處ガ終戰迄ノ統制ハ是ハ軍需ト云フ別箇ナ大キナモノガアツタ關係上、サウ云フ風ナ、此ノ表デ見マス、今後追加サレル御豫定ノモノガ主タル統制ノ對象物ダト思ヒマス、ソコデ今ノ關係カラ言ヒマス、矢張り只今ノ御説明ハ、今後鐵トカ、非鐵金屬トカ、何トカ云フ風ナモノ迄御擴張ニナル御豫定デアリマスレバ、サウ言ツタ機械加工ノ關係ノモノモ、進駐軍用ト一般民需用ト、斯ウ云フ風ニ大キナ二ツニ分ケテ、一般民需用ノ關係ハ民需品ノ分ハ、自由販賣ヲ許スダケノ若シ量ガナイトスルナラバ、矢張り戰前ト同ジヤウナ申請書ヲ出シテ、ソレデドウスルスト云フヤウナ、前ト同ジヤウナ規定ガ必然のニ起ルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點如何デスカ

○政府委員(吉田三郎君) チョット誤解ガナイヤウニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、御手許ヘ差上ゲマシタ資料ニ、甲乙ト云フ二ツノ此ノ統制法適用ノ分類ガゴザイマシテ、乙ノ方、即チ「今後新ニ法規統制ヲ實施セントスルモノ」ト云フ中ニ、非鐵金屬、金屬屑、鐵屑等ガ入ッテ居リマス、是等ハ勿論戰時中ニ統制ヲヤツテ居ツタモノデアリマスガ、終戰直後、一應統制規則ヲ廢シタモノデゴザイマシテ、今後又新ラシキヤル形ニナツテ居リマス、併シナガラ戰時中統制ヲヤツタモノデゴザイマシテ、形式上新ラシイノデゴザイマスガ、從來ノ統制機構ガ其ノ礎ヲ居ルモノデゴザイマス、純然タル新ラシイモノハ石鹼トカ、革製品トカ云フヤウナ本當ノ新ラシイモノデゴザイマシテ、主トシテ是等ハ國民生活必需ノ關係ノモノデゴザイマス、此ノ調整法ハ大キナ狙ヒト致シマシテハ、基礎的産業ノ復興ヲ狙ツテ居ル譯デアリマスガ、併セマシテ國民生活ニ必需ナモノニ付テノ配給ノ公平ヲ期スルヤウナ仕事ヲ狙ツテ居ル譯デアリマシテ、纖維製品等ハ其ノ後者ノ例デゴザイマス、鐵屑、非鐵金屬、斯ウ云フモノハ前者ノ例デゴザイマシテ、基礎的産業ヲ與シテ、之ニ依ツテ國民生活ノ必要ナル原材料ノ増産ヲ圖ツテ行カウト云フ點デゴザイマス、只今ノ御質問ノ中ニアリマシタヤウニ、此ノ配給ノ機構ガ、戰前ニ比ベテサウ變ラヌデハナ

イカト云フ御話デゴザイマスガ、形カラ申シマス、成ル程サウ云フコトニナルノデハナカラウカト思ヒマス、例ヘバ肥料工場ノ補修ナリ増産ノ計畫ヲ取急ギマスル爲ニ、肥料用ノ機械ト云フモノヲ造ルコトガ只今必要デゴザイマスガ、其ノ爲ニ、鐵屑色々ナ機械「メーカー」ニ割當テマシテ、肥料用ノ機械ト云フモノヲ生産致シテ居リマス、是等ハ此ノ調整法ニ基キマシテ、産業機械ノ團體ニ於テ、サウ云フ鐵屑ヲ割當テ行ク澤デゴザイマスガ、其ノ場合ニ、先ヅ肥料用ノ機械ト云フモノニ優先的ニサウ云フ鐵屑ヲ使フヤウニト云フ割當ヲ、産業機械團體ヲ通ジテ致ス澤デアリマス、又石炭ノ増産ノ爲ニ、色々ナ鑛山用ノ機械ト云フモノヲ生産致シテ居リマス、是等モ同ジヤウニ石炭ヲ與スルニ必要ナ機械ヲ優先シテ造ルヤウニト云フコトデ、ソレハ「産業機械メーカー」ノ團體ニ於テ鐵屑ノ割當ヲ致シテ居ル澤デアリマス、大體サウ云フ製品ノ名前ヲ豫定致シマシテ割當ヲ致シテ居ル澤デゴザイマスカラ、統制ノ形ト致シマシテハ、昔ト同ジデハゴザイマセシテ、今後ノ産業ノ恢復ニハ之ヲ以テ十分デアラウト考ヘマスルシ、又戰時中ノ色々ナ非難ガアリマシタヤウナコトハ、是モ先程申上ゲマスルヤウナ石炭ナリ肥料ナリヲ與スト云フ大キナ方針ガ一般ニハツキリ致シテ居リマス、今日カラ申シマスルナラバ、サウ非難ガナイヤウニ

統制ガ運用サレテ行クンデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○男爵田中龍夫君 私ノ今迄致シマジタ質問ヲ要約シテ、チヨット誤解ノナイヤウニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、今迄ノ統制ノ非常ナ缺陷ノ叫バレマシタノハ、アノウルサイ色々ナ事務手續ト言ヒマスガ、非常ニ煩瑣ナ切符制度トカ、申請様式トカ、サウ云フ點ガ非難ヲ受ケタコトガ第一點ダト思ヒマス、ソレカラ其ノ次ハ生産財ノ關係デ主要物資ダケヲ取上ゲラレマシタコトガ、結局、例ヘテ言ヒマスレバ、「モーター」ノ生産ガ出來ナイト云フヤウナ時ニ、何ガ原因カト云フト、結局總緣物ガナイノダ、詰リ主要物資以外ノモノニ隘路ガ出テ來ルヤウナ結果ニナル、高度ノ複合生産物ニナリマス、加工工業デハ難多ナモノガ加リマス、一層サウ云フ結果ニナリハセヌカサウ云フ風ナ點ガ懸念サレルノデアリマス、ソコデ伺ヒタイコトハ、今迄ノヤウナア、云フムズカシイ手續ガ今後モ又續カナケレバナラナイノガ、ソレカラモウ一ツハ今迄色々言ハレテ居リマシタ製品物動ト云フモノノ考ヘ方ヲ御加ヘニナル御考ハアルカナイカト云フコトハ是ハ終戰ニナリマシテカラ、特殊物件ノ色々ノ割當デアリマス、ソレカラ終戰前デモ、轉廢業ノ關係ノ轉用ノ割當此ノ二ツデ、製品デ需要者ニ割當テルト云フコトガ政府ノ方デモ慣レテ居ルノデヤナイカト思フノデア

リマス、素材關係ダケヲ素材物動ト云フコトニシテ置ク所ニ非常ニムヅカシイ事務手續ト、モウ一ツハ主原料ト副原料ト「マツチ」シナイ部面ト色シナ面ガ起ツテ來ルノデヤナイカ、サウ云フ點デ進駐軍用ハ別トシマシテ、其ノ他ノ物ハ出來ルダケ自由ニシテ、ソレデ其ノ間、生産ノ筋ダケヲ立ツテ、出來タモノハ報告ヲ受ケテ、此ノ製品デ以テ一般ノ需要ニ御配リニナル、サウ云フ製品物動ト云フモノハ一體考ヘテ居ラレマスカ、伺ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今ノ御質問ハ主トシテ機械類ニ重點ヲ置イテ居ル御話カト思ヒマスガ、御話ノ通り、一ツノ機械ヲ造リマスニモ、色シナ資材ガ要リマシテ、其ノ間ニ迄互ツテノ統制ヲ致シマスコトハ、餘リニ煩雜ニナリマシテ、實際上不可能デアルト考ヘマス、成ルベク製品物動ノ形ニ移行シテ行クベキモノデアル、私モ左様ニ考ヘマス、唯、今日直チニサウ云フ總テノ物ニ付テ、サウ云フコトガ不可能デゴザイマスルノデ、遂次出來マスルモノカラ、製品物動ノ形ヲ整ヘテ實行シテ參リタイト思ツテ居リマス

○男爵田中龍夫君 次ニ中央ノ斯ウ云ツタ統制ハ、非常ニ中央集權のナ恰好ニナリ勝チノヤウニ思ハレルノデアリマス、例ヘバ地方制度ナドモ、今度大分變リマシテ、知事ヤ何カノ關係モ官吏トカ、公吏トカ云フヤウナ問題モ出

テ居リマス、サウシマス、今迄デモ地方配給ノ面ガゴザイマシタガ、今後中央ノ割當ノ關係ト、地方長官ノ致シマスル割當ノ關係ト付テ、非常ナ問題ガ起リハシナイカ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、ドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、伺ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ臨時物資需給調整法テ取上ゲマス物資ハ、大體ニ於テ全國のニ見テノ統制ヲ實施スル品物ヲ豫定シテ居ルノデゴザイマス、唯、寧ろ地方的のニモ非常ニ重點ヲ置イテ考ヘネバナラヌモノガアルノデゴザイマスガ、是ハ此ノ法律ガ直接目的ト致シマセヌノデ、自治的統制ト申シマスカ、地方的の、或ハサウ云フ統制團體ヲ通ジテ、地方長官ガ指揮ヲスルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙此ノ全國のノ統制ニ致シマシテモ、一應其ノ自治的統制行クモノモ相當アル豫定デゴザイマス、此ノ法律ノ何ト申シマスガ、裏附ケヲ以テ實施致シマスノハ、此處ニ掲ゲテゴザイマスルヤウナ、甲乙兩分類ニ擧ゲマシヤウナモノデゴザイマシテ、ソレ以外ノモノハ、寧ろ是以外ニモ、國民ノ必需品ガアル譯デゴザイマスガ、是ハ或物ハ全國のノ考ヲ以チマシテ、自治統制ニ委スモノゴザイマスシ、或物ハ地方的ナ統制ト云フモノニ迄委スモノアルノデゴザイマス、ソレ等ハ此ノ法規ノ實施ノ裏附ケヲ行ハズニ、實際上ノ、主トシテ國民生活必需品ノ配給ノ問題デ

ゴザイマスガ、サウ云フモノハ地方限リノ配給ト云フコトニ致シマシテ、成ルベク自治的のニ之ヲ進メテ行キタイ、法律ノ強制力ヲ以テヤルモノハ、威ルベク少クシテ行キタイト云フ意味デ、此ノ問題ヲ取上ゲテ居ルノデアリマス

○男爵田中龍夫君 ソレカラ現在ハ、業界間ノ融通ガ相當認メラレテ居ルト思フノデアリマスガ、戰時中デモ、工場隣組トカ何トカ云フ風ナ色シナ制度ハ、寧ろ積極的のニ獎勵シタヤウナ關係モアリマシテ、各工場間デ彼此融通ヲシテ居ツタ面ガ相當アルト思ヒマス、サウ云フ風ナ面ガ、今後トモ尙新ラシク統制物資ニナリマシタ物ニ付キマシテモ、御認ニナツテ觀ケルノデゴザイマセウカ、伺ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今ノ御質問、所謂手持ノ資材ト云フモノハ、今度軍需補償ノ打切りニ依リマシテ、大分整理サレル工場モゴザイマシテ、所謂遊休ノ資材ト云フモノガ、アチラコチラニ出テ來ル豫定デゴザイマス、サウ云フモノヲモ含メマシテ、資材ヲ交換スルコトノ必要ガ、今後モ昔以上ニ必要ガアルカト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ此ノ臨時物資需給調整法ヲ適用致シマスヤウナ、重要ナ資材ニ付キマシテモ、或程度ノ資材ノ交換ト云フモノハ、之ヲ爲シ得ル途ヲ開イテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵田中龍夫君 今迄ノ配給統制規則ニハ、商工大臣ノ指定スル團體ガ指

定シタ物以外ニハ、賣買ガ出來ナイヤウナ統制規定ガ色々ゴザイマシタヤウデスガ、今後サウ云フ風ニナリマシタ場合ニハ、自分ノ手持材料ヲ更ニ他ノ會社、工場ニ融通シテ行クト云フ場合ニハ、轉賣ト云フモノハ御認ニナル譯デゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) マダ機構等ニ付キマシテハ、最後のニ決定ハ致シテ居リマセヌガ、特別ナ斡旋機關ヲ民間ノモノトシテ作ツテ行キタイト考ヘテ居リマシテ、サウ云フ所ノ斡旋ニ基クモノハ、融通ガ出來ルヤウナ途ヲ開イテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵田中龍夫君 ソレカラ此ノ損失補償ノ關係ニ付テ伺ヒタイノデスガ、今ノ終戰後ノ狀態ハ、色々物價其ノ他ガ値上リシマシタリ、ソレカラ十二月以降、各統制法規ガ一應「ストッパ」ニナツタリマシテ、其ノ間ニ買入レタ物モ、工場等ニハ相當アルト思フノデアリマスガ、此ノ規定ニ依リマス損失ノ補償ト云フノハ、政府ノ命令ニ基イテ、施設其ノ他ヲ撤去シタリ、増築シタリスル時ノ損失ノ補償デアリマシテ、今度ハ逆ニ、政府ノ指示ニ基イテ物資ヲ割當テ、斯ウ云フ場合ニ、公定價格デハ賣レナイ、調辦價格デナケレバ事實上出來ナイト云フ「ケース」ガ多ク起ツテ來ルノデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テハドウ云フ風ナ御意見デアリマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 損失ヲ補償致シマスノハ、此ノ法律案ニモゴザイマスヤウニ、會社ニ對シマシテ政府ガ物資ノ生産ヲ命令致シマシタリ、或ハ既ニ持ツテ居ル製品ノ出荷ヲ命令致シマシタリ、或ハ、或工事ヲシロト云フ命令ヲ致シマシタリ、或ハ最後の第四號ニアリマスル物資ノ讓渡ヲ致シマシタリ、或ハ引渡、又ハ貸與ヲ命ジマシタリ、或ハ遊休設備ノ讓渡、引渡ヲ命令シマシタ場合ニ、損失ヲ生ジマシタトキニ、之ニ對シテ補償スルト云フコトニナツテ居リマス、原則ト致シマシテ、斯ウ云フ場合ニハ損失ガ行カナイヤウナ値段段ヲ成ルベク決メルヤウニ致シマス譯デゴザイマスガ、只今仰セノ通り、色々「ケース」ガアルノデゴザイマス、從ヒマシテ、之ヲ只今カラ豫定シテ、一律ニ決メテ置クト云フコトハ非常ニ困難デゴザイマスノデ、一應ハ當事者ガアル場合ニハ、當事者双方ノ協議ニ基イテ値段段ヲ決メ、讓渡ヲ御願ヒスルノデ、ソレガ非常ニムヅカシク、話ガ、何ト申シマスカ、「デッド・ロツク」ニ乘リ上ゲタ場合ニハ損失補償委員ト云ツタヤウナモノデ、公平ニ一ツ判斷ヲシテ觀キマシテ、通常ノ生ジマシタ損失ト云フモノハ、之ヲ政府ガ補償シテヤル、斯ウ云フ考デ居ル譯デアリマス

○男爵田中龍夫君 其ノ中ニ政府ノ配給指示ニ基ク物モ、所謂調辦價格デナク、實價格デ以テ場合ニ依ツテハ流シ

定シタ物以外ニハ、賣買ガ出來ナイヤウナ統制規定ガ色々ゴザイマシタヤウデスガ、今後サウ云フ風ニナリマシタ場合ニハ、自分ノ手持材料ヲ更ニ他ノ會社、工場ニ融通シテ行クト云フ場合ニハ、轉賣ト云フモノハ御認ニナル譯デゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 損失ヲ補償致シマスノハ、此ノ法律案ニモゴザイマスヤウニ、會社ニ對シマシテ政府ガ物資ノ生産ヲ命令致シマシタリ、或ハ既ニ持ツテ居ル製品ノ出荷ヲ命令致シマシタリ、或ハ、或工事ヲシロト云フ命令ヲ致シマシタリ、或ハ最後の第四號ニアリマスル物資ノ讓渡ヲ致シマシタリ、或ハ引渡、又ハ貸與ヲ命ジマシタリ、或ハ遊休設備ノ讓渡、引渡ヲ命令シマシタ場合ニ、損失ヲ生ジマシタトキニ、之ニ對シテ補償スルト云フコトニナツテ居リマス、原則ト致シマシテ、斯ウ云フ場合ニハ損失ガ行カナイヤウナ値段段ヲ成ルベク決メルヤウニ致シマス譯デゴザイマスガ、只今仰セノ通り、色々「ケース」ガアルノデゴザイマス、從ヒマシテ、之ヲ只今カラ豫定シテ、一律ニ決メテ置クト云フコトハ非常ニ困難デゴザイマスノデ、一應ハ當事者ガアル場合ニハ、當事者双方ノ協議ニ基イテ値段段ヲ決メ、讓渡ヲ御願ヒスルノデ、ソレガ非常ニムヅカシク、話ガ、何ト申シマスカ、「デッド・ロツク」ニ乘リ上ゲタ場合ニハ損失補償委員ト云ツタヤウナモノデ、公平ニ一ツ判斷ヲシテ觀キマシテ、通常ノ生ジマシタ損失ト云フモノハ、之ヲ政府ガ補償シテヤル、斯ウ云フ考デ居ル譯デアリマス

○男爵田中龍夫君 其ノ中ニ政府ノ配給指示ニ基ク物モ、所謂調辦價格デナク、實價格デ以テ場合ニ依ツテハ流シ

定シタ物以外ニハ、賣買ガ出來ナイヤウナ統制規定ガ色々ゴザイマシタヤウデスガ、今後サウ云フ風ニナリマシタ場合ニハ、自分ノ手持材料ヲ更ニ他ノ會社、工場ニ融通シテ行クト云フ場合ニハ、轉賣ト云フモノハ御認ニナル譯デゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

得ルヤウナ妙ナ損失補償ノ仕方デアリ
マスルガ、サウ云フヤウナ點ハチヨツ
トムツカシイト云フヤウニ了承致シマ
スガ如何デセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 公定價格

ナリ、或ハ限界價格ナリ、價格ニ付テ
政府ノ決メマシタモノガアリマスル場
合ニハ、矢張りソレニ依リナケレバナ
ラヌモノカト考ヘマス、唯其ノ他ノ費
用ニ於テ、實際ニ要ツテ居リマスル費
用デアリマスレバ、其ノ原價、原價ト
申シマスルカ、必要ナ經費ト致シマシ
テ、補償ノ中ニ入レテ然ルベキモノト
考ヘマス

○男爵田中龍夫君 餘リ長クナリマス

カラ、私ハ一應此ノ程度デ止メテ置キ
マス

○伯爵壬生基泰君 此ノ法案ニ付キマ

シテ二、三伺ヒタイト思フノデアリマ
スガ、第一ハ、所謂供給ガ非常ニ不足
シテ居ル物資ニ付テ、戰時統制同ジ
ヤウナ統制ヲアル、ソレニ付キマシテ
結局基礎物資ト致シマシテハ、石炭ト
鐵ガアルト思ヒマス、ソレデ石炭ニ關
シマシテハ、資源ガ國內ニモアリマス
シ、且、世間ニ於テモ相當問題ニナリ
マシテ、其ノ増産對策ニ付テハ、著々
政府トシテモ手ヲ御打チニナツテ居リ
マスカラ論議ナイト致シマシテ、主トシ
テ鐵ニ關シテ二、三伺ヒタイト思ヒマ
スガ、礦山局長デモ御出席ニナラヌデ
宜シウゴザイマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 院內ニ居

リマスカラ呼ビマス

○伯爵壬生基泰君 ソレデヤ、其ノ前

ニ一般的ノコトヲ二、三伺ヒマス、結
局今度ハ一手買取販賣ヲ又御始メニナ
ル、其ノ場合ニ販賣會社トカ何トカ云
フモノガ、其處ニ一ツアル譯デアリマ
スガ、其ノ外ニ鐵ナラ鐵鋼協會ニセ
メント「ナラ」セメントト、ソレハ
サウ云フモノニ付テハ、協議會ガアリ
且販賣會社ガアル、是ハ二重ナモノデ
ヤナイカト思ヒマス、結局協議會デモ
販賣會社デモ、別ニ現場ニ「タツチ」
シテ居ル譯デヤナク、御役所ト同ジヤ
ウニ紙ノ上デ計畫ヲ立テテ居ル、紙ノ
上デ分配ヲシテ居ル、サウ云フモノガ
二ツアルト云フコトハ結局屋上屋デ、
只デサヘ紙ガ足りナイ時ニ、書類バカ
リ作ツテ居ル、ソレ等ノ其ノ會社ナラ
會社ヲ維持スル爲ノ費用ト云フモノハ
結局需要者ノ「コスト」ノ中ニ入ツテ
來ルト云フヤウナ、徒ニ二重ノ損害ガ
起ツテ來ルノデヤナイカト考ヘラレル
ノデスガ、斯ウ云フコトヲヤラヌデ、
此ノ説明資料ヲ拜見致シマス、配給
協議會デアルト云フ物資モ御有リニナ
ルヤウデアリマスガ、態々總テ買取販
賣ヲヤラヌデモ宜イデヤナイカ、斯ウ
考ヘマスルガ如何デセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ割當

ト配給ト云フモノハ、別箇ノ機關デ大
體ヤツテ行カウト云フ建前ニナツテ居
リマス、所謂第二條ノ產業團體ト云フ
モノハ、御當機關デアリマス、又鐵ナ

ラ鐵ノ同業者ノ方々ガ製鐵工場ヲ動カ
ス爲ノ資材ノ割當ト云フモノハ、是ハ

○伯爵壬生基泰君 只今ノ御答ニ關シ

マシテ、少シ細カイトニナリマスガ
例ヘバ製鐵會社ナラ製鐵會社ト、「モ
ター」ナラ「モーター」ヲ造ツテ居ル
會社トガ、現在ニ於テハ直接賣買シテ

○伯爵壬生基泰君 只今ノ御答ニ關シ

マシテ、少シ細カイトニナリマスガ
例ヘバ製鐵會社ナラ製鐵會社ト、「モ
ター」ナラ「モーター」ヲ造ツテ居ル
會社トガ、現在ニ於テハ直接賣買シテ

居ル譯デアリマス、ソコデ非常ニ密接
ナ關係ガ出來テ居ル、サウ云フ場合ニ

○伯爵壬生基泰君 只今ノ御答ニ關シ

マシテ、少シ細カイトニナリマスガ
例ヘバ製鐵會社ナラ製鐵會社ト、「モ
ター」ナラ「モーター」ヲ造ツテ居ル
會社トガ、現在ニ於テハ直接賣買シテ

○伯爵壬生基泰君 只今ノ御答ニ關シ

マシテ、少シ細カイトニナリマスガ
例ヘバ製鐵會社ナラ製鐵會社ト、「モ
ター」ナラ「モーター」ヲ造ツテ居ル
會社トガ、現在ニ於テハ直接賣買シテ

バ、所謂割當買ツテ來ルト云フモノガ
主原料デハナイカモ知レマセヌガ、ソ

○政府委員(吉田悌二郎君) 最初ノ御

示シノ例等ハ、正シク便利ナ方法デア
ラウト思ヒマス「モーター」ガ燒ケ切
レタラ、平生取引ノアル「モーター」
工場ガアル爲ニ直グ直シテ買ヘル、斯
ウ云フノハ非常ニ便利ダト思ヒマス、
同ジヤウナコトヲ現在石炭ニ付テ、今
特別ノ例外デ、所謂割當ト稱シテ、石炭
ノ増産ノ爲ニ必要ナ工場等ニハ特別ノ
炭ヲ山カラ「リンク」サシテ流シテ居
ルノデアリマス、唯斯ウ云フ範圍ガ廣
クナリマス、有ラユル物資ノ需給調
整ト云フコトガ不可能ニナリマスカラ
其ノ線ノ引キ方ガ非常ニ困難ナ問題ニ
直而致シマシテ、最近ハ此ノ線ヲ極力
減少サシテ居リマス、非常ニ少クシテ
居リマス、本當ニ必要ナ方面ニ炭ガ流
レズニ、食糧トカ、色々ナ物資ヲ得ル爲
ニ石炭山ガ流シテ居ルト云フヤウナコ
トニモナリマシテ、實際ノ總ノ狙ツテ
居ル趣旨トハ、非常ニ違フヤウナ風ニ
モ參ツテ居リマスノデ、非常ニ制限シ

テ居リマス、要スルニ統制ヲヤリマス
レバ、或程度我儘ヲ願フコトガ必要ダ
ラウト思ヒマス、今「モーター」ヲ直
スヤウナ場合ニハ、確カニサウ云フ便
利モアリマスルケレドモ、一面ニ於キ
マシテハ、矢張り必要ナ方面ニ鋼材ガ
流レテ行クコトガ必要デアリマシテ、
是ハ實際上ノ問題トシテ、或程度ノ
政府ナリ、或ハ工場ナリガ、關係會社
ノ御理解ヲ願フコト以外ニハナイカト
考ヘテ居リマス、只今ノ配給機構ノ問
題、色々御話御尤モデアリマスルガ、
今後ハ補給金等モ一應ナクナル譯デア
リマスルシ、尤モ、今度石炭ノ補給金ノ
問題ニ絡ミマシテ、或ハ鐵鋼ノ補給金
ト云フモノガ逆ニ出來ルノカモ知レマ
ヒス、サウ云フ點ハ、總テ未定デゴザ
イマスガ、サウ云フコトノ利益ハ、假
ニナイモノト致シマスレバ、販賣會社
ト云フモノノ、何ト申シマスカ、「メー
カー」カラ見テ利益ト云フモノハ、減
ツテ來ルト思ヒマス、併シナガラ、一
面ニ於テ矢張り非常ニ澤山ノ消費者ト
云フモノガ間ニ控ヘテ居リマスル以上
ハ、現存ノ機構デアリマスカラ、サウ
云フモノヲ成ルベク使ツテ行キタイ、
將來問屋ト云フモノガ獨立シテ、サウ
云フ統制ニ順應シ得ルダケノ力ヲ持チ
作用ガ出來マスナラバ、極メテ一案デ
ゴザイマスケレドモ、取敢ズノ問題ト
致シマシテハ、サウ云フコトハ困難デ
アラウト云フコトカラ致シマシテ、鐵
鋼等ニ於テハ、販賣ハ差支ナイ、斯ウ

云フヤウナ積リデ居リマス
○伯爵壬生基壽君 鐵山局長ガオイデ
ニナル迄、御待チ致シマス
○委員長(男爵古市六三君) ドナタカ
商務局長ニ御質問ハゴザイマセヌカ
○中山太一君 滿洲、朝鮮、臺灣、樺
太、千島等ノ舊日本領デアリマシタ所
カラ、原料、材料ガ今後獲得サレ得ル
カドウカ、サウ云フコトガ聯合國ニ許
容セラル、ヤウニ、既ニ手續ナリ、懸
願ナリガサレテ居ルノデアリマセウカ
ドウデアリマセウカ、其ノ内容ガ差支
ガナカウダナラバ、一ツ御説明ヲ載キ
タイト存ジマス、一應、ソレヲ承リタ
イト思ヒマス
○政府委員(吉田悌二郎君) 只今ノ舊
領土カラ、資材ヲ得ル問題デゴザイマ
スガ、物ニ依リマシテハ、モウ既ニ懸
請ヲ致シマシテ、實現ヲ致シテ居ルモ
ノモゴザイマス、例ヘバ臺灣ニ於ケル
鹽ノヤウナモノガ其ノ例デゴザイマス
併シナガラ、例ヘバ樺太ノ石炭、或ハ
滿洲方面ニ於ケル石炭、鐵ト云ツタヤ
ウナモノ、是ハ地域ニ依ツテ、色々違
フ譯デアリマスガ、「ソ」聯ノ占領下
ニ於ケルモノニ付テハ、マダ今日全然
サウ云フ見通シガ附イテ居リマセヌ、
御承知ノ通り、製鐵所ノ炭ト云フモノ
ハ、主トシテサウ云フ方面、或ハ開瀝
炭等デゴザイマスガ、ソレ等ニ付テハ
中國カラハ開瀝炭ヲ交換シタイト云フ
ヤウナ御申込モアツタヤウデゴザイマ
スガ、滿洲ナリ、樺太ナリノ炭ト云フ

モノハ、今日殆ト消息ガ絶エテ居リマ
ス、交渉モ、今日迄何モ實現サレテ居
ラヌヤウデゴザイマス、其ノ他ノ資材
モ原則ト致シマシテ、マダ我が國トノ
取引ト致ス迄ノ狀況ニ立至ツテ居リマ
セヌ、特殊ノ例外、只今ノ臺灣ノ鹽ト
カ、或ハ朝鮮ノ米、サウ云フモノニ付
テハ、少シジ、御願ヲ致シテ居リマス
ルガ、極ク一部ガ實現サレタデゴザ
イマシテ、マダ殆ト、其ノ大部分ノ
モノニ付テノ取引ハ實現ヲ致シテ居リ
マセヌ、計畫モ具體化シテ居リマセヌ
○中山太一君 政府ノ物資ヲ統制サレ
ル根本ノ理念ニ於テ、或一定、殊ニ不
足勝チノ物資ヲ強權デ統制シ、管理シ
ヨウトサレル所ニ力點ガ置カレテ居ル
ヤウデアリマスガ、是ガ良イノデア
ルカ、又ハ出來得ルダケ、サウ云フモノ
ニ對シテハ、増産ニ全力ヲ注グト云フ
コトニ力ヲ、所謂考ヲ持タレル方ガ宜
イノデアルカ、ドウモ色々點ガ、少
イモノヲ無理ニ嚴重ナ取締リサレル
爲ニ、有ラユル産業ガ隘路、所謂行キ
詰リヲ生ズルヤウナコトニナル、ソレ
ヨリモ、量ヲ多ク殖ヤス方法ヲ少々機
軸ヲ拂ツテデモオヨリニナル方ガ、茲
ニ物資ノ流れノ上ニ好イ結果ヲ齎スト
思ヒマス、此ノ點ニ付テ、積極的ナ一
ツ施策ヲ御持チデアルナラバ、御話ヲ
願ヒタイト思ヒマス、尙勞働問題、是
ハ先程午前中、田中委員長カラ御尋ガ
ツタ時ト思ヒマスガ、其ノ時ニ、勞働
者ノ數ガ多數デアルカラト云フコトデ

アリマシタケレドモ、勞働者ノ數ガ如
何ニ多數、所謂勞働力ノ獲得ガ十分出
來ル程餘裕ガアル、所謂失業者ガ澤山
アル、併シ是ハ幾ラアツテモ、生産機
能ニ貢獻スル力トシテ現レテ居ラナイ
今日ノ勞働力ハ、生産増強ノ上ニハ非
常ニ微弱ナ力シカ現レテ居ラナイヤウ
ニ思ハレマス、是ハ政策ノ上ニ於テ、
適當ナ方法ヲ出サレ、バ、是ガ必ズ生
産増強ノ上ニ效果ヲ現シテ來ルダラウ
ト思ヒマス、サウシテ民需物資ガ豐富
ニナリ、價格モ適正ニナツテ行キ、國
民生活ノ上ニモ脅威ヲ感ジサヌヤウナ
コトガ出來、段々ト生活ノ安定ヲ得ル
化シテ來レバ、眞ニ需要モ増加シテ來
マスカラ、失業者ヲ收容スル、所謂就
職セシムル機會モ段々多クナツテ來レ
バ、又國內ニ物資ノ良イ物ガ豐富ニナ
ツテ來レバ、見返リ物資トシテモ、之
ヲ出ス時モ、更ニ良イ物ガ安ク出來テ
來レバ、茲ニモ失業者ヲ救済スルコト
ガ出來ル、今ノヤウニ、勞働者ヲ求ム
ルコトガ出來ル數ガアルト云フ所ガ、
殆ト生産ニ對シテノ機能ガ十分ニ現レ
テ居ラヌト云フト、昔ノ言葉ニアリマ
スケレドモ、山ガ高イカラ貴イノデヤ
ナイ、樹ガアルカラコソ貴イノデア
ルガ肥エテ居ルカラ貴イノデヤナイ、
智ガアルカラ貴イノダ、唯働ク人ガ澤
山アルカラト云ツテ、決シテ生産ノ役
ニハ立たナイ、眞ニ働イテ生産機能ヲ
發揮スルカラ價值ガアルト思フガ、政

府ニハ産業行政ノ上ニ、此ノ勞働問題
ヲ有效ニ活用サレテ居ルヤウニ、我々
ニハ思ハレヌ點ガアルガ、之ニ對スル
御當局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス
○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ物資
需給調整ヲヤルヨリモ、寧ロ増産ニ
勵ム方ガ宜イト云フ御話ハ御尤モデ
アリマス、私共ハ矢張り、増産ト云フ
コトヲ第一ニ考ヘナクチャイカヌコト
デアルト考ヘテ居リマス、寧ロ此ノ調
整法自身モ、矢張り増産ヲ目的トスル
モノデゴザイマス、併シナガラ如何セ
ム、餘リ今ノ資材ガ少イノデゴザイマ
ス、御手許ニ此ノ四月九月ノ物資需給
計畫ノ表ヲ差上デテゴザイマスガ、
假ニ鋼材ノ例カラ申シマシテモ、一般
ノ需要ヲ此ノ三箇月分ト致シマシテ、
五十數萬トシ「ニ」押ヘテ居リマス、此
ノ五十數萬トシ「ニ」鋼材ノ需要ハ、非
常ニ切リニ切リマシタ需要デゴザイマ
シテ、最低限ト考ヘテ居ルノデゴザイ
マスガ、ソレニ對シテモ、二割二分程
ノ供給力シカゴザイマセヌ、從ヒマシ
テ、是ハ矢張り自由ニ放任致シマス
ドウシテモ、取敢ズ金ノ儲カル方ノ
事業ガ、ソレノ鋼材ヲ買ツテ參リマ
シテ、取敢ズ必要ナ資材トシテ重要ナ
例ヘバ肥料トカ鐵トカト云フ方ニ資材
ガ流レルカドウカ、非常ニ疑問ガアル
ト云フコトヲ考ヘマス、從ヒマシテ、
或程度此ノ統制ト云フコトハ、斯ウ云
フ時代ニ於テモ、矢張り重點的ナ配給
ト云フコトヲ目指シテ行ハルベキモノ

ト考ヘマス、先程モ御話ガゴザイマシ
タガ、全面的ニヤラナケレバイカスト
云フコトニモナリマスガ、其處ハ、斯
ウ云フ終戦後ノ状況デゴザイマスカ
ラ、最小限度ノモノデ主要ナ資材ニ付
テノ統制ヲ實施致シテ參リマシテ、一
面増産ノ方ハ増産ノ方デ、強力ニ之ヲ
ヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ
居ルノデゴザイマス、其ノ増産ノ手段
ト致シマシテ、勞働力ノ使ヒ方ガ政府
ガマツイト云フ御話ハ、成ル程サウ云
フ御批評モアラウカト思ヒマス、本當
ニ働ク人ガ、一生懸命ニナツテ働イテ
呉レバ、相當増産ガ出來ルコトハ御
話ノ通りダト思ヒマス、一例ヲ舉ゲマ
スレバ、現ニ此ノ夏モ九州ノ石炭ニ付
キマシテハ、アノ三池ノ大キナ勞働争
議ガアツタノデアリマスガ、ソレニモ
拘ラズ、八月ハ豫定以上二十數萬「ト
ン」ノ増産ヲ致シタ譯デアリマス、サ
ウ云フ譯デ、働キ手ガ本當ニ一生懸命
ニナツテ來レバ、我々ノ豫期シテ居ル
以上ノ生産ガ望ミ得ナイコトハナイノ
デアリマス、之ニ付キマシテ、矢張り勞
働者ノ側ニ於テモ、十分ニ今日ノ時代
ト云フモノヲ認識シテ貰ツテ、政府カ
ラ申セバ、認識スルヤウナ指導ヲ致シ
マシテ、其ノ協力ヲ得テ行クト云フコ
トガ、有ラユル増産ノ政策デアアルコト
ハ御説ノ通りダト思フノデアリマス、
我々ト致シマシテモ、成ルべく早く、
此ノ安定本部ノ計畫ト云フモノヲ作ッ
テ戴キマシテ、之ヲ外部ニ發表シ、企

業者ハ勿論、勞働者、國民一般ニ付テノ
十分ノ御理解ヲ得テ、國民全般ノ増産
ヘノ協力ト云フコトヲ得テ行カナケレ
バイカスモノト考ヘテ居リマス
○中山本一君 唯物資ノ統制ナリ、強
權ノ發動ヲ加味スルト云フコトヨリモ
一層増産ニ力ヲ致スト云フ御意見ヲ承
リマシテ、幾分力ヲ強ク致シマスガ、
我が政府當局ノ從來ノやり方ヲ見マス
ト、足ラナイ物資ヲ増強シテ行クト云
フコトヨリモ、何處カニアルモノヲ微
用スルト云フコトニ重キヲ置カレル、
ソレデ其ノ結果ガ他ノ生産ヲ阻止スル
バカリデナク、甚ダシキモノハ、金屬
回收ノ如キハ、「ラジエーター」ナリ、
「エレベーター」ヲ取り、或ハ書籍箱ヲ
取ル、斯ウ云フヤウナコトハ殆ド邪道
ト言フテモ宜イ、是ダケデモ戰ニ敗ケ
ル十分ナ私ハ國民的愚ノ繰返シテ居
ル、是ガ國民ガシテ居ルノデナク、政府
ガヤツテ居ル、コンナ風デアツタナラ
バ、建設デナク、破壊ヲ自ラスルノダ
カラ、國ノ力ハ弱クナル、國民ノ活動
力ガ鈍ツテ來ル、「ラジエーター」ガナ
クナツタ爲ニ、工場ニ於テ、或ハ斯ウ云
フ普通ノ「コンクリート」デ造ツタ建物
ニ依リ、ドレダケ肺炎患者ヲ多クシタ
カ、又「エレベーター」ガナクナツタ爲
ニドレダケ活動力ヲ減ジタカ、ソレカ
ラ金屬ノ書庫、其ノ他ノモノヲ供出シ
タ爲ニ、ドレダケ焼カナクテモ宜イモ
ノヲ多ク焼イタカ、アノ多クノ「ビルデ
イング」ヲ焼カナクテモ濟ムモノガア

ツタ、ソレカラ資材ガ足ラヌト言ヒナ
ガラ、アア云フモノヲ取りニ行ツテ、直
グ木材ヲ持ツテ行ツテ澤山ノ書類箱ヲ
捲ヘナケレバナラス、斯ウ云フ無駄ヲ
シテ居ル、而モソレハ原料ダケデ濟ム
ノデナイ、色々ノ工賃ガ掛ツタリ、勞
力ガ掛ツテ居ル、又ソレヲ取ル爲ニ勞
力ヲ掛ケテ、サウシテ或所ヘ運搬シテ
ソレガ用ヲ爲サナイ、私ハ茲ニモウ少
シ積極的ナ、モウ少シ聰明ナ産業行政
ヲヤツテ貰ヒタイト、斯ウ考ヘマス、若
シモ其ノ時ニ非常ナ優レタ商工大臣ガ
オアリデアツタナラバ、必ズ其ノ要ル
鐵ガ何十萬「トン」デアアルカト云フコト
ヲ調べテ、サウ云フモノヲ取除クノヲ
一年デモ、三年デモ待タシテ、此ノ鐵
鑛石ナリ、石炭ヲマダ當時ハ輸入ガ出
來ルノデスカラ、ドンノ輸入シテ、
三倍掛ツテモ五倍掛ツテモ、ソレヲ増
産スルト云フコトニ依ツテ、ソレヲ引
受ケテヤラレバ、斯ウ云フ無駄ナコ
トナクシテ濟ムト云フコトニナツタト
思ヒマス、サウ云フ風ニ金ヲ掛ケテモ、
其ノ方ガ非常ニ國家ノ爲ニナル、又縱
シヤサウ云フモノヲ回收スルナラ回收
シテモ、高層建築ヤナンゾハ、鐵扉ヲ
作ルニハ資材ガ要ル、ソレヲ供給シタ
モノデ鐵扉ヲ作ルト云フヤウニナレバ
或ハ防火ノ「バケツ」運動ト違ツテ、確
カニ聰明ナ積極的ナ意義ガアル、サウ
デナイト、全ク徒勞ニナル、全クノ破
壞、所謂野蠻國ニ日本ガ行クヤウニ行
クヤウニ仕向ケルヤウナコトハ、政治

ノ私ハ要諦デハナイト思ヒマス、ソレ
デ政治ハ國興シタリ、文化ヲ進メタ
リシナケレバナラスノニ、國ヲ弱メタ
リ、滅シテ行ツテ、文化ヲ低下シテ
行クヤウナコトニナツタ時ハ、罪惡デ、
私ハカウ云フ人ガ位ニアルコトハ非常
ナ罪惡ダト思フ、此處迄大キナ天罰ヲ
受ケテ、我々ハ非常ナ不幸ニ遭ツテ居
リマスカラ、是カラナリト、一ツ正シ
イ出發點ニ立ツテ、新日本ノ再建ニ意
義アリ、價值アル仕事ヲシ、政治ヲヤ
ツテ貰ヒタイト斯ウ思ヒマス、此ノ夏
ニモ食糧不足ノ爲ニ、サア此ノ飢饉ヲ
救ハナケレバナラヌト云フコトデ、多
クノ人ガ何ヤツテ居ルカト云フト、
官民寄ツテ隱匿藏物資ヲ調べル、食糧
ノ隱匿藏物資ヲ調べタツテ知レテ居
ル、ソレデ以テ飢饉ヲ救フコトハ出來
ナイ、ソレガ或工場ニアレバ、工場ノ
人ガ責任ヲ負ウテ、或期間、例ヘバ半
月デモ、一月デモ飢饉ヲ救フ、ソレヲ
一般ニヤツテモ何ニモ出來ナイ、サウ
云フコトバカリヤツテ、人ノ物ヲ出サ
セル、斯ウ云フ觀念ガ私ハ宜クナイ、
ソレヨリモ、マダアノ時ハ南瓜ナリ、
芋ヲ植エレバウソト出來ルカラ、ソレ
ニ重點ヲ置イテ行ケバ宜イ、ソナ僅
カナ物ヲ拾ツテ行クヨリ一層地上ニ物
ヲ餘計作ラナケレバイカス、米ノ方ニ
付テモ一層増産サレヤウナ風ニ、矢
張り農家ガ活動スルヤウニシナクチャ
イカス、或府縣ニ於テハ、ソレヲ直グ
言ウテ戴イテ農家ハ翌日直グ案ヲ立ツ

テ居ル、又或都市ノ燒跡ノ廣イ所ニハ
何十萬ノ芋ノ苗ヲ中等學校ナリ、國民
學校、或ハ隣組ヘ何シテ、全部燒跡ノ
放任シテアル所ニ植エルトカ、外ノ方
ニモヤル、私ハサウ云フ風ニシテ行ク
方ガ、僅カノモノヲアツチヘヤリ、コ
ツチヘヤルニ云フ者ナ考ヲスルヨリモ
宜イ、當局ハ積極的ナ、而モ價值ノアル
政治ヲヤツテ戴ケバ、斯ウ言ツタ時デ
モ、段々ト物資ガ地上ニ殖エテ來ルト
云フコトニナツテ來ルト思ヒマス、私
ハ昨日要望シマシタ生産計畫其ノ他ノ
比率ト云フノハ、サウ云フ點モアリマ
シタケレドモ、是ハ色々ノ點ニ於テ支
障ガアルヤウデアリマスカラ、ソレハ
要求致シマセスケレドモ、一ツソナ
コトヲ繰返サヌヤウニ御考慮願ヒタイ
ガ、現商工當局ノ之ニ對スル御考ヘト
云フカ、御所見ハドウデアリマスカ承
リタイ

○政府委員(吉田信二郎君) 戰時中ノ
統制ノやり方ニ付キマシテハ、今日カ
ラ之ヲ振り返ツテ見マス、何ト申シ
マスカ、随分批評ノ餘地ノアル仕事ガ
澤山アツタヤウニ私共考ヘマス、今後
ハサウ云フ經驗ニ微シマシテ、サウ云
フ愚ヲ繰返サヌヤウニ、最善ノ案ヲ立
テテ行カネバナラヌト考ヘマス、經濟
安定會議、經濟安定本部ガ出來マシテ
此ノ物資ノ需給ノ實際問題ニ付キマシ
テハ、色々ノ實際家ノ方ノ御經驗ニ依
ツテ、實行案ガ練ラレルコトト思ヒマ
スガ、私共ハサウ云フ方面ノ御意見ヲ

十分伺ツテ行キタイト思ヒマスルシ、又各民間ノ團體等ニ於ケルマシテモ、サウ云フ意見ヲドソノ政府ニ其申ヲ願ヒマシテ、政府ノ實行策ニ付テノ御協力ヲ願フテ行クベキモノト考ヘテ居リマス、新ラシイ統制法規ト、形ハ從來ノ總動員法中ノ物資統制令ト云フモノニ非常ニ似テ居ル譯デゴザイマスガ、運用ハ全然變ヘテ行キタイ心掛ケデ居リマス、戰時中ニ回收致シマシタ「ストック」ガ、今尙其處ラ邊ニ一杯轉ガツテ居ルヤウナザマデゴザイマシテ、實際ニ役ニ立タナカツタモノガ多數アル譯デアリマシテ、而モソレヲ持ツテ居ラレ方ニハ、随分御不便ヲ願フタモノモアル譯デゴザイマスカラ、今後ハサウ云フコトノナイヤウニ、計畫ト實際ガビツタリ合ヒマスヤウニ、又必要以上ノ無駄ヲシナイト云フコトガ、仰シヤツタ通り必要デゴザイマスノデ、ソレ等ノコトハ、モウ少シ此ノ統制ヲ致シマス場合ニハ、能ク經驗ノアル方ノ意見ヲ十分ニ容レマシテ、今後ハサウ急イデヤルト云フコトモ、戰時中ト違ヒマスノデ、十分ニ議ヲ練リ、案ヲ練リマシテ、實行ヲシテ行キタイト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

九十九「パーセント」トナルト云フヤウナ風ナ狀況デアリマシテ、而モ其ノ最高ノ所得ノ如キハ、僅カニ六・六五「パーセント」シカ殘ノスト云フノデハ、殆ド工業家ノ生産意欲ハ揚フヌダラウ、無クナルダラフ、ソレニ對シテ政府ハ將來稅ヲモット下ゲル心持ガナイカト云フ御話ヲ致シマシタ處ガ、大藏大臣ハ稅制委員會ニ出シテ、サウシテ案ガ出來タナツバ、次ノ議會ニデモ出サウト云フヤウナ話ガアリマシタケレドモ、實ハ商工當局ガ生産ニ對シテ、農林當局ノ農民ニ對スル熱意ニ比ベテ、非常ニ低調ナヤウニ私ハ考ヘル、有ラユル場合ニ農林當局ハ農民、農山漁村ノ生産意欲ト云フコトヲ殆ド口癖ノヤウニ言ツテ居ルマシマス、サウシテ其ノ爲ニ、慎重ヲ吊リ上ゲル時モ、此ノ間モ御話申シタヤウニ、五倍、六倍ト一度ニ上ゲル、處ガ、商工關係ノ方ハ、殆ド生産者ヲ「エンカレージ」スルト云フヤウナ方面ニ付アハ、何モ爲サスト云フヤウナ感ジガ致シマス、是ハ農山漁村ノ方ハ、衆議院ノ方ノ議員諸君ガ皆其ノ地盤ノ關係モアリマセウシ、色々ナコトデ以テ、大分後援スル人ガアル、或ハ勞働運動トカ、色々ナコトニモ結附キマシテ、大分後援者ガアルト云フコトモ、ソノ理由デハアルト思ヒマスケレドモ、併シソレニ比ベテ、工業家ノ方ガ非常ニ低調デアツテ、殆ド忘れラレテ居ルト云フヤウナ感ジガスルノデアリマスガ、大藏當局ニ御考

ヲ伺ヒマシタガ、商工當局ハ之ニ對シテ、ドンナ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス、
○政府委員(吉田信二郎君) 農林省ノ方ガ、農民ニ對シテ色々直接ノ助成ナ、熱心ナ立場ヲ執ツテ居ル、商工省ハサウデナイト云フ御話デゴザイマスガ、決シテ商工省ハサウ云フ譯デハゴザイマセス、有ユル機會ニ於テ、有ユル努力ヲ致シマシテ、商工業ノ確立ニ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、税金ノ御話ハ、本會議デモ私伺ヒマシタヤウナ譯デアリマシテ、増産ヲ招來致シマスル立場カラ致シマシテ、成ルベク是ハ低イ方ガ宜シイノデアリマス、大藏省ニモ、其ノコトヲ極力御願ヒスル豫定デアリマスガ、一般ノ商工業ノ方ハ農業ト比ベマシテ、成ルベク業者ノ方ノ自力デ行キタイト云フコトガ私共ノ念願デアリマス、自力デヤツテ行ケルヤウニ政府ガ仕向ケルト云フヤウナコトガ、一番宜シイト考ヘテ居リマシテ、從來モ、私共サウ云フ方針デ政府ハアツタト思ヒマス、生産ノ障礙ニナル事項ヲ除イテ行クト云フコトデゴザイマシテ、能ク紡績業者ノ方モ仰セニナツテ居リマシタガ、紡績ハ政府カラ一文ノ補助モ貰ハヌガ、世界ノ産業ニナツタト云フコトヲ諒ツテ居ラレルサウ云フ風ニ御向ケ願フノガ、一番宜イコトデアフウト考ヘテ居リマス、唯政府ト致シマシテハ、現在取致ス生産ノ障礙ニナツテ居ル事項、或ハ今日デ

申シマスレバ、設備ノ荒廢等ヲ回復スル爲ニ、工業者ノ方ガ有ユル努力ヲセラルル仕事ニ對シテ裏附ケヲ與ヘテ行ク、斯ウ云フ意味デ、物資需給調整法モ運用シタイト考ヘテ居リマシテ、或程度回復ガ出來マシテ、原料資材ノ生産ト云フモノガ相當ニ供給ガ出來、又將來輸入ト云フモノガ相當出來マシテ供給ガ潤澤ニナリマスレバ、政府ハ唯後ニ居ツテ御援助スルト云フ建前ヲ從來モ執ツテ居リマシタシ、今後モ執ルベキモノト考ヘテ居リマス、租稅其ノ他價格ノ問題等ニ付キマシテハ、十分ナ努力ノ足りナカツタ點ハ御詫シナケレバナリマセスガ、私共ト致シマシテハ、一面價格ヲ上ゲマスコトハ、其ノ業自體カラ申スト、非常ニ宜シイノデアリマスガ、同時ニ又、其ノ資材、製品ト云フ物ガ、他ノ原材料ニモナル場合ガアルシ、又一般物價ノ構成等ニモ關係ヲ致シマスノデ、其處ラ邊ハ、各方面ノ利害ヲ考ヘマシテ、適當ナ案ト云フモノヲ考ヘテ居ツタノデゴザイマシテ、十分ニ行カヌ點モアツタカト思ヒマスガ、今後ハ、先ヅ増産第一ト云フ見地カラ、物價應ニモ考ヘテ戴キマシテ、成ルベク早イ機會ニ、今日ノ物價水準モ確定ヲシテ戴キマシテ、全般的ニ「バランス」ノ取レタ生産ト云フモノガ出來ルヤウナ價格體系ニ行クヤウニ、物價應ニ御願ヒヲシテ居リマス、税金等ニ付キマシテハ、更メテ能ク大藏省ト相談致シマシテ、今日ノ財政、其ノ

他ノ見地ノ事情モ伺ヒマシテ、此改ノ善ニ付テ案ヲ練ツテ參リタイト考ヘテ居リマス
○川上嘉市君 私ノ話ガ多少、物價ヲモット上ゲテ呉レ、斯ウ云フ風ニ響キマシタカモ知レマセスガ、サウ云フ意味デアナイノデ、非常ニ私共が見ルト、不當ト思ハレルヤウナ高イ稅ヲ廢スルトカ、或ハ物品稅デモ、サウ云フコトノ御話ガアリマシタガ、「フイルム」ナ「バ」「フイルム」、「ラデオ」モ、或ハ樂器モ、皆物品稅ガ「パーセント」デアリマス、其ノ他家具類ナカハ四十「パーセント」、是等ハ總額ニ於テハ、稅ハ知レタモノデアリマス、今ノ日本ノ全體ノ稅制カラ云フト、殆ド問題ニナラヌノデアリマス、是ハ是非廢スルナリ、或ハ非常ニ低ク下ゲルト云フノガ私共ハ當然ト考ヘマスガ、ソレ等ニ對シテ、ドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレルカ知リマセスガ、商工當局トシテノ産業ヲ保護スルト云フ、ソレヲ育成スルト云フ立場デ以テ、物價ヲ上ゲズシテ、モウ少シ仕事ガ成立ツヤウニ御援助願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(吉田信二郎君) 只今ノ物價稅等ニ付キマシテハ、目下大藏省トモ折衝シテ居リマス、成ルベク斯ウ云フ税金ハ低イ方ガ増産ノ役ニモ立チマスシ、國民生活ノ安定ノ上ニモ、御承知ノ通りノ結果ニナルト思ヒマスノデ、成ルベク低クシテ戴キタイト考ヘテ居リマス、箇々ノ物資ニ付テ、目下色々

ト御相談ハ致シテ居リマスカラ、其ノ際ニ御希望ノ點ヲ達成致シマスヤウニ努力致ス積リデ居リマス

○中山本一君 今後ノ産業復興、新日本ノ再建ニ付キマシテハ、中小商工業ノ振興ガ餘程重點トサレナケレバナラヌ、是ハ當局モ御話ニナツテ居ルガ、サウ云フ場合ニ雜貨工業ト云フモノハ餘程重キヲ置カレナケレバナラヌモノ

ト思ヒマスガ、當局ハ此ノ雜貨工業ノ振興ニ對シテ、相當御計畫ガアリ又力ヲ盡サレ御考ガアルノデアリマセウカドウカ、殊ニ日本ノ機械ノ幼稚ナル、又大量生産ノ出来ナイ、アメ

リカノ式デナイ、此ノ日本デ、一番製品トシテノ特長ノアルハ雜貨工業ダト思ヒマスガ、之ニ對シテ中小商工業ノ復興ト關聯シテ、政府ノ力ノ入レ方

ニ對スル御考ヲ承リタイト存ジマス、又見返リ物資ノ生産ニ對シテモ、民需品ノ生産ニ付テモ、相當生産機關ガ軌道ニ乗ツテ來テ居ツテモ、支障ヲ來ス

ノハ食糧ノ人手難ノ爲デアルノデアリマス、是ガ三、四箇月前カラ工員ノ加配米ガ始ラ停止サレテ居ル、是ハ速カ

ニ又各工業、今ハ重點的ニ、一部ニハ若干アルヤウデスガ、之ヲ今ノ日本ノ中小商工業ノ復興ガ必要デアルト

スレバ、是等ノ雜貨工業等ニ於テモ、相當規模ヲ以テ民需物資ヲ、見返リ物資ヲ造ツテ居ル所ニハ、加配米ヲ再開サレナケレバ、生産ノ上ニ大サナ支障ヲ來スバカリデナク、食糧入手ノ爲

ニ横流レニナリ物々交換、色々ノコトニナツテ、非常ニ弊害ヲ來シテ居リマスカラ、此ノ點等モ考ヘラレテ、速カニ之ガ解決ヲ農林當局ト御進メニナツテ實行シテ載キタイト存ズルノデアリマス、以上ニ對スル御考ヲ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(吉田三郎君) 今後ノ我が國ノ産業ニ、中小工業ト云フモノガ非常ニ大キナ地位ヲ占メルコトハ、只今御話ノ通りデゴザイマス、大工業ト云フモノハ、今後ハ主トシテ原材料方面ニ於テ殘ルノガ大部分デゴザイマシテ、一般ノ加工工業ト云フモノハ、恐ラ

ク所謂中小工業ト云フ「カテゴリー」ニ屬スルモノニナルモノト存ジマス、殊ニ今後、我が國ノ輸出産業トシテ大キナ地位ヲ占メルモノハ、此ノ中小工業デアラウト思ヒマス、其ノ中デモ、豫

テ商工大臣モ御答ヘ申上ゲテ居ル事柄ト思ヒマスガ、輸出ニ付テハ、纖維産業ガ中心デアルト云ツテ居リマスガ、雜貨工業モ、之ニ劣ラズ大キナ輸出品

トシテ役割ヲ占メテ居ルモノト考ヘマス、在外小サナ物デ、金高ノ増スモノハ此ノ雜貨工業デアリマス、又東京市場ヲ見マシテモ、斯ウ云フ雜貨工業、纖

維ト云フモノハ、在外壽命ガ長ク輸出サレルモノデアリマシテ、非常ニ有望ナモノデアリ、我が國ノヤウナ所デハ之ニ重點的ニ力ヲ入レルコトガ非常ニ

將來トモ必要デラウト考ヘテ居リマス從ヒマシテ、國內ノ民需品ト致シマシ

テハ、兎モ角、取敢ズ問題トシテ、輸出見返リ用ノ雜貨工業ノ振興ニ努力致シタイト考ヘテ居リマス、ソレガ爲ニ取敢ズ原材料ノ御世話ト云フコトガ第一ノ仕事デゴザイマス、之ニ伴ヒマシテ、金融ノ方ノ世話ヲ、輸出見返リノ

物ニハ御世話ヲ致シテ居ル澤デアリマスガ、サウ云フモノデ雜貨工業ヲ直接振興シタイト考ヘテ居リマス、唯一般

的ニ見マシテ、國內民需品ノモノヲ含メマシテ、雜貨工業ニ付キマシテハ、他ノ中少工業ト同ジヤウニ、矢張り組織化ト云フコトガ前提ニナルノデヤナイ

カト考ヘテ居リマス、バラ／＼ノ小サイ形ノ、各々獨立シタ工業デアリマスト、政府ガ一々之ニ對シテ御手ヲ貸ス

ト云フコトモナカ／＼困難デゴザイマスシ、又金融機關等ニ於テ、之ニ對シテ金融ヲシタイト云フコトカラ致シマシテモ、ドウモ非常ニ不安デゴザイマ

シテ、矢張り組合等ヲ作りマシテ、或程度ノ規模ニ纏ツタ生産單位ト云フモノガ出來マスコトガ必要デアリマシテ

即チ組織化ト云フコトヲ、一日モ早クヤツテ戴クト云フコトガ、基礎的要件ト考ヘテ居リマス、其ノ上ニ、金融ナ

リ、仕事ヲ流シテ參リマスコトガ此ノ工業ヲ興ス上ニ於テモ、他ノ中小工業ト同ジヤウニ必要ナコトデアラウト考

ヘテ居リマス、其ノ詳細ニ付キマシテ商工協同組合法ヲ此ノ委員會ニ御審議ヲ願フコトナレバ、一般のナ問題ヲ細カク御説明申上ゲル機會ガアルト考

ヘテ居リマス、ソレカラ加配米ノコトデゴザイマス、最近停ツテ困ツテ居ルト云フ話デ、誠ニ是ハ御困リデラウト考ヘマス唯一般的ニ申シマスレバ、食糧事情ガ段々好轉シテ參リマシタナラバ、恐ラク十一月頃カラハ、一般ノ勞

務加配米ト云フモノノ數量のニモ増加シ、又今日、工場配給致シテ居リマスル處ノ工場以外ニ、少シ其ノ範圍ヲ擴

ゲタイト云フコトデ、目下農林當局ト相談ヲ致シテ居ル譯デゴザイマシテハハ近ク解決ヲ致シマシテ、或程度實現

スルモノト考ヘテ居リマス、大分話ガ進ミマシテ、其ノ範圍並ニ量ノ増加ト云フコトニ付テ、何レ近イ内ニ之ヲ具體的ニ申上ゲル機會ガアルノデハナカ

ラウカト考ヘテ居リマス、是ハ主トシテ輸出品ヲ造ツテ居リマス工場ニ付テ、先ヅ優先サレテ適用サレルト考ヘテ居リマス

○中山本一君 雜貨工業ノ振興ヲ國內ノ民需物資トシテモ、相當ニ之ヲ復興シナケレバナリマセスガ、見返リ物資

トシテ之ヲ當テマスニ、其ノ雜貨品ヲ造ル見本、原材料ノ獲得ニ、非常ナ困難ヲ感ジテ居ルノガ一般ノ現狀デアリヤ

ウデゴザイマス、之ニ對シテハ、適當ナ方法デ當局ニ願ヒ出レバ、或一定ノ數ダケハ、ソレニ必要ナ見本ヲ分讓サレ

ルト云フヤウナコトガナケラネバナラナイ、矢張り雜貨ハ、或程度工藝美術的ナ意味ガ相當含マレテ居ルノデゴザイマスカラ、色々ノ工夫ヲシ、ズット一

貫シテ居レバ宜イケレドモ、一時中絶シテ居リマシタカラ、是ニハ相當ナ矢張り見本ヲ持ツテ試作ヲシナケレバナラヌコトデゴザイマスカラ、ソレガ行ハレナイヤウナ現狀デアリマス、關係

者ガ困ツテ居ルヤウデゴザイマス、其ノ甚ダシイモノハ、絹ノ原料トスル工業、サウ云フヤウナモノハ、僅カニ絹ヲ應用シテヤレバ各種ノ雜貨ガ出來ルノ

ガ、絹ノ使フコトモ禁ゼラレテ居ル又其ノ見本ダケヲ造ルコトモ得ルコトガ困難デアルト云フノデ、支障ヲ來シテ

居ル例ガ相當アルヤウデゴザイマス、ソレカラ稍子ノヤウナモノデモ、輸出スルトスレバ良品デナケレバイカス、

今ノ國內ニアルヤウナ不良ノモノデラウタナラバ、到底輸出市場ニ於テ、是ハ歡迎サレル氣遣ヒハナイ、一度ハ出

マセウガ、二度三度ハモウ需要サレナイ、附メ出シテ食フ、恥辱シニ出スヤウナコトニナリマス、斯ウ云フ點ニ

モ相當考慮ヲ拂ツテ、良イ硝子ヲ造ルニハ、硝石ノ不足ヲ矢張り補ハナケレバナラヌ、サウシテ行カケレバナラ

ナイノミナラズ、熱度ノ相當上ル石炭燃料等ノ配給ガナイ限りハ、良品ハ出來ナイト云フコトモアリマスカラ、將

來、輸出ノ出來ルヤウナ點ニ指導モサレ、面倒モ見テ貰フト云フコトガ、産業行政當局ニ於テ行ハレナイ限りハ、民間デハ如何トモ出來ナイ、縱シヤ、今アリマス工業統制組合等ガヤラウトシテモ、是ハサウ云フ力ヲ持ツテ居

ナイカラ、矢張り當局が昔カシ工業試驗所ヲ持タレタヤウニ、今度ハソレガ所謂象牙ノ塔ニ籠ツテ居ルノデハナクシテ、全ク街ニ乗り出シテ、街ノ指導者トシテ、一々起ルサウ云フモノヲ解決スルト云フコトニ當ツテ實ヒタイ、必要ノ場合ニハ實際持ッテ行ツタナラバ其ノ試驗所ナリ、事務局ナリガ、ヨシ、造ル是々ノ見本ナラバ、直グ出シテヤルト云フ風ニ、其ノ場デモ相手ガ信ズベキモノナラバ解決シタルト云フコトガ必要デヤナイカト思ヒマス、ソレカラ次ハ、當局ハ居ラレマセヌケレドモ、纖維ノ關係デモ非常ナ矛盾ガアルヤウデアリマスガ、是ハ統制機關ガ不適當デアルカラ起ルノデアリマスケレドモ、先程モ食堂デ其ノ方ノ關係ノ人ガ話シテ居リマシタガ、「メリヤス」ニ非常ニ必要ナ絲ハ、右捻リノ緩ク捻ツタモノデナケレバナナス、ソレニモ拘ラズ、織物ノ左捻リノ捻リノキツイ固イモノヲ配給サレル、ソレデ以テ「メリヤス」ヲ造ルカラ良イモノガ出来ナイ、斯ウ云フ一貫性ノナイ、連絡性ノナイコトヲシテ、絲ヲ「メリヤス」工業統制組合ニ配給サレルソレデマア生産者ハ、ソレデヤ良イ物ガ出来ヌカラト云フノデ相當ナ希望、注文ヲ原料生産者ニ言ヒマスケレドモ、ソレヲ他人事ノヤウニ考ヘテ、コンナコトガ放任サレルカラ、良イ品物ガ出来ル筈ガナイ、輸出市場ニ於テ歡迎サレル物ヲ出ス筈ガナイ、コンナ分リ切ツタ矛盾

ヲヤリナガラ、統制組合ハ手數料ヲ取レバ宜イ、ソレデ普通ニナイヤウナ高イ報酬ガ貰ヘレバ、ソレデ自分ノ任務ハ了ツタヤウニ考ヘテ居ル、果シテ斯ウ云フ機關ガ必要デアルカドウカ、今日統制組合ハ解消サレルト云フコトデアリマスガ、次ニ起ル共同組合ガ同ジ人間ガ之ニ代ツテ行ク、サウシテ矢張り同ジヤウナ惡指令ガ相續サレテ行ツタナラバ、私ハ健全ナ中小工業ノ振興ヲ見ルコトガ出来ヌノデヤナイカ、斯ウ思ヒマス、此ノ點ニ付テモ、相當ナ私ハ、所謂民主主義時代ニモウ少シ公明正大ナ組合經營ガ出来ルヤウナ方法ヲ當局トシテ指導シ、又ハ監督サレルコトガ必要デヤナイカト思ハレマス、ソレカラ今「メリヤス」ノコトヲ申シマシタカラ、序デゴザイマスケレトモ、又世界的ニ重要ナル絹其ノ「ネクタイ」ノヤウナモノ日本ノ「ネクタイ」アタリハ、生絲ノ材料ヲ相當食ツテ居ルガ織物ノ面デアリマスカラ、研究シテ行クト、世界ニ例ノナイモノガ、ドソノ出来テ行ク、随分斯ウ云フモノハ見返リ物資トシテ宜イノニ斯ウ云フモノヲ眼中ニ置イテ居ラナイノミナラズ「メリヤス」工業統制組合アタリハ、サウ云フモノニ適スル原料モ供給シナイ、唯、今迄ノアリ來リノモノヲ配給スレバ宜イ、新フシ建設的ナモノニ興味モ持タナケレバ、好意モ持タナイ、是ナラバ、日本ノ産業再建ナリ難貨ノ復興ナリハ出来ナイノデアリマ

スカラ、商工省デハ色々ノ相談所ヲ設ケテ居ラレルガ、難貨ノ復興ナリ、生産ニ對シテ事務局アタリニ指導シ相談ニ應ゼラレ、サウシテ直ニ種々ナル隘路ヲ解決スルヤウナ面倒ヲ見ラレル機關ヲ御設ケニナル御考ハナイモノカ之モ併セテ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員吉田(二郎君) 只今現在統制ノヤリ方ニ付テハ色々缺點ヲ御指摘ナリマシテ、併セテ其ノ改善ノ御意見ヲ承ツタノデアリマス、一々御尤モナコトデゴザイマシテ、私共ハ威ルベク其ノ線ニ沿ツテハ研究シテ參リタイト思ヒマス、「メリヤス」系ノ配給等ノ御話、適切ノ御話デゴザイマスケレドモ、サウ云フ問題ハ當然今後民主的ナ團體トシテ民間ノ團體、是ハ從來ト同ジヤウナ人ガ、今、應幹部等ニモ坐ツテ居ラレマスケレドモ、今後ノ運營ハ、總アル民主的ニナルト云フ此ノ氣持カラ致シマシテ、恐ラク從來ノヤウナコトデハナクテ、非常ニ明ルイ、自由ナ討議ガ行ハレテ、統制ノ方針等モ議論サレルコトト考ヘテ居リマス、今仰セノヤウナ點ハ、ハツキリシタ問題デゴザイマスノデ、其ノ邊ノコトモ討究ノ結果、遂次變ヘラレルト思ヒマスノデ、場合ニ依レバ、不服ノ趣ヘト云フヤウナ形ニ於テ、サウ云フ問題ヲ御出シニナル方、統制團體以外ノ業者ノ方、及ビ第三者ヲモ入レテ、其ノ解決ヲ圖ルト云フコトモ可能デアルト考ヘマス、サウ云フ問題ハ、今後ノ統制方

式ヲ民主化スルト云フコトニ依ツテ、期待サレテ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス、又一案トシテ、商工省ノ一部ニ、サウ云フ適當ナ相談機關ヲ作ツタラドウカト云フ御案デアリマスガ、之モ結構デアリマシテ、私共ト致シマシテハ、本當ニ今、民間ニ於テ必要トシテ居ラレルコトニ對スル聲ヲ聴ク意味ニ於テ、相談所ヲ作ツテ居リマス、現在迄ニ御利用ニナツタ居ル狀況カラ見マス、殆ド大部分ハ、此ノ仕事ハ何處ニ行ツタラ宜イカト云フヤウナ、謂ハバ案内役ニ御使ヒニナルヤウナコトデアリマシテ、今ノヤウナ實質的ナ問題ヲ提ゲテノ御相談ハ殆ドゴザイマセス、併シナガラ、今後ハ仰セノヤウナ問題ヲ取扱フヤウニ、一ツ成ルベク此ノ機關ヲ取扱ツテ參リタイト考ヘテ居リマスシ、又サウ云フコトヲ關係ノ局課ニ御紹介致シマシテ、適切ノ御意見ヲ伺フト云フコトニ、此ノ組織ヲ活用スル積リデアリマスカラ、御遠慮ナク御利用願ヒタイト思ヒマス、商工相談所ノ組織ハ、今日迄ハ十分デハゴザイマセヌガ、是ハ逐次擴充ヲ致シマシテ、御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(男爵古市六三君) 壬生委員鐵山局長ガ御見エニナツテ居リマスカラ

○伯爵壬生基泰君 一ツ伺ヒマスガ、先刻チヨット申上ゲマシタヤウニ、物資統制ハ結局、足リナイモノヲ一生懸命ニ統制スルト云フヨリモ、積極的ニ増産スルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデヤナイカト思ヒマス、ソレデ所謂基礎産業デアアル石炭ノ鐵ノコトニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、石炭ハ從來相當ニ問題ニナリマシテ、又政府當局トシテモ、ソレハ適切ナル手ヲ御打チニナツテ居ルヤウニ考ヘラレマスノデ止メマシテ、鐵ニ付キマシテ、鐵山局長カラ政府ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、先ヅ第一「ボーレー」大使ガ昨年ノ十二月ノ七日ニ、所謂日本ニ於ケル製鋼能力ヲ年産二百五十萬「トン」ト云フ發表ヲ致シマシタ又極東委員會ガ今年ノ六月ノ十二日ニ鋼塊ノ生産能力ヲ三百五十萬「トン」ニスルト云フ案ヲ採擇サレタト云フコトハ、新聞紙上其ノ他ニ於テ知ラサレタコトデゴザイマスガ、現状ニ於テハ是ダケノ生産ヲヤルト云フコトハ、絕對ニ不可能ナリト考ヘマス、假ニ國內ノ原料ダケニ頼ツテ居タ場合ニハ、百萬「トン」造ルト云フコトモ不可能デハナイカト考ヘラレマス、サウナリマスト、之ニ代ルベキ方法トシテハ、輸入ニ依ツテ殖ヤサナケレバナナスト云フ面シカ殘ツテ居ナイト思ヒマス、勿論只今ノ狀態ニ於キマシテハ「ジー・エツチ・キュー」トノ關係ニ於テ、政府獨自ノ考デドウスルト云フコトモ御發表ニナルコトハ出来ナイト思ヒマスガ、今チヨット、サウ云フ關係ヲ別ト致シマシテ考ヘテ見マスノニ、輸入ス

ルト言ツテモ、色々場合ガアルト考ヘマス、大難把ニ分ケマシテ三ツゴザイマシテ、第一ハ所謂原材料ヲ輸入スル、諸リ石炭ト鐵礦石ヲ輸入スルト云フ方法ト、次ニハ鐵礦ヲ輸入スルト云フ方法ト、第三ニハ鋼材ヲ輸入スル、此ノ三ツノ方法ガアルト考ヘラレマス、サウシテ其ノ第三番目ノ鋼材ヲ輸入スルト云フ方法ハ、一番マア下策ト申シマス、拙イ方法デアツテ、同時ニ現狀ニ於キマシテハ、「アメリカ」其ノ他ニ於キマシテモ、鋼材ノ不足ヲ來シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスノデ實現モ不可能デアルト思ヒマス、サウ致シマス、殘ル處ハ鐵石、石炭ヲ輸入スルカ、或ハ鐵礦ヲ輸入スルカ、此ノ二ツニナルト思ヒマス、此ノ二ツノ方法ニ付キマシテ、今簡單ニ利害得失ヲ考ヘテ見マスト、結局、此ノ二ツノ方法ノ利害ト云フハ、オ互ニ片方ノ利益トスル處ハ片方ノ不利トスル處トナルノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレ、即チ鐵石、石炭ヲ輸入スル場合ニハ、先ヅ第一ニ船腹ガ餘計要ル、少クトモ鐵礦ヲ輸入スル場合ノ二、三倍ノ船腹ハ之ヲ必要トスルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、而シテ之ヲヤリマシテ場合ニ於テハ、他ノ不利益ナ點トシテハ、鐵石ハマダ宜シウゴザイマスガ、石炭ハ相當額ヲ運バナケレバナラス、所謂強結ヲ持ツテ來ナケレバナラス、此處デ先刻商務局長モ仰シヤイマシタヤウニ、開港トカ北支カラ

持ツテ來ルトシテモ、ドノ炭デモ宜イカラ持ツテ來イ、運便易イカラ持ツテ來ルト云フヤウナ譯ニ行カナイト云フ難點ガゴザイマス、同時ニ、内地デ原料カラ拵ヘテ行クト、ドウシテモ値段ガ高クナル、斯ウ云フコトニナルト考ヘマスガ、サウナリマス、之ヲ原料トシテ致シマスル他ノ産業ガ非常ニ困ツテ來ルノデヤナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、併シナガラ、此ノ場合「コークス」爐ニ於ケル副産物トシテ化學製品、是ガ非常ニ重要ナ問題トナルト思ヒマス、私ハ即チ、チヨット例ヲ申上ゲマスト、「ベンゾール」系ノ製品ガ、昭和十八年度ニハ日本ノ全生産ノ八十二「パーセント」、十九年度ニハ七十七「パーセント」、二十年ニハ七十五「パーセント」ト云フモノガ、「コークス」爐ノ副産物トシテ出來テ居ル、同時ニ「コールタール」製品ヲ調ベテ見マスト、矢張り十八年度ニ於テ六十「パーセント」、十九年度ニ於テ六十七「パーセント」、二十年ニ於テ六十「パーセント」ト云フモノガ、鐵鋼業者ノ煤炭爐カラ副産物トシテ、日本ニ於ケル全生産量ノ中ニ、是ダケノ數字ヲ占メテ居ルト云フコトガゴザイマシテ、是ガ第一ノマア利益デアルト考ヘマス、同時ニ熔鐵爐ヲ動かスト云フコトニ依ツテ、失業問題モ、或程度緩和サレルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、是ハ鐵鐵其ノ他ヲ輸入

スルト云フ場合ニ於テハ、之ノ逆ニナリマシテ、船腹ガ非常ニ節約サレ、ソレカラ平爐ノ加熱用ナラバ、炭ハ何デモ構ハナイ、或程度ノコトハ我慢ガ出來ル、オマケニ、其ノ生産價格ハ安クナルト云フコトガ言ヘルト思フノデアリマス、但シ失業ト云フ問題ヲ考ヘマスト、前ノ場合ヨリモ餘計ニ失業者ヲ生ズルト云フ難點ガアルト思ヒマス、勿論先刻モ申上ゲマシタヤウニ、「ジ・エツチ・キュー」トノ關係ガアツテ、今、政府トシテハ斯ウシタイノダト云フコトハ仰シヤレナイト思ヒマスガ、過去ノ實績ヲ見マシテモ、大體昭和十二年デゴザイマス、鐵鐵ガ大體百萬「トン」位人ツテ居ル、ソレナラバ、何處カラ鐵鐵ヲ持ツテ來ルカト云フコトヲチヨット考ヘテ見マスト、北支、朝鮮其ノ他ハ、マア現狀ニ於テハ不可能デアル、其ノ他ノ諸國モチヨット不可能デゴザイマシテ、結局「インド」カ何カカラ持ツテ來ナケレバナナイサウナツタ場合ニ、「インド」ノ鐵鐵ノ過去ノ實績ヲチヨット見マスト、昭和四年ニ四十萬「トン」人ツテ居ル、是ガ最高ダト思フノデアリマス、ソレデ只今トシテハ、應急處置トシテハ、假ニ人レバ、鋼材ヲ其ノ儘輸入スルト云フコトハ宜イコトデハアルト考ヘラレマスガ、日本ノ基礎産業ヲ維持スル上ニ於テハ、最モ策ヲ得ナイモノデアルシ、是ハ全然論外ト致シマシテ、此ノ二ツノ内、ドチヲ所謂政府トシテ出

來ルナラバヤリタイノダト云フヤウナコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレニ依ツテ現在ノ製造業者ノ生産意欲ト云フモノガ、ハツキリシテ來ルノデヤナイカ、振起サレルノデヤナイカト、斯ウ考ヘマス、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス、**○政府委員(池田欽三郎君)** 只今鐵鋼ニツキマシテ、御質問ガアツタノデアリマスガ、鐵鋼ノ生産事情ニ付キマシテ、現狀ヲ御説明申上ゲマスト、終戰後、日本ノ平和産業ノ維持、民生ノ安定ノ爲ニ、下ノ程度ノ鋼材ヲ必要トスルカト云フ點ニ付キマシテ、各需要部門ニ付キマシテ檢討ヲ致シタノデアリマスガ、普通鐵鋼材三百萬「トン」、特殊鋼、鍛鋼、鑄鋼、合セマシテ三百三十萬「トン」ノ鋼材ヲ必要トスルト云フ結論ニ到達致シマシテ、賠償ノ問題ガ取上ゲラレマシタ時ニ、「ボーレー」大使、其ノ他關係ノ方面ニ、其ノ旨ヲ陳情致シタノデアリマス、然ルニ「ボーレー」大使ノ中間報告トシテ發表セラレマシタ所ニ依リマス、鋼材ト致シマシテ二百五十萬「トン」ヲ許容スルト云フコトニ相成リマシテ、我々ノ希望スル所ト多少隔リガアツタノデアリマス、其ノ後、極東委員會ニ於キマシテ、此ノ問題ノ決定ヲ見タノデアリマスガ、其ノ結論ハ只今御述ベニナリマシタヤウニ、鐵鐵二百萬「トン」、普通鋼塊三百五十萬「トン」ト云フ所ニ決定ヲ致シマシタ、此

ノハ、「ボーレー」大使ノ報告致サレマシタ二百五十萬「トン」ノ鋼材ニ略、西敵スルノデアリマス、斯様ナ所ニ我ガ國ノ鐵鋼業ノ限界ヲ置カレタノデアリマスガ、現在ノ鐵鋼ノ生産狀況ハ主トシテ石炭ノ不足カラ致シマシテ、生産ガ極メテ不振デアリマシテ、月々二萬「トン」ソコノ鋼材キリ生産ガ出來ナイト云フヤウナ、誠ニ憂フベキ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、國內ノ資源、鐵礦石、屑鐵、サウ云フ物ヲ活用致シマシテ、下ノ程度ノ鋼材鐵鐵ガ生産出來ルカト云フコトヲ計算致シマスルト、大體七、八十萬「トン」ニ鐵鐵、鋼材各、七、八十萬「トン」ト云フ所ガ大體ノ數字ニナルノデアリマシテ、ソレ以上造リマセウトスレバ、海外カラ優良ナ鐵鐵石、「スクラップ」サウ云フ物ヲ輸入シナケレバナナイ石炭ニ付キマシテハ勿論デアリマシテ相當海外資源ノ原料ヲ仰ガナケレバナラスト云フヤウナ狀況デアリマス、從ヒマシテ鐵鐵二百萬「トン」、鋼塊三百五十萬「トン」ト云フ所迄持ツテ行キマスニハ、此處二、三年デハ到底出來ナイノデアリマシテ、大體五年程度ノ年數ヲ要スルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、差當リノ目標ト致シマシテ、日本ノ鐵鐵石「スクラップ」ヲ利用致シマシテ、大體七、八十萬「トン」ノ物ヲ造リタイ、ソレニハ一番問題ニナリマスノハ、石炭、又ハ石炭ニ代ル重

油ノ問題アリマシテ、之ニ付キマシテハ聯合軍ニ懇請ヲ致シマシテ、輸入ヲ仰ガネバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ其ノ不足分ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテ、只今御話ノアリマシタヤウニ、鐵鑛石ナリ石炭デ輸入スル方法、鐵鑛「スクラップ」デ輸入スル方法、鋼材デ輸入スル方法、此ノ三ツノ方法ガアルノデアリマス、鋼材ニ付キマシテハ、現在「アメリカ」ニ於テモ相當ノ品不足デアリマシテ、全面的ニ此ノ輸入ヲ望ムト云フコトハ非常ニ困難ナ事情ニアルノデアリマスガ、併シ日本ノ事情ト致シマシテ、特殊ノ品種ノ物ニ付キマシテハ、輸入ヲ仰ガ必要ガアルト考ヘマシテ、努力ヲシナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、又鐵鑛ノ輸入ニ付キマシテモ鐵鑛「二百萬」トシテ、鋼塊「三百五十萬」トシテ「バランス」ヲ考ヘマスト、鑄物鐵其ノ他ノコトヲ考ヘマスト、二百萬「トン」ハ若干不足デアリマシテ鐵鑛ノ輸入ト云フコトモ、是モ我々トシテハ考ヘナケレバナラスト問題ト思ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ根本ノ問題ト致シマシテハ、聯合軍側ト致シマシテ、二百萬「トン」ノ鐵鑛ノ生産モノ一應承認ヲシテ居ルノデアリマス原料カラ鋼材ヲ造ル鐵鑛一貫作業ヲ建前トシテヤツテ行キタイ、是ニハ今御話ニナツタヤウナ化學製品ノ副産物ガ相當取レト云フ事情、ソレカラ多數ノ勞務者ヲ吸收出來ルト云フヤウナ事

情、又海外ノ支拂ガ鋼材、鐵鑛デ入レマスヨリモ、鐵鑛石、石炭デ入レタ方ガ、支拂ガ少ク済ムト云フヤウナ事情モアリマシテ、建前トシテハ鐵鑛一貫作業ト云フコトヲ考ヘテ行カケレバナラスト思フノデアリマスガ、先程申シマシタヤウニ、特殊ノ鋼材ニ付キマシテハ、過渡的方法トシテ輸入ヲ懇請シナケレバナラスト思ツテ居リマスルシ、又鐵鑛ニ付キマシテモ、不足スル分ハ輸入ヲシテ行カネバナラスト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、大體以上ノ通りデアリマス

○伯爵壬生基泰君 ソレデ大體分リマシタノデスガ、ソレハ箇々ノ品種ニ付キマシテモ、先刻商務局長申サレマシタヤウニ、鐵板ノ薄板ガ足りナイ、硅素鋼板ガ足りナイ、殊ニ進駐軍ノ住宅建築デ要請サレテ居ル壓延鐵板ガ非常ニ不足シテ居ル、斯ウ云フコトハ結局、只今戰災復興、其ノ他デ御實行ニナラウトシテ居ル戰災都市ノ家屋復興ノ上ニ、非常ニ隘路ニナツテ居ルノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、大體月「三百」トシテ位シカ出來ナイ然ルニ進駐軍カラノ要求ガ五百「トン」位モアル、是デヤ、何時迄經ツテモ、日本人ハア、云フモノハ手ニ入ラス、瓦モ何モナイ、斯ウ云フ時ニ「バラツク」ヲ建テマシテモ、屋根ガ出來ナイ斯ウ云フコトニナリマスノデ、之ニ對シテ、至急何等カノ手ヲ御打ニナラヌコトニハ、モウ行キ詰ツテ來ルノデヤ

ナイカト思ヒマスガ、非常ニ細カイ問題デ恐縮デゴザイマスガ、何カ應急處置ヲ御考ニナツテ居リマスカドウカラ伺ヒタイ

○政府委員(池田敏三郎君) 只今御話ニナリマシタ通り、鐵鋼ハ全般トシテ非常ニ需給ガ窮乏デアリマスルガ、品種別ニ見マスルト、例ヘバ特殊鋼ノ如キモノハ、ソレ程ノ所迄ハ行キ詰ツテ居ナイ、又品種ニ依リマシテ鐵板ダトカ、ソレカラ線鐵材、サウ云フヤウナモノハ非常ニ行キ詰ツテ居ルノデアリマシテ、之ガ對策ト致シマシテハ、ドウシテモ壓延用ノ石炭、發生爐炭ヲ確保スルコトガ先決問題デアリマシテ、之ヲ確保スルコトニ努メナケレバナラスト考ヘテ居リマスルシ、又ソレニ代ルトモト致シマシテ、重油ノ輸入ヲ是非一ツ實現スルヤウニ努力ヲシナケレバナラスト、此處ニ一番重點ヲ置イテ考ヘテ居ルノデアリマス、尙特殊ノ進駐軍用ノモノ等ニ付キマシテハ、ソレニ必要ナ石炭ヲ特配ヲシテ買ツト云フヤウナ方法デ確保シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又配給面ニ付キマシテモ、現在指示配給ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、必要ナ方ヘ流レルヤウニ、此ノ需給調整法ノ成立致シマシタ曉ニ、其ノ運営ニ依ツテ確保シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスタ

○伯爵壬生基泰君 最後ニモウ一ツ伺ヒマスガ、結局是ハ、先般問題ニナツタノデゴザイマスガ、割當ニナリマス

ト、割當ヲ貰ツタ者ハ全部買ハナキヤ損ダト云フヤウナ一種ノ心理ニナリマシテ、要フナイ品種迄、即チ外ノ物資デゴザイマス、單一品種デ済ミマスケレドモ、鋼材ミタイナ、寸法モ違ヒ形狀モ違フ色々ナモノガアルト、必ズシモソレニ「マッチ」シナイ、自分ノ欲シイ物ガナイト云フヤウナ場合デモ割當ダケ、折角切符ヲ貰ツタノダカラ是ダケ物ニシヨウト云フヤウナ傾向ガ多イヤウニ考ヘルノデアリマス、其ノ結果ト致シマシテ、終戦後ニ隱匿藏物資ガ摘發サレテ、相當ノ物資ガ、現在當ニ不足ヲシテ、戰爭中ノ生産力ヲ見マスト、高々「二割」ニナツテ居ルト云フノニ、更ニ又サウ云フ退藏サレルヤウナモノガ出來ルト云フヤウナ心配ガアルノデヤナイカト考ヘマス、ソコニ於テ此ノ割當、是ガ民主的ニオヤリニナルト云フ色々御説明ヲ伺ヒマシタガ、結局紙ノ上デアル結果トシテ、要シナイモノデヤナイ、欲シイ物ガナイノダ、ダケレドモ、仕様ガナイカラ、代リニ取ツテ置クト云ツテ、倉ニ藏ツテ置ク場合ト、ソレカラ欲シイノダケレドモ、丁度只今金融措置令ノ關係上、支拂ガ出來ナイ、サウナルト「メーカ」一ノ方モ金融ニ詰ツテ居リマスカラ直グ新聞ナリ新聞デ買ツテ買ハナケレバ買レナイト云フヤウナ現象ガ起ルノデナイカト思ヒマスガ、是等ニ付テ、ウ

マイ方法ヲ御執リ戰キマシテ、戰爭中ニ於ケルヤウナ統制ノ失敗ト云フヤウナコトヲ除去シテ戰キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(吉田信二郎君) 格別御説明ハ要ラヌカト思ヒマスガ、先程下ナタカノ御質問ニアリマシタヤウニ、或程度持ツテ居ル資材ノ交換ト云フコトモ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス、現在大分工場ノ整理等ニ依リマシテ事業ヲ止メテ居ルモノ、或ハ一部シカ操業シテ居ラスモノ、澤山ゴザイマシテ、資材等モ隨分偏在シテ居ルヤウデゴザイマス、從ヒマシテ資材ノ融通等ハ成ルベク之ヲ認メテ行ク意味デ、資材ノ交換會等モアチコチハ勸奨シテ居リマシ、又今度、整理會社等ニ付テハ「ウカト」云フコトデ、色々考ヘテ居ル譯デアリマシテ、サウ云フ場合ノ融通ハ例外的ニ認メテ行クコトニ致シタイト思ツテ居リマス、其ノ他ノ點ハ仰セノ通り計畫生産ガ實際ニニ合フカ合ハスカト云フ問題デゴザイマシテ、是ハ非常ニムツカシイ問題デゴザイマス、併シナガラ、今後ノ需給關係ヲ能ク配ミマシテ、現在ノ一番逼迫シテ居ル資材ニ付テハ、少クとも之ヲ計畫生産ニ入レテ實現シテ行クヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマス

○伯爵壬生基泰君 私ハ終リマス

○委員長(男爵古市六三君) 只今大臣ガオイデニナリマシタガ

○中山太一君 先程、川上委員カラ御

質問アリマシタガ、只今ノ所得稅其ノ他ノ稅制ハ、産業ノ復興振興等ニ對シテ、其ノ生産ノ意欲ヲ振起シナイト云フバカリデナク、實際ニ、是デハホンマノ建設的振興ヲスルコトガ出來ナイヤウニナツテ居ル存ジマス、殊ニ補償ノ打切りナリ、預金ノ封鎖ナリ、或ハ賠償工場ノ問題ナリ、財産稅ノ問題等ニ依ツテ、餘程ノ打撃ヲ受ケテ居ル者ガ、是ガ復興スルニハ、相當ナ餘力ヲ持ツテ行カネバナラス、ソレガ矢張り一生懸命、勞資一體ニナツテ奮闘シテモ、總カニ其ノ缺陷ヲ補フヤウナコトニナルノデハ、復興ハ不可能トナル處ガアル、此ノ點ニ於テハ、過去ノコトハ兎モ角モ、或期間サウ云フヤウナモノガ復興スルニハ、或率迄ハ相當著績ガ出來ルト云フコトハ、是ハ産業復興ノ爲ニ考ヘナケレバナラス、ソレデ國庫ノ收入ノコトバカリ考ヘラレテ、眼ニ見エナイ大キナ國力ヲ涵養スル所ノ産業ノ復興ヲ第二義的ニ考ヘラレルコトハ、延イテハ國民ノ生活ノ上ニモ、又失業者ヲ救済スル上ニモ、又見返リ物資トシテノ製品ヲ増産シテ行ク上ニモ、事實上支障ガアルと思ヒマスカラ、商工當局ハ大藏省ノ言ヒナリ放題、所謂大藏省ガ欲セラルルガ儘ノア、云フ稅制ヲ通サレルヨリモ、産業ヲ正シク經營スル爲ニハ、此ノ程度ハ保護シナケレバナラスト云フ一ツノ線ヲ引イテ戴イテ、ソレヲ斷乎トシテ主

張モシテ貰ヒ、守ツテ貰フト云フコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、現在決定シタ所得稅ノ如キハ、此ノ戰後ノ復興ニ並ナラヌ重壓ヲ加ヘラレテ、之デ産業ガ生キテ行ケルノハ不思議ダと思フ程ノ狀態ニ對シテ、ソレヲ更ニ復興シテ行カケレバナラス、此ノ儘デハ丁度食糧不足デ、榮養失調ヲヤツテ居ル所ニ、更ニ又食糧ヲ減シテ行クトカ、一層惡條件ヲ加ヘラレタヤウナモノデ、サウスルト其ノ者ハ死スルヨリ仕方ガナイト云フ結果ニナル、是ハ由々シキ問題ダと思ヒマス、處ガ、此ノ稅制、所得稅ノ負擔ガ重イカ何トカ言フコトハ、何カ利己的ノ主張ノヤウニ當ルカラ、比較的遠慮シテ居ルケレドモ、是ハ商工大臣ノ立場カラ言ヘバ、全ク國家ノ産業ヲ振興サセ、救済スル爲ニ、又失業ヲ一層防止シ、救済スル爲ニ、國民ノ生活ヲ安定サス爲ニ必要デアリマスカラ、一番公正ナ、サウシテ有力ナル發言者デアリヤウニ思ヒマスガ、此ノコトニ關シテ、大臣ノ率直ナ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(星島三郎君) 産業方面カラ言ヒマシテ、誠ニ御力強イ御言葉ヲ戴イタノデアリマシテ、從來動モスレバ何ト言ヒマスカ、産業界ガ金融界ニ押サレ氣味デアツテ、サウ云フ關係カラ言ヒマシテモ、政府ノ仕事カラ言ヒマシテモ、豫算ノ關係上、矢張り商工省ハ大藏省ニ壓力ヲ加ヘラレルヤウナ

感ジガ從來ナキニシモアラズ、私モサウ考ヘテ居リマシタカラ、ソコデ今同ノ復興金融庫等ニ付テモ、是ハ産業ノ爲ニ復興ヲ圖ルノデアツテ、金融ノ爲ニ新ラシキ事業ヲ起スノデハナイノデアリマスカラ、ドウシテモ共管ニ移シテ貰ヒタイ、共管ニ移シテ貰フ以上ハ、商工大臣ガ一枚加ツタカラト云ツテ、別ニドウスウト云フコトハアリマセヌケレドモ、少クモサウ云フ趣旨カラ、復興金融委員會ハ、今隣リノ部屋デ委員會ガ開カレテ居リマスカ、強ク長官ガ主張致シタヤウナ趣旨デアリマシテ、概ネ中山委員ノ勵マシノ御言葉ト同ジヤウナ積リデヤツテ居ル譯デアリマス、併シ是ハ今因安定本部ノ會議ガ設ケラレマシタノハ、一面カラ言ヘバ好イ政治デアリマシテ、ソレ等ノ會議ニ依リマシテ、公平ナル論議ヲ圖ハシ、而モ其ノ委員ノ中ニハ學識經驗者、貴族兩院ノ方モ入ツテ居ラレル譯デアリマスカラ、財政經濟ノ根本的ナ考ヲ持ツテ其處ニ行カレル、ソコデ從來ノ所謂一面カラ言ヘバセクシヨナリズム、各省割據ノ何ガアリマシタガ、其ノ所ヲ離レテ經濟安定本部デ豫算ヲ組ム所ヘ行クノデハナイカ、サウ云フ際ニハ、從來ヨリモツト強イ主張ガ言ハレルと思フノデアリマス、又此ノ議會ガ終了後、次ノ多ノ議會ノ準備迄ニハ、稅制ノ改正ノ委員會ガ設ケラレマシテ、ソレ等ニ對シマシテハ、勿論貴族兩院ノ方モ、其ノ委員トシテ

御參加ニナルト思ヒマスノデ、ソレ等ノ時ニハ、十分一ツ意見ヲ御發表願ヒマシテ、只今仰セノヤウナ風ニ運シテ行キタイ、商工省ノ立場カラ言ヒマスレバ、御言葉ノ通りノ意味ニ考ヘテ居ルノデアリマスカレドモ、目前色々ナ費用ガ要リマスコト、已ムヲ得ヌコトハ思ヒマスガ、併シ陸海軍ノナクナツタ日本ガ、此ノ終戰事務ガ終了致シマスレバ、將來私ハ相當サウ云フ面ハ輕クナリマシテ、産業ノ方面ニ十分働キ得ル時ガ來ルダラウ、今暫ク辛抱ダ辛抱シ切レヌコトニナツテ居ル物品等ハ殊ニ多イ、所得稅ニ付テモ無理ガアリマスカラ、ソレ等ノ改正サレルモノハ、此ノ多ノ協議會デ十分意見ヲ述べマシテ、其ノコトノ完成ヲ致シタイト斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○中山太一君 只今物品稅ノ御話ガアリマシタガ、此ノ國民生活ノ安定、又ハ適正物價ノ權限等ハ政府ノ非常ニ重點ヲ置カレテ居ルニモ拘ラズ、大藏省ノ施策ハ斯ウ云フコトニ無關心デ、殆ド常識ヲ逸スルヤウナ、高率ナ物品稅ガ課ケラレテ居ルコト等ハ、是ハ再檢討ノ上、大部分ノモノハ撤廢サルベキデヤナイカト存ジテ居ル次第デアリマス、サウシテ行クコトガ、又生活費ヲ一層低下サシテ、勤勞階級モ收入ガ減ジテモ、生活ニ餘裕ガ出來ルコトニナルノデアリマス、今デハ少々増加シテ賈ツテモ、生活ガ貧困デ、其ノ日ノ暮シニ困ルト云フコトニナツテ居ルノデ

アリマス、斯ウ云フコトガ適當ニ解決サレネバナラス、ノミナラズサウ云フ不合理ナ稅ニ依ツテ物價ガ不當ニ騰貴シテ行キマス、家庭生活ノ生活費ト云フモノガ非常ニ高クナル爲ニ、今ノ世界中、何處ニモナイヤウナ不合理ナ家族手當ト云フヤウナ名儀デ大キナ負擔ヲサレル、生産ニ何ニモ關係ナイモノガ負擔サレテ、日本ノ品物ガ、良イ物ガ安ク出來ル筈ガナイ、一昨日毛騰國務大臣ガ、川上委員ノ質問ニ對シテ御答ニナツタヤウニ、サウ云フ不合理ナモノヲ止メテ、何處迄モ能率のナ賃金、或種ノ固定賃金ハ必要ダケレドモ大部分ハ能率のナ賃金デナケレバナラス、農家ハ一人デ働クノデハナイ、家族ガ居レバ皆働イテ、サウシテ收穫ヲ得テ生活ヲ営ム、都市ニ於テハ概シテ一人ガ一事業ニ從事シテ、ソレデ一家族ガ皆生活スル、而モ高物價デアル、斯ウ云フコトノ不合理ヲ改メテ賈ツテ事業家ハ能力ノアル、眞ニ事業ニ貢獻スル者ニ對シテハ實際ノ支拂ハソレ以上拂ツテモ構ハナイケレドモ、今ノ熟練工ト不熟練工、不熟練工ガ家族ガ多イ爲ニ、却テ熟練工ヨリ收入ノ多イコトガアル、此處ニ横綱ト幕下ノ者ガ居ツテ、其ノ待遇ハ幕下ノ方ガ家族ガ多イ爲ニ收入ガ多イト云フコトニナツテハ、是デハ納マラナイ、是デハ其ノ方ノ獎勵ニハナラス、今日實ニ矛盾シタコトガ平氣デ行ハレテ居ル、政府トシテモ之ニ盲從シテ居ラレル形ガアル、

此ノ點ハツクリシタコトナ間違ヒヲ繰返シチヤイカヌト思フ、ドウシテモ技術ノ優レタ人、熱心ニ努力シ能率ヲ上ゲタ者ニ對シテ、相當ノ優遇ガ出來ルト云フコトデナケレバナラヌ、ソレガ出來レバ出來ル程、事業家モ宜ケレバ勤勞者モ宜イ、一般消費者ハ良イ物ガ安ク買ヘ、日本ノ産業ガ興ツテ來ルコトニナリマス、今ノヤウデハ、日本ノ事業ガ益々不振ナリ行詰ツテ來マス、是ハ産業行政ノ最高ノ責任ヲ持ツテ居ラレハ商工大臣トシテ、勞銀其ノ他ニハ直接關係ナイケレドモ、物價問題ナリ、産業振興ナリ、色々ナコトニ深入リ因果關係ヲ持ツテ居リマスカラ、此ノ點ニ付テハ、ドウ御考ヘデゴザイマセウカ、積極的ニ之ガ解決ニ御乗出シニナルヤウナ御考ハナイノデゴザイマセウカ、承リタイト思ヒマス

○國務大臣(星島二郎君) 大體御説ノヤウナコトノ必要ヲ感ジテ居リマス、勿論物品稅ハ改廢ヲ致サナケレバナリマセヌシ、其ノ他技術ノ進歩ヲ圖ルニモ、中小工業ノ振興ニ對シテハ、特ニソレカラ發足シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘマシテ、今回安定本部ノ中カ、或ハ商工省ノ中カ、今迄決定マデ得マセヌケレドモ、中小工業振興對策委員會會トカ、或ハ其ノ結果トシテ、振興助成局ト云フヤウナモノヲ設クベシトノ議ガ今熟シツ、アルノモ、偏ヘニサウ云フ見地カラ、全然從來ノ行キ方ト變ツタ行キ方ヲ考ヘテ行ク、國民全體

ガ一ツ立上ツテ、此ノ復興ヲ圖ルノダト云フ所ヘ行キマシテ、從來ノヤウナ官僚臭イコトカラ脱却シテ、サウシテ活キノトシタハ、ソノ生産部面ニ精進シタイト、斯様ナ考ハ、誠ニサウ云フ業界ニ最モ御堪能ノ中山委員ノ仰シヤラレハヤウナ趣旨ニ副ウテ、今後政府ハ舊來ノコトニ因ハレナイデ、ドシドシ實行シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中山太一君 色々ノ方面デ生産ノ上ラナイノハ、經營者ナリ、資本家ノ「サボ」ニ依リカト云フヤウナ意味デ、生産意欲ガ揚ラナイ爲ノヤウニ、且、ソレガ經營者側ノ責任ノヤウニ唱ヘラレテ居リマスガ、是ハ原料、材料、又ハ食糧問題、其ノ他各般ノ事情ニ依ルコトハ明カデアリマス、其ノ方ニ付テハ御尋ネスル必要ハアリマセヌガ、此ノ産業ノ振興ニ又缺カベカラザルコトハ、經營者ナリ、勤勞者ナリノ心理關係ヲ無視スルコトハ出來ナイ、此ノ能率ノ上ル上ラヌト云フコトヲ考ヘルト、是ハ大キナ關係ヲ持ツテ居ルコトデアリマシテ、ソレデ矢張り産業ノ復興、生産ノ増強ニ付テハ、經營關係ノ者ガ前途ニ希望ガアルヤウニ、又勤勞者ノ非常ニ興味ヲ持ツテ、希望ヲ持ツテ働ケルヤウニ、サウシテ勞資一體トナツテ、之ニ當ルコトガ出來ルヤウナ方法ヲ講ゼラレナケレバナラヌト思ヒマスガ、嘗テ私ノ部下デアル一人ノ技師ガ「アメリカ」デ研究シテ來マシタ、其

ノ研究ノ結果ヲ、私ハ非常ニ參考ニナリ、其ノ通りダト思ヒマシタ、人間ハ機械デハナイ、人間ノ能率ヲ上ゲルコトニ付テハ色々研究シタ結果ニ依ルト其ノ動機ハ、食物ノコトニ對シテ人間ガ、ドンナニ營養分ノアル消化ノ良イ食糧デモ、其ノ人ガ嫌ハナモノデアッタナラバ、ソレヲ完全ニ消化シナイ却テ健康上ニモ害ガアリ、營養分ヲ攝取シナイノデアアル、反對ニ、其ノ人ニ好物ノモノデアレバ、少々消化不良ノモノデモ、完全ニ消化シタ營養分ヲ攝取スルコトガ出來ルト云フ、サウ云フ動機ヲ得テ、勤勞ノ上デ、厭々デ仕事ヲスルトカ、反感ノ上デヤルトカ、興味ヲ持ツテヤラナイト云フコトデ仕事ヲヤルト、一日三時間乃至五時間働イテモ、非常ニ疲勞度ガ現ハレル、愉快ナ氣持ヲ持チ、興味ヲ持ツテ、好意ヲ持ツテ、其ノ仕事ヲスル時ハ、八時間乃至十時間働イテモ、疲勞度ガ其處ニ現ハレルコトガ少イ、非常ニ倍以上ノ仕事ヲスル、サウシテ一時間當リノ仕事ノ量ヲ考ヘルト、量ニ於テモ、八時間ナリ十時間愉快ナ感じヲ持ツ者ハ量ガ多ク、質ニ於テハ更ニ正確ナ良イ物ガ出來テ居ル、良イ物ガ三倍モ出來テ居ル、斯ウ云フコトニナル、ダカラ、復興ト云ツテモ、皆人間ノ何デアルカラ、政治ノ上ニ人間ノ心理ヲ無視シタコトヲ以テ、ドンナニヤツテモ、産業ノ復興ハ出來ナイト思ヒマスカラ、此ノ經營關係ナリ、勤勞關係ノ心理狀態ヲ

把握シテ、ソレニ適當ナ産業行政、立派ナ政治ヲ大臣ガ行ツテ貰ヒタイト存ジマスガ、私ハドウモ今ノ儘ノ機械的ニ振ツタリ、ソレカラ政府ハ、政府ヲ惡ク言フノデアアリマセヌケレドモ、ドウモ考ヘルト、飢餓ニ直面シタ時ニ、食糧ハドウカ斯ウカ苦心シテ與ヘテ貰ツタガ、ソレカラ後ニ起ルコトハ、連モ堪ヘラレナイ問題ガ起ツテ居ル、マルデ動物ノヤウニ、食糧ヲ食フヘテ命ヲ懸ガセテ、後ノコトハ、非常ニ人間トシテノ取扱ヒデナイヤウナコトヲ繰返シノヤツテ居ル、我々ハ動物ト同ジヤウニ取扱ハレテ居ルノデアリカト産業人ノ一人トシテ考ヘルコトガアリマス、私ハ反對ニ人間トシテ其ノ心理狀態ヲ極メテ能ク援ツテ戴イテ、産業ノ復興ナリ日本ノ再建ニ對シテ、効果的ナ産業行政ヲ行ツテ貰ヒタイト、斯ウ考ヘ希望スルノデアリマスガ、商工大臣ノ之ニ對スル御所見ヲ聽カセテ貰ヘレバ、本懷ニ存ズル次第デアリマス

○國務大臣(星島二郎君) ソレハ無論中山サンノ仰セノ通りデアリマシテ、私ハ今回非常ニ感ジテ居リマスコトハ九州ノ地方デ八月ノ石炭ガ十萬「トン」程増産ニナツタ、ソレヲ色々調ベテ見マスト云フト、結局勞働組合ノ幹部級ノ人ガ眞ニ目覺メテ、日本ノ爲ニ石炭ハ要ルンダト云フノデ、精神的ニ感奮シテ、他ノ人ハ缺配シテ居ルニ拘ラズ六合、三合ト云フ其ノ標準ニ依ツテ食物ノ特別配給ヲ受ケタ、ソレデハ相

濟マスト云フヤウナ氣持ヲ十分末端迄宣傳サレマシテ、是ハ出サナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ起ツタノガ主ナル原因デアルト云フコトガ昨今分ツテ參リマシテ、非常ニ、矢張り一ツノ石炭ガ増スノモ、本ハ氣持ノ問題デアアル、勿論食糧ガ現實ニ行カナケレバナリマセヌデセウガ、少々食糧ガ行キマシテモ、他ノ北海道方面デハ、其處迄成績ガ上ラヌノハ、本當ニ其處ニ精神的ナモノガナイカラデアリマス、サウ云フコトカラ通シテ見マシテモ、是カラノ日本ノ色々ナ産業ノ發展ニ對シマシテハ、私ハ色々ナ物ノ部面ヤ、色々ナ法律ノ力ヤ、其ノ他色々ナコトヨリモ、寧ロ一ツノ精神運動、日本ヲ建テ直スニハ、斯ウ「アルベキ」云フ精神運動ガ本ダラウト、我々ハ石炭ガ足ツヌ爲ニ、有ルル苦勞ヲ致シテ居リマスガ、其ノ石炭ヲ使フ方面カラ言ヒマシテモ、鐵道省ノ機關ノ人達ガ、マルデー「ツ」寶石ノヤウニ思ウテ此ノ使ヒ方ヲ大事ニ注意シテ呉レルト呉レヌトデハ、非常ニ差ガ起ルデアラウト、ダカラ、根本ハ一ツノ精神運動ガ重大デアアル、ソレガ敗戦後ノ虛脱狀態カラ、自暴自棄的ナ色々ナ思想ガ入ツテ來マシテ、非常ニ惡化シテ居ル今日ノ狀態デアリマスカラ、之ヲ建テ直スニハ、只今仰セノヤウナコトガ十分取入ラレテ、之ヲ一ツヤラナケレバナラヌ、殊ニ平靜ニナツタ後ニ於キマシテモ、ソレハ人間ニハ適性ガアルカ

ラ、是ハ米國等ニ於キマシテハ、相當科學的ニ發達シテ居ルサウデアリマスケレドモ、性能ノ研究ヲ十分ニ致シマストカ、或ハ勞働科學ヲ十分ニ調査致シマシテ、ソレハ、自分ノ向テ仕事ニ入ルヤウニ、厭々ナガラ行カナイデ、進ンデ自分ノ仕事ニ從事スルヤウナ所迄考ヘテ行カナケレバ、能率ハ上ルモノデハナイ、ソレハ周圍ノ環境ナリ、色々アリマセウケレドモ、特ニ政府ノ機關ノ中ニ適性調査所、何ト言ヒマスカ、サウ云フヤウナ調査機關モ必要デアリマセウシ、或ハ現在働イテ居ル人達ノ間ニモ、ソレハ、希望ヲ活カシマシテ、自分ハ石炭山ニ働クヨリモ、白轉車工業ニ從事シタ方ガ自分ニ向クノダト云フヤウナコトガアレバ、ソレハ或程度迄希望ヲ容レテヤルヤウニ、厚生省ガアリマシテ、色々ナ調査ガ出來ル譯デアリマスルカラ、サウ云フ方面ニモ、ソレハ、意ヲ用ヒタ所迄、少シ世ノ中ガ落チ著キマシタナラバヤツテ載イテ、サウシテ日本カ働イテコソ、立派ナ國ニナル、日本ノ將來ハ軍備モナイノデアリマスカラ、何處迄モ働イテ、立派ナ製品ヲ造ツテ、之ヲ外國ニ賣ツテ、食糧ヲ輸入スルナリ、原材料ヲ輸入スルナリ、ソレヲコナシテ行クト云フヤウナコトデ、日本ガ將來、文化國家ニナツテ、何處ノ國ニモ負ケナイヤウナ立派ナ國ニナルヤウニ、丁度「スウェーデン」ガ一時非常ニ戰爭ニ負ケタケレドモ、其ノ後ニ於キマシテ

眼ガ醒メテ、非常ナ文化國家ニ致シマシタト云フコトニ付キマシテハ、有ラユル部面ニ、非常ニ仕事々々ニ合ツタ方面ニ向ケタコトガ、餘程成功ノ因ニナツタト云フコトヲ聞キマシテ、日本ハ將來、サウ云フ方面ニ留意シテ行クベキダ、商工省モ日先ノ石炭や、食糧や、肥料ノ問題ガ濟ミマシタナラバ、少シハ産業性能ノ何トカ調査會ト云フヤウナモノヲ設ケル位ノ餘裕ガ一ツアツテ、日本ノ將來ノ産業ニ資シタイトス様ニ考ヘル次第デアリマス

○中山太一君 只今御尋ネシタコトニ付テ、全幅ノ御賛同ヲ得マシタコトハ大變國家ノ爲ニ有難イト存ズル次第デアリマス、ソレト同時ニ、後デ大臣カラ御話ガアリマシタ精神運動ヲ徹底シナケレバナラスト云フコトニ付キマシテハ、此ノ精神運動ガ過去ノ國民精神總動員ノヤウナ、ア、云フ旨目的ナ、迷信的ナ意味デアツタナラバ、却テ行キ過ギニナツタリ、失敗ヲシマス、今大臣ガ仰シヤツタソレニ勞働科學、其ノ他科學ノ方面ヲ相當、所謂正シイ精神運動ト、極メテ適切ナ科學知識ヲ有ラユル角度ニ理解シテ、採用シテ行ツテ、精神ト科學トガ渾然一體ニナツタ所ニ、産業ノ合理化モアリ、能率増進モ百「パーセント」此處ニ現レルノデアリマスカラ、私、今ノ大臣ノ御話ニナリマシタコトデ、甚ダ満足スルノデアリマス、ドウカ其ノ意味デ、此ノ産業復興ノ爲眞ノ能率増進ノ原理ヲ應用

シテ載イテ、從業員ノ選擇等ニ當リマシテモ、所謂身體検査ダケデナシニ、精神検査、或ハ思想ナリ、其ノ人ノ心理狀態ナリハ無論ノコトデスガ、他ノ意味ノ肉體ノ動作等ノコトモ科學的研究シテ、適材適所ノ原理ヲ科學的ニ應用シテ職ク、ソレカラ又製造スル人達モ、ソレニ當ル經營者ノ方モ、製造ノ過程ノ標準化、作業ノ單一化、或ハ照明ナリ、通風設備ナリ、溫度ナリ、濕度ナリ、有ラユル方面ニ於テ科學的ニ之ヲ改善スルコトニ依ツテ、一人ノ工員ガ三倍、五倍ノ能率ヲ擧ゲテ居ル實例ガアリマス、サウシテ好イ成績ヲ擧ゲテ、勞働者ヲ優遇シテ行ツテモ、生産費ハ非常ニ安イ、良品廉價ノ實ガ擧ガリ、勞資ノ間モ立派ニ行キマス、今御示シナツタ意味ガ、一ツ日本ノ産業界ニ徹底スルヤウニ、施策ノ上ニ御活躍ヲ希望シマシテ、私ノ質問ハ一應今日、打切りマス

○委員長(男爵古市六三君) デハ、今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ再開致シマス
午後四時十四分散會
出席者左ノ如シ
委員長 男爵 古市 六三君
副委員長 子爵 柳澤 光治君
委員

公爵 桂 廣太郎君
侯爵 廣幡 忠隆君
伯爵 壬生 基泰君
子爵 森 俊成君

國務大臣 星島 二郎君
商工大臣 中尾 勇君
農林技官 平川 守君
農林事務官 吉田 二郎君
商工事務官 鈴木 重郎君
同 松田 太郎君
同 池田 欽三郎君
同 玉置 敬三君
同 松尾 金藏君
運輸事務官 伊能 繁次郎君
同 長井 實行君

子爵 島居 忠博君
子爵 京極 高銳君
男爵 長岡 半太郎君
男爵 伊藤 一郎君
男爵 奥田 剛郎君
男爵 加藤 成之君
男爵 田中 龍夫君
男爵 大木 操君
川上 嘉市君
三橋 四郎次君
松本 勝太郎君
中山 太一君
河端 作兵衛君
岩淵 辰雄君
上野 喜左衛門君

昭和二十一年十一月十五日印刷

昭和二十一年十一月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局